



地方独立行政法人神奈川県立病院機構  
精神医療センター

平成26年度

# 精神医療センター業務年報

---

(芹香病院・せりがや病院)

平成28年3月

# 目 次

## I 概 況

1 基本理念	1
2 沿 革	1
3 組織・機構	5
4 職員配置状況	6
5 施 設	8
施設配置図	9
6 主な委員会・会議一覧	10
7 主な研修実績	11

## II 精神医療センター（芹香病院）事務事業の状況

1 精神医療センター（芹香病院）基本方針	13
2 経理の状況	
(1) 地方独立行政法人会計決算状況	14
3 業務実績	
(1) 各種指標	17
4 患者の状況	
(1) 外来患者の状況	18
(2) 入退院患者の状況	20
(3) 救急医療の状況	26
5 業務の状況	
(1) 看 護	27
(2) 作業療法（OT）	38
(3) デイ・ケア療法	41
(4) 検査業務	46
(5) 福祉医療相談科業務	53
(6) 薬剤業務	62
(7) 医療教育	64
(8) 栄養管理科業務	64
(9) 保育業務	67

### Ⅲ セリがや病院事務事業の状況

1	セリがや病院基本方針	69
2	経理の状況	
(1)	地方独立行政法人会計決算状況	70
3	業務実績	
(1)	各種指標	73
4	患者の状況	
(1)	外来患者の状況	74
(2)	入退院患者の状況	78
5	業務の状況	
(1)	心理・相談業務	85
(2)	作業療法	86
(3)	薬剤業務	87
(4)	栄養業務	88

(注) 本年報の表は原則として平成26年3月31日をもって作成してあります。例外については、本文中に基準年月日を表示してあります。

# I 概 況

# 1 基本理念

私たちは、こころの健康を支え、質の高い精神医療を提供します。

# 2 沿革

当センターは精神病院法に基づくわが国3番目の府県立精神病院として昭和4年3月から診療を開始した芹香院と、昭和38年4月、全国に先駆け、麻薬中毒患者専門医療施設として収容治療を開始し、その後、神経症、アルコール依存症、薬物中毒者の患者を対象に治療を行ってきたせりがや園を統合して、平成2年4月に神奈川県立精神医療センターとして改組した。(名称も芹香病院、せりがや病院に改称。)

平成26年12月両院を統合し、323床(許可病床)を有する新しい「神奈川県立精神医療センター」として開院した。

開設以来の主たる変遷は次のとおりである。

## 【芹香院】

昭和3年11月	本館及び病棟5棟 付属建物を含め延べ3,606㎡の施設完成
4年3月	診療開始(150床)
35年7月	第1、第2病棟完成(作業療法棟2,207.05㎡)
39年4月	地方公営企業法(企業会計方式)の一部適用
46年8月	子供預り施設新築
11月	C病棟、管理診療棟、サービス棟新築
48年1月	A病棟、B病棟、社会療法棟、喫茶売店棟、車庫棟新築
3月	温室及び看護婦宿舎新築
6月	作業療法棟改築
7月	事務局に医事課を新設
8月	事務局に栄養課を新設、医療局を部長制とし、作業療法科を新設、看護部に看護教育係を新設
50年7月	せりがや地区第一医療職員公舎完成
54年3月	A、B、C各病棟の2、3階に消防用スプリンクラー設備設置
10月	A3病棟を開棟
55年8月	事務局が総務局に、管理課が総務課に改称、総務局次長(総務課長兼務)新設
56年7月	保育施設改修
10月	芹香院作業療法用農場(27アール)整備工事完成
57年1月	身体障害者用便所、管理診療棟1箇所、A病棟1箇所完成
58年11月	緊急医療対策用保護室改修
60年9月	デイ・ケア施設改修
62年4月	医療局にデイ・ケア科を新設
	夜間、休日の緊急医療開始
12月	外来受付室、待合室改修
平成元年3月	保護室(6室)、静養室(16室)改修
2年1月	保護室(8室)改修

## 【せりがや園】

昭和38年 1月	本館新設（サーモコン2階建）
3月	厨房棟新築（コンクリート鉄骨平屋建）
4月	診療開始（70床）
39年 4月	地方公営企業法（企業会計方式）の一部適用
43年 7月	本館増築工事等 病棟、管理部門の改修
52年 4月	病床数（64床）変更

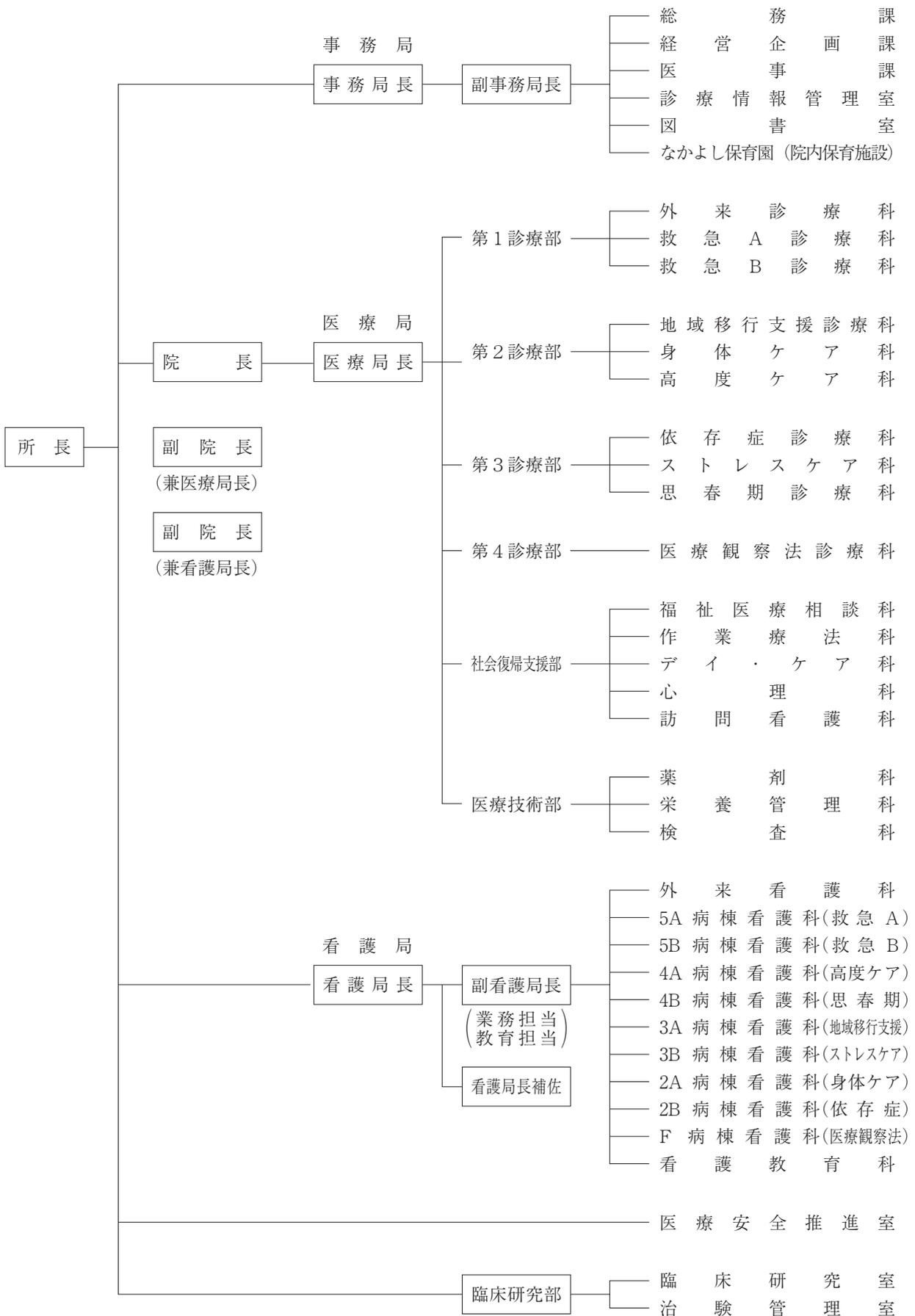
## 【精神医療センター】

平成2年 4月	芹香院とせりがや園を、精神医療センターに組織改正、センター所長職の設置、芹香院を芹香病院に、せりがや園をせりがや病院に改称、精神医療センター総務局に総務課、経理課、医事課及び栄養課設置 せりがや病院の医療局に心理・相談科、看護部に外来看護係、看護教育係を新設
9月	せりがや病院新築（80床）
3年 4月	芹香病院A1病棟を老人性痴呆専門治療病棟（44床）に改修 芹香病院B3病棟の一部を改築（結核合併症病棟16床、精神科病棟31床）
4年 4月	芹香病院B2病棟保護室（4室）改修
5年 2月	せりがや病院 基準看護結核・精神特2類承認
3月	芹香病院 基準看護結核・精神特2類承認
6年 3月	看護婦共同宿舎、看護士宿舎、職員公舎一戸解体 芹香病院C1病棟に消防用スプリンクラー設備設置
10月	芹香病院、せりがや病院新看護体系3：1承認
7年 3月	芹香病院B1病棟に消防用スプリンクラー設備設置 C棟外壁塗装、屋上防水塗装工事完成
7年 5月	せりがや病院 特別管理給食加算（適時適温給食）実施
8年 3月	芹香病院A1病棟に消防用スプリンクラー設備設置 芹香病院A2病棟に感染症隔離室（2室）設置 芹香病院A3病棟に救急用保護室（4室）、静養室（3室）設置
8年 4月	芹香病院病床数（497床）変更 芹香病院 精神科救急医療開始 選択メニュー給食の実施
10年12月	職員公舎3戸解体
12年 7月	芹香病院 特別管理給食加算（適時適温給食）実施
12月	第1医療職員公舎解体
14年 4月	芹香病院 精神科救急医療 24時間体制開始（8床）
15年 4月	芹香病院 精神科 救急病棟開設（B-1病棟 26床） 芹香病院 病床数（445床）変更
15年 9月	芹香病院 応急入院指定病院（1床）

平成15年10月	<p>芹香病院 精神科急性期治療病棟（B1）入院科1 適用承認</p> <p>芹香病院 紹介患者加算5実施</p>
16年4月	<p>芹香病院 精神科救急入院科（B1病棟26床）適用承認</p> <p>芹香病院 精神科救急入院施設管理加算（A1病棟を除く）適用承認</p> <p>芹香病院 医療保護入院等診療科適用承認</p> <p>せりがや病院 医療保護入院等診療科適用承認</p> <p>芹香病院 褥瘡患者管理加算適用承認</p>
6月	<p>芹香病院 療養環境加算（A1・B2病棟）適用承認</p>
9月	<p>芹香病院 夜間勤務等看護加算（A1病棟）</p>
17年4月	<p>地方公営企業法全部適用</p> <p>精神医療センターの組織再編成 看護部を看護局と改称、経理課及び医事課を医事経営課に統合、栄養課を栄養管理科に改称、各看護係を看護科と改称、各病院内に医療安全推進室を設置、芹香病院診療科内の医療相談室を地域医療相談室と改称</p>
12月	<p>芹香病院 日本医療機能評価機構認定病院となる</p> <p>せりがや病院 日本医療機能評価機構認定病院となる</p>
18年1月	<p>芹香病院 診療録管理体制加算</p> <p>せりがや病院 診療録管理体制加算</p>
4月	<p>芹香病院 15対1精神病棟入院基本料（A1病棟及びB1病棟を除く）</p> <p>芹香病院 老人性認知症疾患治療病棟入院料1（A1病棟）</p> <p>芹香病院 医療安全対策加算</p> <p>芹香病院 臨床研修病院入院診療加算</p> <p>芹香病院 栄養管理実施加算</p> <p>せりがや病院 15対1精神病棟入院基本料</p> <p>せりがや病院 栄養管理実施加算</p>
8月	<p>芹香病院 精神科ショート・ケア「大規模なもの」</p>
9月	<p>芹香病院 指定自立支援医療機関（通院精神医療）の指定</p> <p>せりがや病院 指定自立支援医療機関（通院精神医療）の指定</p>
12月	<p>芹香病院 特定病院認定</p>
19年5月	<p>芹香病院 精神科急性期治療病棟入院料2 適用承認</p>
8月	<p>せりがや病院 精神科作業療法適用承認</p>
20年3月	<p>芹香病院 老人性認知症専門病棟（A1病棟）閉床</p> <p>芹香病院 生活訓練・短期静養病棟（C1病棟）閉床</p>
4月	<p>芹香病院 ストレスケア病棟（A2病棟）開床</p> <p>芹香病院 精神科地域移行実施加算</p>
8月	<p>芹香病院 看護補助加算1</p>
21年2月	<p>芹香病院 精神科急性期治療病棟入院料2（A2・B2病棟）</p>
4月	<p>芹香病院 精神科救急入院料2（B1・B2病棟）</p> <p>芹香病院 通院対象者社会復帰連携体制強化加算</p>
6月	<p>せりがや病院 褥瘡患者管理加算</p>

平成21年 9月	芹香病院 病床数（308床）変更
22年 2月	芹香病院 医療観察法指定入院医療機関の指定（2床） 芹香病院 入院対象者入院医学管理料
4月	地方独立行政法人へ移行
5月	芹香病院 救急医療管理加算 せりがや病院 重度アルコール依存症管理加算
6月	芹香病院 精神科救急入院料1（B1、B2病棟）
7月	芹香病院 精神科急性期治療病棟入院料1（A2病棟）
12月	芹香病院 精神科身体合併症管理加算 せりがや病院 精神科身体合併症管理加算 せりがや病院 13対1精神科病棟入院基本料
23年 1月	芹香病院 作業療法棟及び社会療法棟の撤去
9月	芹香病院 医療観察法病棟の建設工事を開始
24年 2月	芹香病院精神科一般病棟（C3病棟）休床
4月	芹香病院精神科救急搬送患者地域連携紹介加算 芹香病院治療抵抗性統合失調症治療指導管理料
11月	医療観察法病棟（F病棟）の開棟（33床） 新精神医療センター本館の建設工事を開始
26年 3月	せりがや病院 1階病棟 休床
4月	せりがや病院精神保健福祉士配置加算 芹香病院精神科急性期医師配置加算（A2病棟）
12月	精神医療センター本館開設、芹香病院・せりがや病院統合（323床） 思春期病棟開設 既存棟除却工事を開始 コンピューター断層撮影（16列以上64列未満のマルチスライス型の機器による場合） ニコチン依存症管理料
27年 1月	児童・思春期精神科入院医療管理料（4B病棟） 強度行動障害入院医療管理加算（4B病棟）

### 3 組織・機構 (H27. 4. 1現在)



#### 4 職員配置状況 (H27. 4. 1現在)

所属	職	事務職員	技術職員	技能職員	計	非常勤職員	再雇用職員	契約職員	任期付職員
所	長		1		1				
院	長		1		1				
副	院 長		2		2				
	事 務 局								
	事 務 局 長	1			1				
	副 事 務 局 長	1			1				
	総 務 課	6			6	3		1	
	経 営 企 画 課	8			8				
	医 事 課	5			5	2			
小	計	21	4	0	25	5	0	1	0
医 療 局 長			(1)		(1)				
診 療 科			27		27	17			1
作 業 療 法 科			8		8				
デ イ ・ ケ ア 科		2	3		5			1	
心 理 科		7			7	2			
福 祉 医 療 相 談 科		12			12	2			
検 査 科					0	1			
薬 剤 科			5		5	2			
栄 養 管 理 科			2	17	19	17			
看 護 局 長			(1)		(1)				
副 看 護 局 長 等			3		3				
看 護 局			235	3	238	11	3	8	
医 療 安 全 室			1		1				
小	計	21	284	20	325	52	3	9	1
	計	42	288	20	350	57	3	10	1

(注) ( ) は兼務

職種別内訳（H27. 4. 1現在）

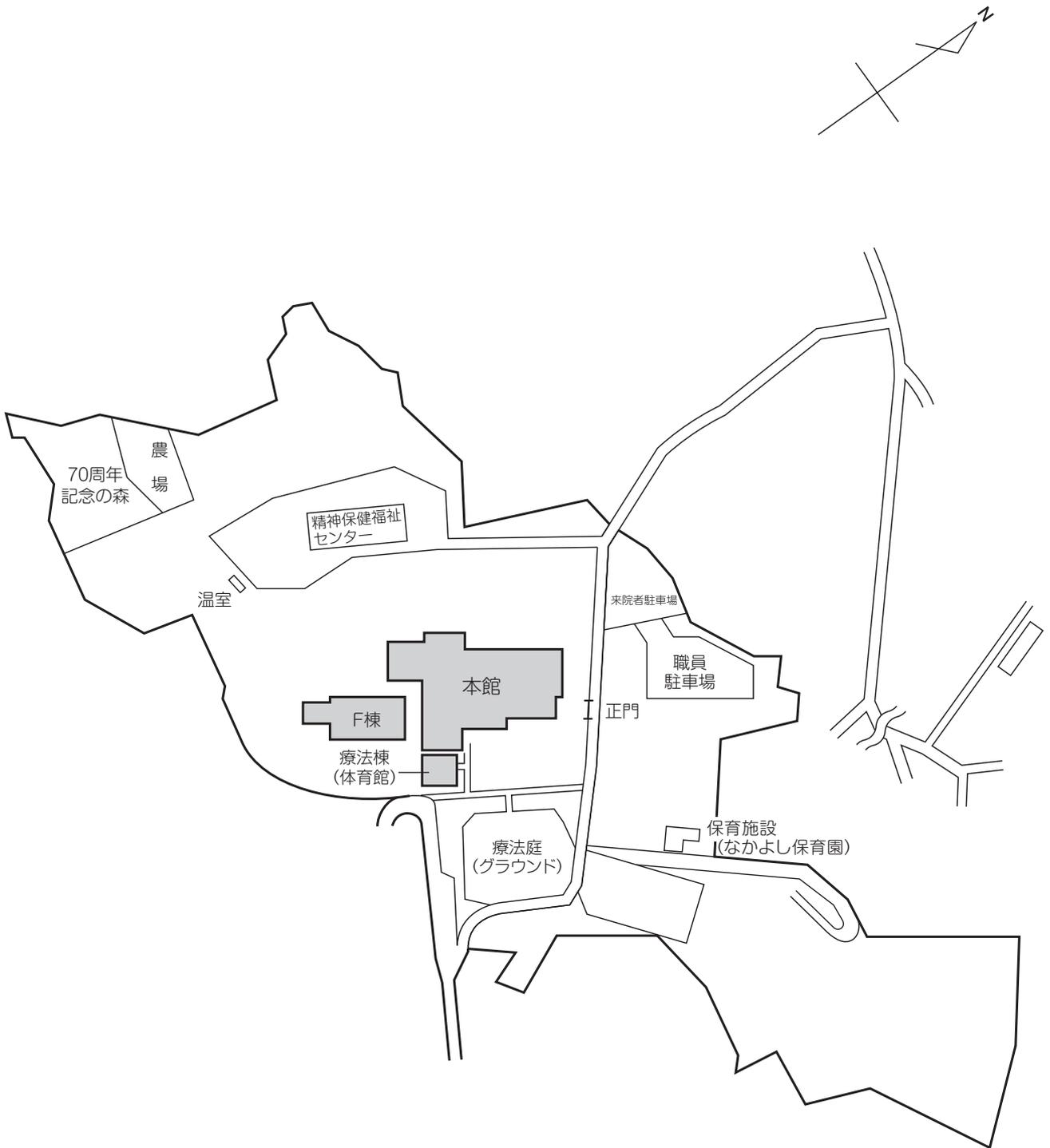
職 種		所 属				計
		所 長	事 務 局	医 療 局	看 護 局	
一 般 事 務 職			21			21
栄 養 士				2		2
調 理 職				17		17
医 師		1		26		27
福 祉 職	ソ ー シ ャ ル ワ ー カ ー			12		12
	臨 床 心 理 士			9		9
作 業 療 法 士				10		10
薬 剤 師				5		5
看 護 職			1	4	235	240
病 棟 技 能 職					3	3
総 数		1	22	85	238	346

## 5 施 設

### 【神奈川県立精神医療センター】

土 地		117,175.010㎡
建 物		(延べ面積)
本 館	鉄筋コンクリート造 地上5階建	18,462.53㎡
療 法 棟	鉄骨造 平屋建	543.86㎡
営 繕 棟	鉄骨造 平屋建	59.81㎡
渡り廊下 (A)	アルミニウム造 平屋建	0 ㎡
渡り廊下 (B)	アルミニウム造 平屋建	0 ㎡
ポ ン プ 室	コンクリートブロック造 平屋建	14.37㎡
医 療 観 察 等 病 棟	鉄筋コンクリート造 地上2階建	2,998.75㎡
庇	鉄骨造 平屋建	0 ㎡
倉 庫	鉄筋コンクリート造 平屋建	21 ㎡
(防 災 倉 庫)	鉄筋コンクリート造 平屋建	43.21㎡
計		22,143.53㎡

# 施設配置図



## 6 主な委員会・会議一覧 (H27. 4. 1現在)

委員会・会議	目 的	所管課(科)	構成員数	開 催 日
管 理 者 会 議	所の運営基本方針、事業計画及び予算等の重要事項の協議決定	総務課	9人	月2回(第1・第3月)
経 営 会 議	芹香病院の経営改善の推進に必要な事項の検討	医事課	24人	月1回(第4火)
情 報 管 理 会 議	両病院のカルテ、看護記録等の診療情報の管理に関する事項の検討	医事課	11人	随時
運 営 協 議 会	所の人権に配慮した医療と効率的な運営に向けた必要事項の検討	総務課	13人	年1回
倫 理 委 員 会	所で行う医療等に関し、倫理上の配慮が求められる事項についての検討	総務課	9人	随時
機 種 等 選 定 会 議	備品購入又は委託等に係わる機種選定及び入札参加者等の適正な選定	経営企画課	8人	随時
教 育 研 修 会 議	医療人材の教育・研修及び評価並びに、成果発表会の企画・運営	看護局	11人	隔月
運 営 調 整 会 議	両病院の運営基本方針、事業計画及び予算等の重要事項の協議決定	総務課	24人	月1回(第1火)
感 染 防 止 対 策 会 議	各病院の院内感染防止及び衛生管理対策等の検討	医療安全推進室	20人	月1回(第4火)
医 療 事 故 防 止 対 策 会 議	各病院の医療事故の防止体制の整備・確立及び防止対策の企画・立案等	医療安全推進室	19人	月1回(第1火)
栄 養 ・ 給 食 会 議	各病院の栄養管理・食事サービス業務の効率的な運営と向上	栄養管理科	15人	年4回
薬 事 会 議	各病院の医薬品の適正な管理及び効率的な運用	薬 剤 科	芹香 8人 せりがや 8人	芹香 年3回 せりがや 年1回
衛 生 委 員 会	所の職員の安全と健康の確保及び快適な作業環境の形成	総務課	8人	月1回(第1月)
看 護 科 長 会 議	各病院の看護管理に関する連絡調整及び看護組織の運営改善等の協議、看護職員の資質向上の検討	看護局	15人	月3回(第1・第3・第4水)

## 7 主な研修実績

月	研 修	担 当	開催日7	テーマ	講 師	参加者数
4月	新採用・転入職員 研修	芹香病院看護局・ (総務課)	4月1日～ 4日・7日 (5日間)	別紙参照	別紙参照	21名
6月	感染防止対策研修	医療安全推進室	6月27日(金) 15:00～16:00	気をつけよう・食中毒	芹香病院 二瓶感染管理認定看護 師	107名
7月	救急蘇生研修会	教育研修会議	7月7日(月) 16:30～18:00	救急時の初期対応	集中ケア認定看護師 がんセンター 鎌田 佳子 循呼センター 石山 都 今井 知子	86名
7月	せりがや病院 感染防止対策研修	医療安全推進室	7月30日(水) 15:30～16:15	みんなを守る手指衛生	芹香病院 則座感染管理認定看護 師	24名
8月	医療事故防止研修 会	医療安全推進室	8月8日(金) 15:00～16:00	記録の説明と重要性	損保ジャパン 能村 仁美	77名
9月	せりがや病院 医療事故防止研修会	医療安全推進室	9月11日(木) 15:30～16:30	記録の説明と重要性	損保ジャパン 能村 仁美	15名
2月	接遇研修	教育研修会議	2月9日(月) 15:30～17:30	接遇研修	ヘルスコーチ・ジャパン 渡辺 久美子	53名
2月	衛生委員会研修	衛生委員会	2月18日(水) 16:00～17:00	スムーズなコミュニケーション ストレスを溜めないために	カウンセラー 日比野由貴	37名
2月	医療事故防止研修会	医療安全推進室	2月20日(金) 16:00～17:00	実際の事例から事故防止 を学ぶ	長 文江 医療安全推進室	77名
3月	感染防止対策研修	医療安全推進室	3月4日(水) 16:00～17:00	基本的な手指衛生	東京サラヤ製薬 稲本 智之	97名



## Ⅱ 精神医療センター(芹香病院)事務事業の状況

# 1 精神医療センター（芹香病院）基本方針

## 1 神奈川県精神科中核病院として、高度な医療を提供します。

- 精神科救急医療システムの基幹病院として充実した救急医療を提供し、地域の医療機関と連携します。
- 依存症、ストレスケア、思春期、医療観察法の4つの分野で専門的な医療を提供します。
- 先進的な医療に関する臨床研究や、神奈川県医療の将来を担う人材育成に取り組みます。

## 2 患者さんの思いを大切に、患者中心の医療を目指します。

- 患者さん参加のもとで治療計画を考え、多職種チームで支援します。
- インフォームド・コンセントを徹底し、患者さんの意思決定を尊重します。

## 3 みんなのちからで、安全な医療に取り組みます。

- 積極的な情報公開に努め、透明性の高い安全な医療を提供します。
- 患者さんやご家族とともに、安心して医療を受けられる療養環境を築きます。

## 4 地域との連携を深め、患者さんの社会復帰を支援します。

- 必要な入院をスムーズに受け入れるとともに、早期退院を目指して計画的な援助を行います。
- 関係機関との連携を密にし、在宅の患者さんの地域生活を支援します。
- 関係機関と連携し、地域における精神保健活動に協力します。

## 5 県立病院として健全な経営を目指します。

- 効率的で効果的な経営のあり方を追求し、自立した病院経営に努力します。

## 2 経理の状況

### (1) 地方独立行政法人会計 決算状況

#### (ア) 貸借対照表

(平成27年3月31日)

【地方独立行政法人神奈川県立病院機構芹香病院】

(単位：円)

科 目	金 額		
<b>資産の部</b>			
<b>I 固定資産</b>			
<b>1 有形固定資産</b>			
土地		8,690,000,000	
建物	6,765,602,178		
減価償却累計額	△ 299,031,808		
減損損失累計額	0	6,466,570,370	
構築物	123,497,205		
減価償却累計額	△ 10,877,128		
減損損失累計額	0	112,620,077	
器械備品	888,884,058		
減価償却累計額	△ 144,625,828	744,258,230	
車両	571,692		
減価償却累計額	△ 202,135	369,557	
放射性同位元素	0		
減価償却累計額	0	0	
建設仮勘定		8,200,001	
<b>有形固定資産合計</b>		<b>16,022,018,235</b>	
<b>2 無形固定資産</b>			
ソフトウェア		83,547,200	
電話加入権		25,000	
その他		0	
<b>無形固定資産合計</b>		<b>83,572,200</b>	
<b>3 投資その他の資産</b>			
長期貸付金		0	
長期前払消費税等		285,015,243	
長期前払費用		0	
破産更生債権等	18,041,757		
貸倒引当金	△ 18,041,757	0	
その他		962,000	
<b>投資その他の資産合計</b>		<b>285,977,243</b>	
<b>固定資産合計</b>			<b>16,391,567,678</b>
<b>II 流動資産</b>			
現金及び預金		241,388,319	
医業未収金	506,158,307		
貸倒引当金	△ 3,918,934	502,239,373	
未収金		3,237,898	
たな卸資産		12,765,748	
前払費用		0	
その他		1,384,207	
<b>流動資産合計</b>			<b>761,015,545</b>
<b>資産合計</b>			<b>17,152,583,223</b>

(ア) 貸借対照表

(平成27年3月31日)

【地方独立行政法人神奈川県立病院機構芹香病院】

(単位：円)

科 目	金 額		
<b>負債の部</b>			
<b>I 固定負債</b>			
資産見返負債			
資産見返運営費負担金	409,604,193		
資産見返補助金等	1,564,562,487		
資産見返寄附金	833,667		
資産見返物品受贈額	11,678,351		
建設仮勘定見返運営費負担金	0	1,986,678,698	
長期借入金		5,110,810,000	
移行前地方債償還債務		0	
長期未払金		0	
引当金			
退職給付引当金	1,758,951,860		
環境対策引当金	2,702,090	1,761,653,950	
リース債務		182,028,000	
資産除去債務		14,100,251	
<b>固 定 負 債 合 計</b>			<b>9,055,270,899</b>
<b>II 流動負債</b>			
寄附金債務		1,002,245	
一年以内返済予定長期借入金		7,450,000	
一年以内償還予定移行前地方債償還債務		0	
未払金		270,317,007	
一年以内支払予定リース債務		49,923,555	
未払費用		91,599	
前受金		0	
預り金		12,154,691	
引当金			
賞与引当金	217,794,239	217,794,239	
<b>流 動 負 債 合 計</b>			<b>558,733,336</b>
<b>負 債 合 計</b>			<b>9,614,004,235</b>
<b>純資産の部</b>			
<b>I 資本金</b>			
設立団体出資金		8,394,725,775	
<b>資 本 金 合 計</b>			<b>8,394,725,775</b>
<b>II 資本剰余金</b>			
資本剰余金		1,520,000	
<b>資 本 剰 余 金 合 計</b>			<b>1,520,000</b>
<b>III 繰越欠損金</b>			
繰越欠損金		△ 857,666,787	
(うち当期総利益)		(△ 343,674,885)	
<b>繰 越 欠 損 金 合 計</b>			<b>△ 857,666,787</b>
<b>純 資 産 合 計</b>			<b>7,538,578,988</b>
<b>負 債 純 資 産 合 計</b>			<b>17,152,583,223</b>

(イ) 損 益 計 算 書

(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

【地方独立行政法人神奈川県立病院機構芹香病院】

(単位：円)

科 目	金 額		
<b>営業収益</b>			
医業収益			
入院収益	2,089,719,692		
外来収益	296,728,946		
児童福祉施設収益	0		
その他医業収益	13,294,706		
保険等査定減	△ 1,023,161		
運営費負担金収益		2,398,720,183	
補助金等収益		1,694,537,000	
寄附金収益		36,061,579	
資産見返運営費負担金戻入		0	
資産見返補助金等戻入		23,484,752	
資産見返寄附金等戻入		78,445,377	
資産見返物品受贈額戻入		167,566	
資産見返物品受贈額戻入		17,985,378	
<b>営業収益合計</b>			<b>4,249,401,835</b>
<b>営業費用</b>			
医業費用			
給与費	3,013,819,145		
材料費	233,042,323		
減価償却費	358,093,081		
経費	523,666,539		
研究研修費	6,515,867		
児童福祉施設費	0		
一般管理費		4,135,136,955	
給与費	0		
減価償却費	0		
経費	0		
控除対象外消費税等		76,213,298	
資産に係る控除対象外消費税等償却		10,851,410	
その他営業費用		0	
<b>営業費用合計</b>			<b>4,222,201,663</b>
<b>営業利益</b>			<b>27,200,172</b>
<b>営業外収益</b>			
運営費負担金収益		36,617,000	
患者外給食収益		4,860,630	
不用品売却収益		35,100	
財務収益		3,006	
雑益		9,699,321	
<b>営業外収益合計</b>			<b>51,215,057</b>
<b>営業外費用</b>			
患者外給食費		4,580,872	
財務費用		56,036,997	
雑支出		1,072,363	
<b>営業外費用合計</b>			<b>61,690,232</b>
<b>経常利益</b>			<b>16,724,997</b>
<b>臨時利益</b>			
資産見返物品受贈額戻入		335,641,210	
<b>臨時利益</b>			<b>335,641,210</b>
<b>臨時損失</b>			
固定資産売却損		2,075,000	
固定資産除却損		634,308,716	
減損損失		0	
その他臨時損失		59,657,376	
<b>臨時損失</b>			<b>696,041,092</b>
<b>当期純損失</b>			<b>△ 343,674,885</b>
<b>当期総損失</b>			<b>△ 343,674,885</b>

### 3 業務実績

#### (1) 各種指標

項目	計算方式	単位	平成26年度	平成25年度	対前年度比(%)	備考
病床数		床	323	308	104.9	
取扱患者数		人	121,180	113,232	107.0	
入院患者		人	83,296	78,314	106.4	
外来患者		人	37,884	34,918	108.5	
1日平均取扱患者数		人	383.5	357.7	107.2	
入院患者	取扱入院患者数/年間日数	人	228.2	214.6	106.3	
外来患者	取扱外来患者数/年間外来診療日数	人	155.3	143.1	108.5	
病床利用率	取扱入院患者数/延病床数×100	%	70.7	69.7	101.4	
平均在院日数	入院延患者数/(入院患者数+退院患者数)×0.5	日	119.9	132.5	90.5	
入院外来患者比率	取扱患者数/取扱入院患者数×100	%	45.5	44.6	102.0	
医師・看護師1人当たりの取扱患者数						
医師	取扱患者数/医師延人数	人	14.4	15.5	92.9	
看護師	取扱患者数/看護師延人数	人	1.6	1.7	94.1	
職員数		人	298	282	105.7	期末人数
医師		人	23	20	115.0	期末人数
看護師		人	202	181	111.6	期末人数
その他職員		人	73	81	90.1	期末人数
病床100床当たりの職員数	全職員数/病床数×100	人	92.3	91.6	100.8	
医師	職員数/病床数×100	人	7.1	6.5	109.2	
看護師	職員数/病床数×100	人	62.5	58.8	106.3	
その他職員	職員数/病床数×100	人	22.6	26.3	85.9	
患者一人当たりの収益	医業収益/取扱患者数	円	19,795	19,853	99.7	
入院患者	入院収益/取扱患者数	円	25,088	23,549	106.5	
外来患者	外来収益/取扱患者数	円	7,833	11,562	67.7	
医師・看護師1人1日当たりの収益						
医師	医業収益/医師延人数	円	285,732	307,940	92.8	
看護師	医業収益/看護師延人数	円	32,534	34,027	95.6	
患者1人1日当たりの費用	医業費用/取扱患者数	円	34,124	33,054	103.2	
患者1人当たりの薬品費	薬品費/取扱患者数	円	1,299	2,402	54.1	
患者1人当たりの給食材料費	給食材料費/取扱入院患者数	円	816	808	101.0	
医業収益に対する費用比率	医業費用/医業収益×100	%	172.4	166.4	103.6	
給与費	給与費/医業収益×100	%	125.6	121	103.8	
材料費	材料費/医業収益×100	%	9.7	15.3	63.4	
経費	経費/医業収益×100	%	21.8	21.4	101.9	

(注) 芦香病院・精神医療センター4月～3月のデータです。

## 4 患者の状況

### (1) 外来患者の状況

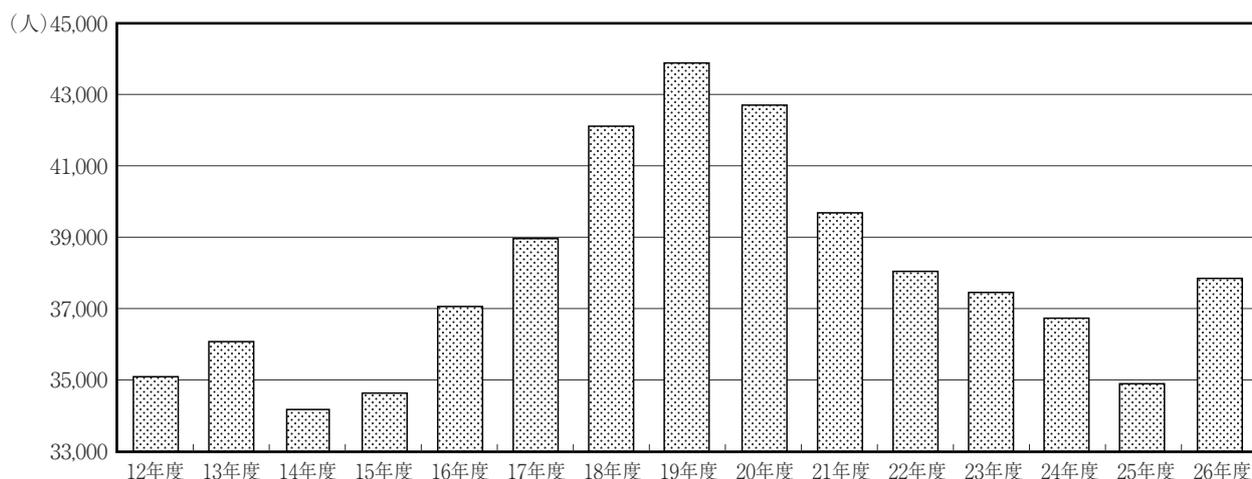
延患者数では3,382人増で対前年度比7.7%増となっている。また、新患については307人増の対前年度比52.6%増となっている。

#### ア 月別外来患者数

年度	月 区分	月												計
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
26	新患	48	43	46	63	42	41	52	42	130	120	114	149	890
	再来	2,797	2,734	2,675	2,893	2,686	2,637	2,802	2,259	3,716	3,824	3,699	4,272	36,994
	延患者数	2,845	2,777	2,721	2,956	2,728	2,678	2,854	2,301	3,846	3,944	3,813	4,421	37,884
	一日平均	135.5	138.9	129.6	134.4	129.9	133.9	129.7	127.8	202.4	207.6	200.7	201.0	155.3
25	新患	54	49	53	49	45	37	51	35	49	54	51	56	583
	再来	3,076	3,024	2,797	3,205	3,074	2,747	2,976	2,684	2,675	2,710	2,561	2,806	34,335
	延患者数	3,130	3,073	2,850	3,254	3,119	2,784	3,027	2,719	2,724	2,764	2,612	2,862	34,918
	一日平均	149.0	146.3	142.5	147.9	141.8	146.5	137.6	136.0	143.4	145.5	137.5	143.1	143.1

(注) 精神科のほか、内科・歯科受診者を含む

#### イ 外来患者数の年次推移状況



#### ウ 病類別新外来患者数

年度	病類 (ICD) 区分	脳器質性精神障害 (F0)		中毒性精神障害 (F1)			統合失調症 (F2)	気分障害 (F3)	神経症性障害等 (F4)		生理的障害等 (F5)	人格障害 (F6)	精神遅滞 (F7)	てんかん (G4)	その他	計
		老人性精神障害	その他脳器質性精神障害	アルコール	覚醒剤	その他中毒性精神障害			心因反応	その他神経症性障害						
26	男	2	3	53	17	20	104	108	0	43	0	4	6	1	9	370
	女	0	4	21	5	8	94	98	2	40	1	9	1	1	10	294
	計	2	7	74	22	28	198	206	2	83	1	13	7	2	19	664
	構成比	0.3	1.1	11.1	3.3	4.2	29.8	31.0	0.3	12.5	0.2	2.0	1.1	0.3	2.9	100.0
25	男	1	1	5	4	3	132	112		19	3	5	2	5	4	296
	女	2	5	3	3	1	118	109		23	5	11	2	3	2	287
	計	3	6	8	7	4	250	221		42	8	16	4	8	6	583
	構成比	0.5	1.0	1.4	1.2	0.7	42.9	37.9		7.2	1.4	2.7	0.7	1.4	1.0	100.0

(注) 新外来患者とは、精神科初診患者と6ヵ月以上通院していない再初診患者のこと

## 工 年齢別新外来患者数

年度	年齢 区分	年齢							計
		19歳以下	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	
26	男	36	51	78	96	62	37	10	370
	女	26	49	67	61	50	20	21	294
	計	62	100	145	157	112	57	31	664
	構成比	9.3	15.1	21.8	23.6	16.9	8.6	4.7	100.0
25	男	6	40	66	73	54	33	24	296
	女	8	44	61	75	57	21	21	287
	計	14	84	127	148	111	54	45	583
	構成比	2.4	14.4	21.8	25.4	19.0	9.3	7.7	100.0

## 才 地域別実外来患者数

居住地域	年度		居住地域	年度		居住地域	年度				
	26	25		26	25		26	25			
横 濱 市	2,610	1,990	横 須 賀 市	85	60	足 柄 上 郡	3	4			
	鶴 見 区	70		30	平 塚 市		25	12	中 井 町	1	1
	神 奈 川 区	86		50	鎌 倉 市		50	34	大 井 町	1	1
	西 区	67		56	藤 沢 市		94	53	松 田 町	0	0
	中 区	123		66	小 田 原 市		13	7	山 北 町	1	0
	南 区	446		362	茅 ヶ 崎 市		41	13	開 成 町	0	2
	港 南 区	463		405	逗 子 市	18	14	足 柄 下 郡	5	1	
	保 土 ヶ 谷 区	181		133	相 模 原 市	16	2	箱 根 町	1	1	
	旭 区	97		70	三 浦 市	11	13	真 鶴 町	1	0	
	磯 子 区	171		155	秦 野 市	6	5	湯 河 原 町	3	0	
	金 沢 区	151		120	厚 木 市	14	8	県 内 計	3,195	2,323	
	港 北 区	64		32	大 和 市	22	11	東 京 都	100	27	
	緑 区	35		25	伊 勢 原 市	5	6	埼 玉 県	1	7	
	戸 塚 区	321		264	海 老 名 市	13	10	千 葉 県	4	6	
	瀬 谷 区	57		30	座 間 市	11	8	群 馬 県	0	1	
	栄 区	101		82	南 足 柄 市	2	3	栃 木 県	13	2	
	泉 区	110		74	綾 瀬 市	7	8	山 梨 県	0	2	
	青 葉 区	39		22	三 浦 郡 葉 山 町	5	5	静 岡 県	0	3	
	都 筑 区	28		14	高 座 郡 寒 川 町	5	1	茨 城 県	3	3	
川 崎 市	127	46	愛 甲 郡	1	5	そ の 他 の 県	21	36			
	川 崎 区	34		14	愛 川 町	1	5	県 外 計	142	87	
	幸 区	21	5	清 川 村	0	0	住 所 不 明	0	0		
	中 原 区	19	12	中 郡	6	4	計	3,337	2,410		
	高 津 区	17	2		大 磯 町	3	2				
	宮 前 区	11	5		二 宮 町	3	2				
	多 摩 区	15	4								
	麻 生 区	10	4								

(注1) 平成26年度の数は12月～3月のもの

(注2) 新患・再来を含め、同一患者について一人としてカウントした数

## (2) 入退院患者の状況

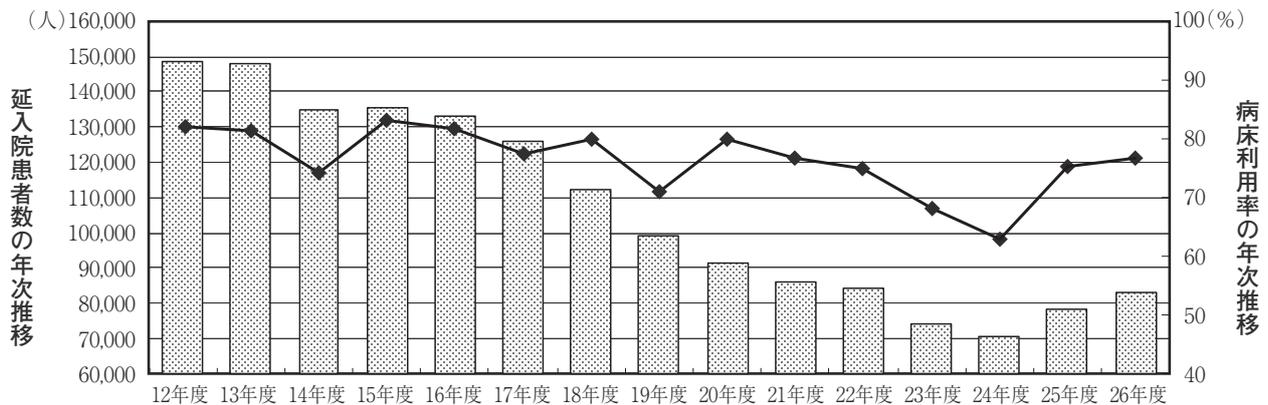
平成26年度は、延患者数83,296人で前年度と比べ4,982人増で対前年度比6.4%増となっている。病床利用率は72.9%で対前年度比3.2ポイントの増となっている。(平成26年12月より総合整備により2病院が統合したため、病床数が285床から323床に増えている)入院患者は前年度に比べ19.3%増となっている。入院形態は任意入院の構成比が対前年度比17.2ポイント増、医療保護入院が8.4ポイント減、措置入院が6.6ポイント減、鑑定入院は同値となっている。また、医観法入院処遇が1.6ポイント減少している。

### ア 月別入退院患者数

年度	月 区分	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
		26	入院	37	49	49	52	36	39	57	58	93	86	
	退院	54	39	42	54	44	51	46	52	58	70	70	91	671
	延患者数	6,440	6,587	6,606	6,638	6,606	6,157	6,228	6,213	7,350	8,149	7,692	8,630	83,296
	病床利用率	69.7	69.0	71.5	69.5	69.2	66.6	65.2	67.2	73.4	81.4	85.1	86.2	72.9
25	入院	51	55	55	49	48	54	48	50	50	47	47	48	602
	退院	45	46	51	49	52	48	44	48	59	43	41	51	577
	延患者数	5,940	6,312	6,395	6,723	6,582	6,489	6,778	6,741	6,747	6,625	6,132	6,850	78,314
	病床利用率	64.3	66.1	69.2	70.4	68.9	70.2	71.0	73.0	70.7	69.4	71.1	71.7	69.7

(注) 月別に新たに入院した数

### イ 延入院患者数及び病床利用率の年次推移状況



### ウ 病類別新入院患者数

年度	病類(ICD) 区分	脳器質性精神障害 (F0)		中毒性精神障害 (F1)			統合失調症 (F2)	気分障害 (F3)	神経症性障害等 (F4)		生理的障害等 (F5)	人格障害 (F6)	精神遅滞 (F7)	てんかん (G4)	その他	計
		老人性精神障害	その他脳器質性精神障害	アルコール	覚醒剤	その他中毒性精神障害			心因反応	その他神経症性障害						
26	男	1	1	59	12	18	183	82		16		2	2	1	3	380
	女		1	18	11	13	165	92		24		5		5	4	338
	計	1	2	77	23	31	348	174		40		7	2	6	7	718
	構成比	0.1	0.3	10.7	3.2	4.3	48.5	24.2		5.6		1.0	0.3	0.8	1.0	100.0
25	男	2	5	4	9	1	89	48		8		0			3	169
	女		2	1			74	60		8		7			1	153
	計	2	7	5	9	1	163	108		16		7			4	322
	構成比	0.6	2.2	1.6	2.8	0.3	50.6	33.5		5.0		2.2			1.2	100.0

(注) 新入院患者とは、当病院に初めて入院した患者のこと

工 病類別・年齢別実入院患者数

年度	年齢	区分	病類(ICD)		脳器質性精神障害 (F0)			中毒性精神障害 (F1)			統合失調症 (F2)	気分障害 (F3)	神経症性障害等 (F4)		生理的障害等 (F5)	人格障害 (F6)	精神遅滞 (F7)	てんかん (G4)	その他	計	年齢構成比		
			老人性精神障害	その他脳器質性精神障害	アルコール	覚醒剤	その他中毒性精神障害	心因反応	その他神経症性障害														
26	19歳以下	男								9	4		3		1	1				18	4.9		
		女								8	2		6						1	17			
		小計								17	6		9		1	1			1	35			
	20～29歳	男		1	1			5	18	7			2				1			35	9.7		
		女					2	4	14	11			2		1				1	35			
		小計		1	1		2	9	32	18			4		1	1			1	70			
	30～39歳	男			2	6	7	29	20				6		1					1	72	20.5	
		女		1	4	3	3	33	23				5		1				2	75			
		小計		1	6	9	10	62	43				11		2				3	147			
	40～49歳	男			19	6	4	62	20				3							1	115	29.1	
		女			6	3	6	53	16				6		2			2		2	94		
		小計			25	9	10	115	36				9		2			2	1	209			
	50～59歳	男			23		2	33	27				2							1	88	19.8	
		女			8	2		20	20				2						2		54		
		小計			31	2	2	53	47				4					2	1	142			
	60～69歳	男			13			23	4										1		41	11.4	
		女					1	27	9				3		1						41		
		小計			13		1	50	13				3		1				1	82			
	70歳以上	男	1		1			9													11	4.6	
		女						10	11										1		22		
		小計	1		1			19	11										1	33			
計	男	1	1	59	12	18	183	82				16		2	2	1	3	380	100.0				
	女		1	18	11	13	165	92				24		5		5	4	338					
	計	1	2	77	23	31	348	174				40		7	2	6	7	718					
	構成比	0.1	0.3	10.7	3.2	4.3	48.5	24.2				5.6		1.0	0.3	0.8	1.0	100.0					
25	19歳以下	男											2							2	4	1.3	
		女								3	1										4		
		小計								3	1			2						2	8		
	20～29歳	男					1			25	2			1								29	10.3
		女								20	5			3		4				1	33		
		小計					1			45	7			4	4				1	62			
	30～39歳	男			2	2	6			47	22			4								83	23.8
		女			1					39	14			2		4					60		
		小計			2	3	6			86	36			6	4					143			
	40～49歳	男			1	2	1	1	63	15				1				1		2	87	27.7	
		女								54	22			3						1	80		
		小計			1	2	1	1	117	37				4			1		3	167			
	50～59歳	男					1			46	10			1								58	19.9
		女								46	15			1							62		
		小計					1			92	25			2						120			
	60～69歳	男			1	1				26	4										32	10.5	
		女			1					18	11			1							31		
		小計			2	1				44	15			1						63			
	70歳以上	男	2		3					5	6										16	6.5	
		女			1					15	6			1							23		
		小計	2		4					20	12			1						39			
計	男	2	7	5	9	1	212	59				9		0	1			4	309	100.0			
	女	0	2	1	0	0	195	74				11		8	0			2	293				
	計	2	9	6	9	1	407	133				20		8	1			6	602				
	構成比	0.3	1.5	1.0	1.5	0.2	67.6	22.1				3.3		1.3	0.2			1.0	100.0				

(注) 実入院患者数とは、前年度末に在院していた患者数に、当年度に新たに入院した患者数を足した数

才 地域別実入院患者数

居住地域	年度		居住地域	年度		居住地域	年度		
	26	25		26	25		26	25	
横浜市	504	461	横須賀市	23	16	足柄上郡	1	2	
	鶴見区	18	13	平塚市	7	12	中井町	0	1
	神奈川区	25	16	鎌倉市	5	11	大井町	0	1
	西区	10	15	藤沢市	22	27	松田町	0	0
	中区	27	16	小田原市	2	4	山北町	0	0
	南区	72	71	茅ヶ崎市	12	6	開成町	1	2
	港南区	80	74	逗子市	2	4	足柄下郡	1	1
	保土ヶ谷区	37	37	相模原市	18	1	箱根町	0	1
	旭区	15	18	三浦市	2	3	真鶴町	0	0
	磯子区	29	29	秦野市	5	4	湯河原町	1	0
	金沢区	26	36	厚木市	4	7	県内計	682	626
	港北区	21	20	大和市	8	9	東京都	18	10
	緑区	7	8	伊勢原市	4	4	埼玉県	3	7
	戸塚区	50	50	海老名市	6	3	千葉県	3	8
	瀬谷区	19	5	座間市	3	3	茨城県	2	0
	栄区	22	16	南足柄市	0	0	群馬県	0	1
	泉区	24	22	綾瀬市	1	3	栃木県	0	1
	青葉区	14	12	三浦郡葉山町	2	5	静岡県	1	3
	都筑区	8	3	高座郡寒川町	1	0	その他の県	6	27
川崎市	43	31	愛甲郡	1	6	県外計	33	57	
	川崎区	4	6	愛川町	1	6	住所不明	3	0
	幸区	3	4	清川村		0	計	718	683
	中原区	9	7	中郡	5	3			
	高津区	9	3	大磯町	2	1			
	宮前区	6	4	二宮町	3	2			
	多摩区	11	2						
麻生区	1	5							

力 入院費負担区分別患者数（平成27年3月末現在在院患者一覧表）

年度	負担区分	健康保険法		国民健康保険法	生活保護法	精神保健福祉法	感染症法(第37条)	自費	その他	計
		本人	家族							
26	男	20	13	86	30	2			21	172
	女		15	47	19	1		1	10	93
	計	20	28	133	49	3		1	31	265
	構成比	7.5	10.6	50.2	18.5	1.1		0.4	11.7	100.0
25	男	4	6	63	22	8		1	21	125
	女	15	1	42	19	7			9	93
	計	19	7	105	41	15		1	30	218
	構成比	8.7	3.2	48.2	18.8	6.9		0.5	13.8	100.0

(注) 本表のその他とは、「臨床研究入院」「医療観察法」等の患者が含まれる

キ 入院形態別患者数

年度	形態	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
		区分													
26	任意	男	3	15	7	7	3	4	7	21	22	29	28	26	172
		女	8	7	10	14	7	9	11	11	28	20	18	22	165
		小計	11	22	17	21	10	13	18	32	50	49	46	48	337
		構成比	29.7	44.9	34.7	40.4	27.8	33.3	46.2	55.2	53.8	57.0	58.2	57.8	46.9
	医療保護	男	8	5	10	11	6	4	9	11	16	15	12	9	116
		女	12	8	11	7	7	10	12	3	16	9	12	11	118
		小計	20	13	21	18	13	14	21	14	32	24	24	20	234
		構成比	54.1	26.5	42.9	34.6	36.1	35.9	36.8	24.1	34.4	27.9	30.4	24.1	32.6
	措置	男	2	8	6	9	8	7	11	8	3	7	3	9	81
		女	2	5	4	2	4	3	4	4	5	5	4	3	45
		小計	4	13	10	11	12	10	15	12	8	12	7	12	126
		構成比	8.2	26.5	20.4	22.4	24.5	20.4	30.6	24.5	16.3	24.5	14.3	14.5	17.5
	鑑定	男	1									1			2
		女													0
		小計	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	2
		構成比	1.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.7	0.0	0.0	0.0	0.3
	医観法 特例措置	男													
		女													
		小計													
		構成比													
	医観法 入院処遇	男				1		1				1		1	5
		女		1				1	1		1			1	5
		小計	0	1	0	1	0	2	1	0	2	0	1	2	10
		構成比	0.0	1.7	0.0	1.7	0.0	3.4	1.7	0.0	3.4	0.0	1.7	3.4	1.4
	臨床研究	男	1		1								1	1	4
		女				1	1			2					5
小計		1	0	1	1	1	0	2	2	0	0	1	1	9	
構成比		1.7	0.0	1.7	1.7	1.7	0.0	3.4	0.0	0.0	0.0	1.7	1.7	1.3	
計	男	15	28	24	28	17	16	27	40	43	52	45	45	380	
	女	22	21	25	24	19	23	30	18	50	34	34	38	338	
	計	37	49	49	52	36	39	57	58	93	86	79	83	718	
25	任意	男	10	7	6	6	8	8	3	7	5	9	5	6	80
		女	9	6	8	10	8	11	7	7	5	10	10	8	99
		小計	19	13	14	16	16	19	10	14	10	19	15	14	179
		構成比	37.3	23.6	25.5	32.7	33.3	35.2	20.8	28.0	20.0	40.4	31.9	29.2	29.7
	医療保護	男	8	9	13	8	10	9	15	15	14	7	8	10	126
		女	11	18	10	14	7	7	9	11	5	10	10	9	121
		小計	19	27	23	22	17	16	24	26	19	17	18	19	247
		構成比	37.3	49.1	41.8	44.9	35.4	29.6	50.0	52.0	38.0	36.2	38.3	39.6	41.0
	措置	男	5	7	13	3	7	7	7	6	11	4	4	7	81
		女	3	7	4	6	5	9	6	0	9	4	6	5	64
		小計	8	14	17	9	12	16	13	6	20	8	10	12	145
		構成比	15.7	25.5	30.9	18.4	25.0	29.6	27.1	12.0	40.0	17.0	21.3	25.0	24.1
	鑑定	男									1				1
		女	1												1
		小計	1								1				2
		構成比	2.0								2.0				0.3
	医観法 特例措置	男													
		女													
		小計													
		構成比													
	医観法 入院処遇	男	1	1	1			2	1	3	1	2	2	1	15
		女	1										1	1	3
		小計	2	1	1			2	1	3	1	2	3	2	18
		構成比	3.9	1.8	1.8			3.7	2.1	6.0	2.0	4.3	6.4	4.2	3.0
	臨床研究	男	1			1	2	1						1	6
		女	1			1	1					1	1	1	5
小計		2			2	3	1	0			1	1	1	11	
構成比		3.9			4.1	6.3	1.9	0.0			2.1	2.1	2.1	1.8	
計	男	25	24	33	18	27	27	26	32	31	22	19	25	309	
	女	26	31	22	31	21	27	22	18	19	25	28	23	293	
	計	51	55	55	49	48	54	48	50	50	47	47	48	602	

ク 病類別・在院期間別在院患者数

年度	期間	区分	病類 (ICD)		脳器質性精神障害 (F0)			中毒性精神障害 (F1)			統合失調症 (F2)	気分障害 (F3)	神経症性障害等 (F4)		生理的障害等 (F5)	人格障害 (F6)	精神遅滞 (F7)	てんかん (G4)	その他	計	構成比	
			老人性精神障害	その他脳器質性精神障害	アルコール	覚醒剤	その中毒性精神障害	心因反応	その他神経症性障害													
26	1年未満	男	1		21	2	2	55	18		1			2						103	64.5	
		女			7	3		33	13		7			1					3	68		
		小計	1		28	5	2	88	31		8			1	1				3	171		
	1～2年	男		1		1	1	32	1											36	17.0	
		女						9												9		
		小計		1		1	1	41	1											45		
	3～4年	男						7												7	4.2	
		女						3			1									4		
		小計						10			1									11		
	5～9年	男						7												7	4.9	
		女						6												6		
		小計						13												13		
	10～19年	男						14	1											15	7.2	
		女						4												4		
		小計						18	1											19		
	20～29年	男						3												3	1.9	
		女						2												2		
		小計						5												5		
	30年以上	男						1												1	0.4	
		女																		0		
		小計						1												1		
	計	男	1	1	21	3	3	119	20		1				1			1		2	172	100.0
		女			7	3	1	57	13		7				1	0		3	1	93		
		計	1	1	28	6	4	176	33		8				1	1		3	3	265		
		構成比	0.4	0.4	10.6	2.3	1.5	66.4	12.5		3.0				0.4	0.4		1.1	1.1	100.0		
	25	1年未満	男			1	1	1	52	8											63	54.1
女								31	22					1					1	55		
小計					1	1	1	83	30					1					1	118		
1～2年		男		1	1			18	2											22	16.5	
		女			1			13												14		
		小計		1	2			31	2											36		
3～4年		男						10												10	7.8	
		女						7												7		
		小計						17												17		
5～9年		男						11												11	9.2	
		女						9												9		
		小計						20												20		
10～19年		男						12	1											13	8.3	
		女						5												5		
		小計						17	1											18		
20～29年		男						4												4	2.8	
		女						2												2		
		小計						6												6		
30年以上		男						3												3	1.4	
		女																		0		
		小計						3												3		
計		男		1	2	1	1	110	11						0					0	126	100.0
		女		0	1	0	0	67	22						1					1	92	
		計		1	3	1	1	177	33						1					1	218	
		構成比		0.5	1.4	0.5	0.5	81.2	15.1						0.0	0.0		0.5	0.0	0.5	100.0	

ケ 病類別・転帰別退院患者数

年度	転帰	区分	病類 (ICD)		中毒性精神障害 (F1)			統合失調症 (F2)	気分障害 (F3)	神経症性障害等 (F4)		生理的障害等 (F5)	人格障害 (F6)	精神遅滞 (F7)	てんかん (G4)	その他	計	構成比	
			脳器質性精神障害 (F0)		アルコール	覚醒剤	その他中毒性精神障害			心因反応	その他神経症性障害								
			老人性精神障害	その他脳器質性精神障害				老人性精神障害	その他脳器質性精神障害										
26	全快	男																	
		女																	
		小計																	
	軽快	男			30	11	7	111	36		14				7		17	233	73.4
		女			10	8	5	129	74		19						14	259	
		小計			40	19	12	240	110		33				7		31	492	
	未治	男			6		2	1	4									13	4.8
		女			3		6	3	5		2							19	
		小計			9			4	9		2							32	
	転医	男			7	5	3	46	7		1				2		3	74	19.1
		女			3	1	1	35	5		5				1		3	54	
		小計			10	6	4	81	12		6				3		6	128	
	死亡	男			1			2										3	0.9
		女						3										3	
		小計						5										6	
	鑑定了	男						1									1	2	0.3
		女																	
		小計																2	
医観法入院処遇終了	男																		
	女																		
	小計																		
臨研終了	男					1		5									6	1.5	
	女							4									4		
	小計							9									10		
計	男			44	16	13	161	52		15				9		21	331	100.0	
	女			16	9	12	170	88		26				1		17	339		
	計			60	25	25	331	140		41				10		38	670		
	構成比			9.0	3.7	3.7	49.4	20.9		6.1				1.5		5.7	100.0		
25	全快	男																	
		女																	
		小計																	
	軽快	男			4	2	9		97	48					2		13	183	66.4
		女			1		4		94	57					1		19	200	
		小計			5	2	13		191	105					3		32	383	
	未治	男				1			3	7								11	2.9
		女							2	2								6	
		小計				1			5	9								17	
	転医	男			5	6		58	8		3				2		9	91	27.9
		女			1			46	10		5				1		7	70	
		小計			6	6		104	18		8				3		16	161	
	死亡	男					1		3									4	0.7
		女							3									0	
		小計					1		3									4	
	鑑定了	男							1									1	0.3
		女							1									1	
		小計							2									2	
医観法入院処遇終了	男																	0.0	
	女																		
	小計																		
臨研終了	男							5									5	1.7	
	女							5									5		
	小計							10									10		
計	男			4	8	16		162	68		11			4		22	295	100.0	
	女			1	1	4		143	74		31			2		26	282		
	計			5	9	20		305	142		42			6		48	577		
	構成比			0.9	1.6	3.5		2.9	24.6		7.3			1.0		8.3	100.0		

コ 病類別・在院期間別退院患者数（26年度）

病類(ICD)	期間	区分	脳器質性精神障害 (F0)		中毒性精神障害 (F1)			統合失調症 (F2)	気分障害 (F3)	神経症性障害等 (F4)		生理的障害等 (F5)	人格障害 (F6)	精神遅滞 (F7)	てんかん (G4)	その他	計	構成比
			老人性精神障害	その他脳器質性精神障害	アルコール	覚醒剤	その他中毒性精神障害			心因反応	その他神経症性障害							
1年未満	男				43	17	11	147	52		15			9		21	315	94.8
	女				16	13	8	153	88		26			1		17	322	
	小計				59	30	19	300	140		41			10		38	637	
1～2年	男				1		1	5									7	2.4
	女							8	1								9	
	小計				1		1	13	1								16	
3～4年	男							3									3	0.6
	女							1									1	
	小計							4									4	
5～9年	男							3									3	1.2
	女							5									5	
	小計							8									8	
10～19年	男							0									0	0.3
	女							2									2	
	小計							2									2	
20～29年	男							2									2	0.4
	女							1									1	
	小計							3									3	
30年以上	男							2									2	0.3
	女																0	
	小計							2									2	
計	男				44	17	12	162	52		15			9		21	332	100.0
	女				16	13	8	170	89		26			1		17	340	
	計				60	30	20	332	141		41			10		38	672	
	構成比				8.9	4.5	3.0	49.4	21.0		6.1			1.5		5.7	100.0	

(3) 救急医療の状況

年度	区分	月												計
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
26	取扱件数	(10)	(18)	(17)	(15)	(17)	(16)	(21)	(14)	(16)	(18)	(12)	(20)	(194)
		12	22	21	17	20	19	24	18	23	21	16	29	242
	入院	(9)	(17)	(17)	(14)	(17)	(12)	(19)	(14)	(12)	(16)	(11)	(15)	(173)
		11	19	19	15	18	12	20	17	14	16	12	17	190
	外来処置	(1)	(1)	(0)	(1)	(0)	(4)	(2)	(0)	(4)	(2)	(1)	(5)	(21)
25	取扱件数	(8)	(19)	(19)	(11)	(13)	(15)	(15)	(6)	(20)	(8)	(10)	(12)	(156)
		12	29	25	22	21	23	22	14	29	15	15	19	246
	入院	(8)	(13)	(18)	(8)	(12)	(15)	(13)	(5)	(18)	(8)	(10)	(12)	(140)
		12	19	21	12	14	20	17	14	23	14	13	17	196
	外来処置	(0)	(6)	(1)	(3)	(1)	(0)	(2)	(1)	(2)	(0)	(0)	(0)	(16)
		0	10	4	10	7	3	5	0	6	1	2	2	50

(注) ( ) は、精神保健診察件数で内数

## 5 業務の状況

### (1) 看護

#### 芹香病院

#### ア 看護局概要

#### (ア) 病院機能と看護職員配置（平成26年3月1日現在）

副院長兼看護局長 1名		副看護局長（業務担当）1名 （教育担当）1名				
病棟名	病棟機能		病床数	看護科長	看護職員定数	病棟技能員
A-2	ストレスケア病棟	開放病棟	37 保護室1	1	16	1
A-3	総合治療病棟	閉鎖病棟	50 保護室1 静養室1	1	20	2
B-1	救急病棟	閉鎖病棟	26 保護室14 静養室4	1	29	2
B-2	救急病棟	閉鎖病棟	34 保護室6 静養室5	1	22	2
B-3	医療介護病棟	閉鎖病棟	45 保護室6 静養室5 結核病床2	1	23	2
C-2	一般病棟	閉鎖病棟	60 保護室3 静養室2	1	20	2
F	医療観察法病棟	閉鎖病棟	33	1	43	2
休 床			23			
小 計			308	7	173	13
外 来				1	7	
医療安全推進室					1	
地域医療相談室					4	
デイ・ケア					1	
看護教育科					1	
看護局					3	
合 計			308	8	190	13

#### せりがや病院機能と看護職員配置（平成26年3月1日現在）

副看護局長（業務担当）1名				
病棟名	病床数	保護室	看護職員定数	備 考
1 階	30	4	17+1（非常勤）	初期入院（男性）病棟
2 階	50	2	17+1（非常勤）	回復期 男性・女性病棟
外 来			3+3（非常勤）	

## 精神医療センター

### 病院機能と看護職員配置（平成26年12月1日現在）

副院長兼看護局長 1名		副看護局長（業務担当）1名 （教育担当）1名 看護局長補佐 1名					
新病棟名	旧病棟名	病棟機能		病床数	看護科長	看護職員定数	病棟技能員
2 A	B - 3	身体ケア	閉鎖病棟	35（準保護室 11）	1	21	2
				結核病床（2）			
2 B	せりがや2階	依存症	開放病棟	45（準保護室 5）	1	21	1
3 A	C - 2	地域移行支援	閉鎖病棟	40（準保護室 6）	1	17	1
3 B	A - 2	ストレスケア	開放病棟	30（準保護室 3）	1	17	1
4 A	A - 3	高度ケア	閉鎖病棟	40（保護室 6・準保護室 6）	1	25	1
4 B		思春期	閉鎖病棟	30（準保護室 5）	1	17	1
5 A	B - 1	救急	閉鎖病棟	30（保護室 6・準保護室 6）	1	32	1
5 B	B - 2	救急	閉鎖病棟	40（保護室 4・準保護室 5）	1	25	1
F	F	医療観察法病棟	閉鎖病棟	33	1	43	1
小 計				323（稼動病床数）	9	218	10
外 来					1	10	
医療安全推進室						1	
地域医療相談室						4	
デイ・ケア						1	
看護教育科						2	
看護局						4	
合 計				323	10	240	10

#### (イ) 看護局活動

##### <看護局ミッション>

患者さんに寄り添い、自己決定・自立を支援し、患者さんと共に可能性にチャレンジします。

##### <看護局ビジョン>

1. 患者さんやご家族の尊厳および人権を尊重し、患者さんの意思決定を支援します。
2. 精神科看護の専門性を追求し、患者さんやご家族に信頼される質の高い看護を提供します。
3. 患者さんの社会生活を支えるため、チーム医療の推進者としての役割を發揮します。
4. 看護の本質を追究し、誇りとやりがいを持てる人材を育成します。

##### <看護局目標>

1. 安全な移転を行い、患者さんによりよい環境を提供します。
2. 病院全体で共有しやすい電子カルテの導入を行います。
3. 新病院での各セクションの機能を確立し、質の高い看護を提供します。

〈平成26年度 看護局目標〉

看護局ミッション：患者さんに寄り添い、自己決定・自立を支援し、患者さんと共に可能性にチャレンジします。

- 看護局ビジョン：1. 患者さんやご家族の尊厳および人権を尊重し、患者さんの意思決定を支援します。  
 2. 精神科看護の専門性を追求し、患者さんやご家族に信頼される質の高い看護を提供します。  
 3. 患者さんの社会生活を支えるため、チーム医療の推進者としての役割を發揮します。  
 4. 看護の本質を追及し、誇りとやりがいを持てる人材を育成します。

看護局目標	中位目標	下位目標	評価指標
I 安全な移転を行い、患者さんによりよい環境を提供します	1. 新棟への安全な移転が実施できる。 2. 計画的に移転の準備ができる	1) 安全な移転に向け一人ひとりが役割を通し参画することができる。 2) 患者さんが安心できる入院環境を提供することができる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>患者移転に伴うインシデント・アクシデントが発生しない。</li> <li>計画的に患者に説明し、物品の整理整頓ができる。</li> <li>移転計画をスタッフ全員が把握・理解できる。</li> <li>スタッフが病棟設備を把握し、操作することができる。</li> </ul>
	外来	2病棟で再三の打ち合わせを行い、患者さんへの影響を最小限となるよう調整を行い物品の配置等の準備を行っていった。	
	2A (B3)	移転について多職種で協議検討し、転倒転落・離院・患者の急変なく行うことができた。	
	2B (せりがや2階)	移転後の導線確認はぎりぎりになってしまい、作業イメージを持つことが難しかった。	
	3A (C2)	患者私物と病棟物品の整理を行い、移転後速やかに整理することができた。	
	3B (A2)	移転は混乱なく円滑に行われた。スタッフ各自が割り振られた役割を実行できた。	
	4A (A3)	患者ミーティングを通じて説明を行い、荷物の整理協力頂き事故無く移転することができた。	
	4B (新)	開棟までに業務マニュアル・手順・ルールブック等を作成を行うことができた。	
	5A (B1)	移転についての話し合いを行い、移転時の手順・役割を各自が理解し実施することができた。	
5B (B2)	スタッフ全員が役割を理解し責任持って行動したことで、事故無く移転することができた。		
F	移転時は各病棟にリリーフ人員を配置し、患者誘導等で協力することができた。		
*病院全体の移転説明会・移転リハーサルを2回実施し、平成26年11月28日スケジュール通りに事故なく安全に配慮した移転を実施することができた。			
II 病院全体で共有しやすい電子カルテの導入を行います。	1. 電子カルテを導入し、円滑に運用することができる。	1) 電子カルテ操作訓練に全員が参加できる。 2) 電子カルテ操作を実施することができる。 3) 統合失調症クリニカルパスを活用できる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>電子カルテ導入時までには、スタッフ全員が電子カルテを操作できる。</li> <li>電子カルテ説明会に100%参加することができる。</li> <li>電子カルテに統合失調症クリニカルパスを組み入れ運用することができる。</li> </ul>
	外来	説明会には代理・現任担当者がすべてに参加し、スタッフに操作方法の内容を伝達指導を行った。	
	2A (B3)	5回実施した電子カルテ説明会に全てではないが、参加することができた。	
	2B (せりがや2階)	説明会は限られたスタッフのみ参加であったが、担当者が参加できなかったスタッフの指導を行い操作できるよう取り組むことができた。	
	3A (C2)	電子カルテの操作は、看護記録担当者が中心となってマニュアルを作成し、スタッフ全員で協力し入力できるようにした。	
	3B (A2)	説明会には100%の職員が参加することができた。操作マニュアルを作成しスムーズな導入に向け、準備することができた。	
	4A (A3)	説明会にはほぼ100%の職員が参加でき、電子カルテ委員が中心となり個々の職員へのフォローを行った。	
	4B (新)	記録委員が推進者となり、操作に関して全員が操作できるようになった。	
	5A (B1)	電子カルテ担当者を中心に説明会に参加し、操作できるよう勉強会を企画し指導を行っていった。	
5B (B2)	病院全体の説明会への参加は数名であったが、担当者が電子カルテ操作をマスターし勉強会を計画、スタッフ指導をした。		
F	導入される電子カルテを利用するスタッフが限られており、F病棟電カル導入までに説明会等が必要である。		

II 病院全体で共有しやすい電子カルテの導入を行います。		評 価																																														
<p>*救急病棟（5A病棟・5B病棟）において統合失調症クリニカルパスを使用し、クリニカルパス委員会で統合失調症クリニカルパス活用状況報告を行った。5月1日～9月30日の期間では、入院患者数161名の内、統合失調症患者102名、統合失調症クリニカルパス運用者84名（82%）であった。10月1日～3月31日の期間では、入院患者数261名の内、統合失調症患者130名、統合失調症クリニカルパス運用者21名（16.2%）であった。10月より夜間休日の入院患者の統合失調症クリニカルパス開始を主治医決定後運用となったため、主治医の指示なし・パス開始の確認忘れ等で低い運用率となった。</p> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>電子カルテ導入に向け、電子カルテを操作できることを目的に実施してきたが、多職種間で操作の統一がないため統一した電子カルテマニュアルの作成が急務である。電子カルテ導入後に発生した問題を検討していく場が必要である。</li> </ul>																																																
III 新病院での各セクションの機能を確立し、質の高い看護を提供します。		中位目標	評価指標	評 価																																												
<p>1. 個々の能力・経験を活かした人材育成に努める。</p> <p>2. 新採用看護職員の職場適応できる。</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>院内研修及び院外研修の積極的参加数</li> <li>キャリア申請しているスタッフへの支援</li> <li>新卒新人離職率0%</li> </ul>	<p>*院内研修参加者</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>ステップⅠ</th> <th>ステップⅡ</th> <th>ステップⅢ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>参加人数</td> <td>22名</td> <td>20名</td> <td>18名</td> </tr> </tbody> </table> <p>*キャリア申請はステップⅠに5名が申請・ステップⅡには16名が申請し全員合格することができた。</p> <p>*新卒新人看護職員5名採用し、離職率0%である。看護教育科の年3回の10分トークで新卒新人の現状、思いを聞くことができ個別的な支援につながった。</p>					ステップⅠ	ステップⅡ	ステップⅢ	参加人数	22名	20名	18名																																		
	ステップⅠ	ステップⅡ	ステップⅢ																																													
参加人数	22名	20名	18名																																													
<p>*新棟移転・電子カルテ導入と大きなイベントがあり、院内研修を全て実施することが難しいと判断し、スタッフの同意のもと実施する研修はステップⅠ・ステップⅡ・ステップⅢ（人間関係研修）とし、ステップⅣの研修を中止した。ステップⅢ（一部）・ステップⅣの研修を中止したことで、今年度、ステップⅣ申請を検討していた者に対してキャリア形成に遅延させる結果となった。</p>																																																
中位目標		評価指標	評 価																																													
<p>1. 多職種チームの連携を強化する。</p> <p>2. 救急病棟在宅移行率60%を維持する。</p> <p>3. MDT（多職種チーム）の連携強化を図る。</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>統合失調症クリニカルパスを使用することができる。</li> <li>救急2病棟で在宅移行率60%を達成する。</li> <li>MDT（多職種チーム）会議で看護の専門性の発言ができる。</li> </ul>	<p>*救急病棟（5A病棟・5B病棟）に置いて統合失調症クリニカルパスでの運用を行い、3ヶ月に1回クリニカルパス担当者が集計を行い、評価検討を行った。</p> <p>*救急2病棟で病床利用率80～90%・在宅移行率60%を達成することができた。救急病棟の状況把握するためにも、救急病棟間での更なる連携強化が必要である。</p> <p>*MDT会議は1人の対象者につき最低1回実施し年間12回実施。入院患者数30名で年間360回の実施している。多職種間での意見の違いがあり、今後は多職種間で承認し協働できるMDTにできるよう努力していく。</p>																																													
<p>*精神科救急病棟・精神科急性期病棟の在宅移行率を維持していくために、週1回のベッドコントロール会議から毎日セクションの看護科長・医師が参加するベッドコントロール会議に変更し、精神科救急病棟・精神科急性期病棟の在宅移行率確保に貢献することができた。</p>																																																
中位目標		評価指標	評 価																																													
<p>1. 安全・安心な療養環境を提供します。</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>*医療安全報告書の共有と検討</li> <li>*医療安全報告書の提出</li> <li>*レベル0の報告件数</li> <li>*褥瘡発生件数</li> </ul>	<p>*平成26年度精神医療センターヒヤリ・ハット報告件数は合計で766件であった。内訳はレベル0、153件、レベル1、482件、レベル2、121件、レベル3a、10件、レベル3b、0件であった。レベル3a10件のうち、転倒・転落は3件であった。内服薬関連の件数は257件と多かったが、レベル3a以上はなかった。内容は、与薬忘れが多く、与薬時の確認不足が原因と思われるものが多く見られた。</p>																																													
<p>2. 褥瘡を未然に予防できる。</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>*褥瘡発生件数</li> <li>*入院時褥瘡予防看護計画が確実に立案できる。</li> </ul>	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>4月</th> <th>5月</th> <th>6月</th> <th>7月</th> <th>8月</th> <th>9月</th> <th>10月</th> <th>11月</th> <th>12月</th> <th>1月</th> <th>2月</th> <th>3月</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>入院数</td> <td>35</td> <td>38</td> <td>48</td> <td>38</td> <td>35</td> <td>40</td> <td>57</td> <td>33</td> <td>107</td> <td>82</td> <td>91</td> <td>103</td> <td>707名</td> </tr> <tr> <td>発生数</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>4名</td> </tr> </tbody> </table> <p>*新規褥瘡発生率は0.57%であるので褥瘡新規発生を予防できている。他院から転入院して来た際に、褥瘡を持ち入院して来た患者も新規発生患者とカウントしている。入院数に関して、新棟移転の際せりがや病院からの患者を新規患者として登録している。</p> <p>*入院時褥瘡予防看護計画は、病棟間で格差が見られた。褥瘡発生率が0.57%と低いため、スタッフの関心・意識が希薄であるため、褥瘡予防看護計画の立案に差があったものと思われる。</p>					4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	入院数	35	38	48	38	35	40	57	33	107	82	91	103	707名	発生数	1	1	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	4名
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計																																			
入院数	35	38	48	38	35	40	57	33	107	82	91	103	707名																																			
発生数	1	1	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	4名																																			
<p>看護科長会（業務検討） ○電子カルテ導入 ○働きやすい職場づくり</p>																																																

(ウ) 看護教育

a 平成26年度 院内教育研修実施状況

研修名		目的	研修日	時間	方法	対象者	人数	担当
採用時	採用時研修	1. 精神医療センターの概要を理解し、組織・環境・業務への適応を図る 2. 専門職業人としての自覚を促す	4/1(火) ~4/4(木) 4/7(月)	5日間 (8:30-17:15)	・講義 ・演習 ・病院見学	平成26年度新採用者、転入者、前年度採用者、交流研修者他	21名	教育担当副看護局長 研修担当看護科長 看護教育科 現任教育担当看護師6名
支援 プログラム	基礎技術研修① (精神科看護技術)	精神科における専門的な看護技術の実際を学ぶ	4/22(火)	3時間45分 (13:30-17:15)	・講義 ・デモンストレーション ・演習	平成26年度新採用者その他看護科長が認めた者	21名	教育担当副看護局長 研修担当看護科長 看護教育科 現任教育担当看護師3名
	基礎技術研修② (救急蘇生法)	看護者として必要な急変時の基礎的対応を学ぶ	6/20(木)	3時間45分 (13:30-17:15)	・講義 ・シミュレーション ・演習	平成26年度新採用者その他看護科長が認めた者	21名	教育担当副看護局長 研修担当看護科長 看護教育科 現任教育担当看護師4名 主任看護師1名
	フォローアップ研修 (新卒新採用)	入職してからの3ヶ月を振り返り、今後の看護実践の活力につなげる	6/2(月)	3時間15分 (14:00-17:15)	・自然散策 ・GW	平成26年度新卒新採用者	5名	教育担当副看護局長 看護教育科
	フォローアップ研修 (既卒・転入)	入職してからの様々な思いや看護を仲間と共有し、精神医療センターの看護師としてこれまでの経験を活かしながら取り組んでいく心構えができる	6/16(月)	3時間45分 (13:30-17:15)	・自然散策 ・GW	平成26年度既卒新採用者及び平成25年度中途採用者	14名	教育担当副看護局長 研修担当看護科長 看護教育科 現任教育担当看護師1名
ステップ プログラム	看護倫理Ⅰ (看護専門職としての倫理)	専門職としての倫理を再確認し、センターの看護師としての行動につなげる	7/14(月)	1時間45分 (15:30-17:15)	・講義 「看護専門職としての倫理」	ステップⅠを申請するもの	15名	教育担当副看護局長 看護科長・現任看護教育科
			7/22(火)	3時間15分 (14:00-17:15)	・GW (WIL/ CAN/MUST)			
	看護過程Ⅰ (看護理論の理解)	V. ヘンダーソンの看護論を学習し、看護実践のための観察・判断能力を養う	7/29(火) 院内公開	3時間15分 (14:00-17:15)	・講義(公開)「ヘンダーソン看護論の基本的知識」 ・オリエンテーション	ステップⅠを申請する者	22名	教育担当副看護局長 研修担当看護科長 看護教育科 現任教育担当看護師1名
			9/19(金)	3時間45分 (13:30-17:15)				教育担当副看護局長 研修担当看護科長 看護教育科 現任教育担当看護師1名
チームメンバー研修	チームナーシングについて理解を深め、メンバーシップを発揮するための能力を養う	1/30(金)	3時間45分 (13:30-17:15)	・リーダーと共に行動する。 ・講義「チームナーシングとは」 ・GW (カード法)	ステップⅠを申請する者	7名	教育担当副看護局長 研修担当看護科長 看護教育科 現任教育担当看護師1名	
ステップ プログラム	看護倫理Ⅱ (精神科看護と倫理)	精神科看護における倫理的課題について理解する	6/3(火)	3時間45分 (13:30-17:15)	・講義(公開) ・GW	ステップⅠ以上の者または看護科長が認める者	院内20名 院外36名	教育担当副看護局長 研修担当看護科長 看護教育科 現任教育担当看護師1名
	リーダーシップⅠ (チーム医療におけるリーダーシップ)	チーム医療の中で、リーダーシップを発揮できる能力を養う	7/18(木)	3時間45分 (13:30-17:15)	・講義「チームリーダーとは」 ・GW (カード法) ・研修後セッション報告会	ステップⅠ以上の者または看護科長が認める者	20名	教育担当副看護局長 研修担当看護科長 看護教育科 現任教育担当看護師1名
	看護過程Ⅱ (事例検討)	自己の看護を振り返り、個性を踏まえた看護実践について考える	9/1(月) 10/6(月)	3時間45分 (13:30-17:15) 3時間45分 (13:30-17:15)	・GW (事例について考える)	ステップⅠ以上の者または看護科長が認める者	19名	教育担当副看護局長 研修担当看護科長 看護教育科 現任教育担当看護師1名
ステップⅢ	人間関係研修 院内公開講座	看護師としてのアサーティブなコミュニケーションを行うための知識・技術を学ぶ	9/29(月) 外部講師	8時間 (9:00-17:15)	・講義(公開) ・演習	ステップⅡ以上の者または看護科長が認める者	18名	教育担当副看護局長 研修担当看護科長 看護教育科 現任教育担当看護師1名
ステップⅤ	教育活動 研究活動	ポイント制 24年度以降の研修ポイントから適応する。 *累積50ポイントで申請ができる。教育活動・研究活動の双方は必ずポイントをとる。ただし、10ポイントは看護研究を院外発表することにより取得する。				ステップⅣ以上の者または看護科長が認める者	0名	

研修名		目的	研修日	時間	方法	対象者	人数	担当	
役割	新主任研修	主任としての認識を深め、自己の役割に積極的に取り組める	4/17(木)	3時間15分 (14:00-17:15)	・講義 ・GW(カード法) ・課題への取り組み	平成26年度 新主任看護師	5名	教育担当副看護局長 研修担当看護科長 看護教育科 現任教育担当看護師1名	
	プリセプターⅠ	プリセプターシップについて理解しプリセプターとしての役割行動につなげることができる	1/29(木)	3時間45分 (13:30-17:15)	・講義 ・ロールプレイ	平成27年度 プリセプター担当者	9名	教育担当副看護局長 研修担当看護科長 看護教育科 現任教育担当看護師1名	
	プリセプターⅡ	指導の中で生じた疑問や不安を軽減し、プリセプターとしての関わりの方角性を明確にできる	6/19(木)	3時間45分 (13:30-17:15)	・GW (レポートをもとに討議)	平成26年度 プリセプター担当者	11名	教育担当副看護局長 研修担当看護科長 看護教育科 科長代理会議 現任教育担当看護師1名	
	実習指導者研修	実習指導者としての役割と関わりについて学習し、今後の指導の手がかりを得る	5/29(木)	1時間15分 (15:00-16:15)	・講義「看護学生の学びを支援する実習指導」	平成25年度 実習指導者 会議メンバー、または 看護科長が認めた者	15名	教育担当副看護局長 研修担当看護科長 看護教育科 現任教育担当看護師2名	
静脈注射研修	静脈注射の実際	医師の指示に基づいた静脈注射を安全に実施するために必要な知識・技術を習得する	7月~8月の間	プログラムによる	・講義 ・演習 ・試験 (筆記、技術)	看護師が行う静脈注射プログラム規定による	24名	静脈注射検討部会	
専門研修	精神看護専門研修	精神看護の専門領域における実践能力を高め、質の高い看護を提供するために必要な能力の向上を図る	期間：2年間	カリキュラムによる	平成25年度：講義 平成26年度：事例研究、発表会	精神科看護経験4年間ある者、キャリア開発過程ステップⅢ以上の者	5名	教育担当副看護局長 看護教育科	
講演等	看護研究基礎研修	看護研究の基礎を理解し研究課題を明確にし、研究計画書を作成することができる	5/7(水)	1時間15分 (16:00-17:15)	・講義「看護研究のための基礎」	平成26年度 看護研究に取り組む者	40名	教育担当副看護局長 研修担当看護科長 看護教育科	
			5/16(金)				40名		
			5/26(月)	2時間15分 (15:00-17:15)	・AG1回目 ・BG1回目 ・AG2回目 ・BG2回目	看護研究に取り組んでいる者(個別指導)			
			5/28(水)						
			6/17(火)						
	6/24(火)								
	認定看護師	行動制限最小化看護 ～行動制限の根拠を知って看護につなげよう～	7/10(木)	1時間30分 (17:30-19:00)	・公開講義 (精神科認定看護師による)	全看護職員 院外看護職員	26名	教育担当副看護局長 研修担当看護科長 看護教育科 現任教育担当看護師2名	
			10/15(水)				36名		
		精神科における看護実践能力を高めるための知識を習得する	「精神看護における家族看護」	5/23(金)	各1時間 17:30-18:30)	・公開講義 (精神看護専門看護師による)	全看護職員 院外看護職員		30名
			「薬物療法の考え方」	6/27(金)					20名
「退院支援の考え方」			7/30(水)	12名					
薬物・アルコール依存症看護	9/17(水)	21名							
看護研究発表会	看護研究活動を通して得た成果を発表し相互の学びとする	2/28(土)	3時間30分 9:00-12:30)	・発表会		約60名			
伝達講習会	院外研修の報告を受け、自己研鑽への動機づけとする	3/14(土)	3時間30分 9:00-12:30)	・発表会	全看護職員	約60名			
専門研修研究発表会	精神専門研究活動を通して得た成果を発表し相互の学びとする								

\*受講希望者が4名以下の場合、内容、時間、方法を変更する可能性があります。

b 平成26年度学会・院外研修参加状況

	主 催	学会名・研修名	開催地	開催日	人数
学 会	日本精神科看護技術協会	第39回 日本精神科看護学会総会	広島	6/6~8	1
		第21回 日本精神科看護学会専門学会Ⅰ	鹿児島	9/6・7	6
		第21回 日本精神科看護学会専門学会Ⅱ	北海道	11/29・30	1
	日本看護協会	第45回 日本看護学会精神看護学術集会	長野	10/16・17	3
	日本看護管理学会	第18回 日本看護管理学会年次大会	愛媛	8/29・30	1
	日本精神保健看護学会	第24回 精神保健看護学会学術集会	県内	6/21・22	1
	精神科救急学会	第22回 精神科救急学会	北海道	9/5・6	2
	日本うつ病学会	第11回 日本うつ病学会総会	広島	7/18・19	2
	日本環境感染学会	第30回 日本環境感染学会総会	兵庫	2/20・21	2
				小 計	19
研	国立精神・神経医療センター 精神保健研究所	第8回 精神科医療評価均てん化研修	東京	6/12・13	1
		第12回 ACT・多職種アウトリーチ研修	東京	9/2~5	1
		第16回 薬物依存臨床看護等研修	東京	9/9~12	4
		第9回 精神科医療従事者自殺予防研修	東京	9/16~16	1
		第10回 精神科医療従事者自殺予防研修	東京	12/2・3	1
		第9回 犯罪被害者メンタルケア研修	東京	1/19~21	1
	厚生労働省・国立病院機構 久里浜医療センター	アルコール依存症臨床医等研修 第1回	県内	6/2~6	1
		アルコール依存症臨床医等研修 第2回	県内	10/27~31	2
	全国自治体病院協議会	接遇トレーナー養成研修会	東京	8/20~22	2
		第52回 精神科特別部会	大阪	8/27~29	1
	医療観察法関連職種	第10回 医療観察法関連職種研修会	千葉	7/4・5	9
	精神・神経科振興財団	指定入院医療機関従事者机上研修会	東京	9/18・19	4
		医療観察法医療従事者上級研修会	東京	1/17・18	1
	神奈川県看護協会	A群 はじめて学ぶKYT	県内	6/3	1
A群 看護記録の本質		県内	6/12	2	
A群 明日からできる退院支援と退院調整		県内	7/17	1	
B群 医療安全管理者養成研修		県内	9/1~10/7 計7日	1	
病院と在宅をつなぐ研修会		県内	1/7・16・2/6	1	
認定看護管理者教育課程Ⅱ		県内	10/2~3/6	1	
日本精神科看護協会	アディクションの理解とケア	東京	10/7	2	
	気分障害の理解とケア	東京	12/15	1	
日本精神科看護協会 神奈川県支部	精神科看護初任者研修会	県内	6/9・10	14	
	地域連携システムの現状と理解研修会	県内	5/12	2	
	精神科身体合併症看護研修会	県内	7/4	1	
	アンガーマネジメント	県内	8/22	1	
	看護研究発表会	県内	10/8	1	
	境界性パーソナリティ患者の理解と看護	県内	11/12	1	

	主 催	学会名・研修名	開催地	開催日	人数
研	SST普及協会南関東支部	SST初級研修	県内	5/17・18	1
		SST初級研修	県内	9/6・7	1
	東京都立 小児総合医療センター	包括的暴力防止プログラム トレーナー養成コース研修会	東京	1/24・25 2/14・15	2
	横浜市病院協会看護専門学校	帰納的アプローチを通じた臨地実習指導の方法	県内	8/26	2
	よこはま看護専門学校	学生のやる気と主体性を引き出す実習指導	県内	8/1	1
修	神奈川県立病院機構	新採用職員研修	県内	4/10	16
		看護職員研修専門Ⅰ	県内	7/26・9/2	2
		看護職員研修専門Ⅱ	県内	6/5・9/9	3
		看護職員研修管理Ⅰ	県内	8/21	3
		看護職員研修管理Ⅱ	県内	6/9・7/24	2
		看護職員研修管理Ⅲ	県内	7/3・1/30	5
修	保健福祉大学 実践教育センター	教員・教育担当者養成課程看護コース	県内	4/7～3/6	1
		認定看護管理者教育課程Ⅰ	県内	4月～9月	1
		認定看護管理者教育課程Ⅱ	県内	10/9～3/6	1
		認定看護管理者教育課程Ⅲ	県内	6/6～10/24	1
				小 計	101

### c 平成26年度 講師派遣等実績

#### 見学・実習

項 目	対 象 者	人 数	実 施 月
病院研修	看護師	1人	平成26年8月1日～5日
認定看護管理者教育課程サードレベル	看護師	1人	平成26年9月
保健福祉大学【保健医療福祉論Ⅰ】 現場訪問	大学生	20名	平成26年8月
病院見学	看護学生・看護師	22名	平成26年5月～平成26年12月 19回
インターンシップ（3月・7月・8月）	看護学生・看護師	22名	平成25年3月 平成26年7月・8月

#### 講師派遣等実績

学 校 等	科 目 名	氏 名
神奈川県立衛生看護専門学校 第一看護学科	精神看護方法論Ⅰ 治療・検査・症状のある人の看護 8時間	齊藤 充史
	精神看護学総論 社会の変化とメンタルヘルスを考える 2時間	小川 清子
神奈川県立衛生看護専門学校 第二看護学科	精神看護方法論Ⅰ 12時間	福田 伸一
	精神看護方法論Ⅰ 6時間	中居 勝

学 校 等	科 目 名	氏 名
神奈川県立よこはま看護専門学校	精神看護学Ⅱ ロールプレイ	大場 なつき 斉藤 充史
	精神看護学Ⅲ 4時間	大場 なつき
	基礎看護学Ⅴ 3時間	則座 久美 関根 久美子
	ケーススタディ発表会	安藤 香織 高妻 美樹
	卒業期看護技術演習	杉本 由美子
横浜市医師会看護専門学校	精神看護学Ⅱ（精神障害と看護） 15時間	原 隆子
横浜中央病院付属看護専門学校	精神看護方法論Ⅱ	中島 しのぶ 安藤 馨 小林 真津子
神奈川県立平塚看護専門学校	看護の統合Ⅰ	尾花 由美子
保健福祉大学実践教育センター	認定看護管理者教育課程ファーストレベル 看護管理概論	
	教員・教育担当者養成課程 看護管理概論	
	がん性疼痛を有する患者へのセルフケア支援演習	山口 いずみ
神奈川県立保健福祉大学	実習指導者連絡会	石田 正人
	精神看護学Ⅱ	
北里大学看護キャリア開発・研究センター	学生との教育的かかわり 8時間	
北里大学大学院看護学研究科	精神看護学Ⅲ 7時間	
かながわ福祉サービス振興会	高齢者の精神問題の理解と対応	
	精神障害者ホームヘルパー研修 9時間	
中井やまゆり園	関わり方の基本	石田 正人
神奈川県看護協会	看護管理Ⅱ看護師長に求められる看護管理① 6時間	尾花 由美子
	看護管理Ⅱ看護師長に求められる看護管理② 6時間	
	多施設合同研修	白石 美由紀
日本精神科看護技術協会	第21回 日本精神科看護学術集会専門Ⅰ	中谷 将
日本精神科看護技術協会神奈川県支部	精神科初任者研修	石田 正人
	トピックス研修	尾花 由美子
	薬物乱用防止教室	菊池 千佳子 黒田 明仁
日本精神科看護技術協会群馬県支部	アディクション看護 アディクションの理解と援助者の心構え	安藤 馨
精神保健看護学会	第24回 精神保健看護学会	石田 正人
アルコール・薬物依存関連学会	アルコール・薬物依存関連学会合同学術総会分科会	山口 二三子
日本アディクション看護学会研修会	アルコール依存症講義・事例検討会	鈴木 由起枝 黒川 由美子
	うつ病とアディクション講義・事例検討会	安藤 馨 則座 久美

学 校 等	科 目 名	氏 名
全国保健管理協会関東甲信越地方部会	全国保健管理協会関東甲信越地方部会研究集会	八巻 倫世
行動制限最小化研究会	行動制限最小化の現状と課題	中谷 将
神奈川県立病院本部	専門コースⅠ	長 文枝
	専門コースⅡ	石田 正人
	管理コースⅠ	尾花 由美子 嘉山 一壽
神奈川県立病院本部	管理コースⅡ	井口 真理子
	管理コースⅢ	山口 時雄
精神科領域で感染制御を考える会	第2回 精神科感染制御セミナー	二瓶 比呂志
横浜氏上矢部地域ケアプラザ	こころを病む人の理解と対応	石田 正人
3病院合同 ・新横浜こころのホスピタル ・山本記念病院 ・常盤台病院	主任の役割について	尾花 由美子
医療法人誠心会 神奈川病院	疥癬と疥癬発生時の対応	二瓶 比呂志
静岡県立こころの医療センター	院内感染防止対策研修会	
特定医療法人 横浜ほうゆう病院	ノロウイルスとインフルエンザの感染予防対策と実際	則座 久美
大塚製薬	クリニカルパスの現状と課題	石田 正人
	第2回 クリニカルパス勉強会	
日本イーラーリリー	急性期における薬物療法について	
ヤンセンファーマー	社員勉強会	

#### d 執 筆

掲 載 先	内 容	氏 名
精神科看護 3月号	スタッフとの関係性を構築するために	山口 いずみ 伊藤 雅子 白石 美由紀 石田 正人
第45回 日本看護学会精神看護	病棟スタッフのメッセージボードに対する認識 看護学生が安心できる環境を目指して	石田 正人

#### e 学会発表等

- 1 内田靖子, 安藤馨, 井口真理子, 高木香穂里: 高齢女性の入院への期待—うつ病回復要因に焦点をあてた聞き取り調査を行って—, 第11回うつ病学会Ⅱ, 7月
- 2 横溝奨, 石田正人, 白石美由紀: 看護学生が捉えるウェルカムボードの認識—よりよい実習環境を目指して—第21回日本精神科看護学術集会 専門Ⅰ, 9月
- 3 東和明: 自己の想いを表現することが少ない医療観察法患者への自己決定のアプローチ—患者—看護師関係をとおしてさせていくプロセス—第21回日本精神科看護学術集会 専門学会Ⅰ, 9月
- 4 石山恵子, 齊藤充史: 隔離中の患者に安心を与える看護師の関わり—保護室入室経験のある患者から聞く思い—, 第21回日本精神科看護学術集会 専門Ⅰ, 9月
- 5 石田正人, 井口真理子: 病棟スタッフのメッセージボードに対する認識—看護学生が安心できる環境を目指して—, 日本精神科看護技術教会神奈川県支部, 10月
- 6 石田正人, 井口真理子, 白石美由紀: 病棟スタッフが抱えるメッセージボードに対する認識—看護学生が実習し

やすい環境を目指して一、第45回日本看護協会学術集会 精神看護、10月

7 矢崎愉香、八巻倫世：「薬物乱用防止教室」の講義に対する評価―「薬物乱用防止教室」に参加された中学校3校におけるアンケート調査を実施して一、第45回日本看護協会学術集会 精神看護、10月

#### f 企画セミナー

- 1 病院と地域が連携する通院処遇終了者への支援～訪問看護に焦点をあてて～  
石田正人、白石美由紀、鈴木さく江、馬淵寿史、大室拓道、石井利樹

#### g. 交流研修実施状況

研修施設	日程	実施地	人数
神奈川県立こども医療センター	6/1～ 8/31	県内	1
	9/1～10/31	県内	1
財団法人聖マリアンナ会東横恵愛病院	8/1～ 8/31	県内	1
	9/1～10/31	県内	1
公立学校共済組合関東中央病院	7/1～ 8/29	東京	1

#### h. 見学・実習

項目名	対象者	人数	実施月
病院見学	看護師	1名	平成26年8月～5日
保健福祉大学【保健医療福祉論Ⅰ】 現場訪問	大学生	20名	平成26年9月
病院見学	看護学生・看護師	22名	平成26年4月～平成26年12月19回
インターンシップ（3月・7月・8月）	看護学生・看護師	22名	平成25年3月 平成26年7月・8月
認定看護管理者教育課程サードレベル	看護師	1名	平成26年9月

#### i 実習生の受け入れ

学校名	実施月	人数
横浜市病院協会看護専門学校	平成26年9月	18人
横浜市医師会看護専門学校	平成26年5月～10月	28人
横浜中央病院附属看護専門学校	平成26年6月～9月	22人
県立衛生看護専門学校第一看護学科	平成26年5月～10月	21人
県立衛生看護専門学校第二看護学科	平成26年6月	9人
県立よこはま看護専門学校	平成26年5月～10月	57人
県立保健福祉大学	平成26年7月～10月	14人
聖母看護学校	平成26年7月	30人
東京衛生学園	平成27年2月	9人
国際メディカルテクノロジー専門学校	平成26年5月	2人

## (2) 作業療法 (OT)

当院の作業療法は、日常生活の回復を図り社会適応や自律を促すために様々なプログラムを実施している。作業療法科では安心していただける居場所の提供を基本に、参加患者の状態により活動プログラムを考慮し、参加患者の今後の目標を意識して治療に当たっている。

その内容は主に、

- ・ADLおよびAPDL訓練を中心とした活動
- ・コミュニケーションおよび自己表現力を高める活動
- ・体力の維持・向上を目的とした活動
- ・共同作業を中心とした活動
- ・生産的作業を中心とした活動
- ・レクリエーション活動
- ・面接および相談

である。

今まで作業療法士は病棟に関係なく担当患者を持っていたが、平成26年4月より各病棟をメイン担当とサブ担当の2名で受け持つ「病棟担当制」に変更した。それにより特性に合わせた病棟OTの実施回数を増やし病棟に職員がいる時間を長く取れる分手厚く患者対応ができたことで、病棟OTに参加する人は昨年より延848件（2B、4B病棟は除く）増加している。併せて、一定のプログラムに参加できればより難度の高いプログラムに参加できる「ステップアップ制」から患者が希望するプログラムを選べる「自由選択制」に変更した。患者自身の希望をすぐに取り入れたプログラム選択ができる一方、グループワークが必要と思われる患者が、グループワークを希望しないために集団活動での評価や訓練ができなくなったという課題がある。

また、25年度に3度試行した特別プログラムが好評を得たため毎月実施とした。楽しみや気分転換だけでなくOT参加のきっかけにもなればと、参加者にはプログラム終了時にアンケートをとり希望や意見を汲んでいる。カラオケや音楽鑑賞といった受け身なプログラムは参加人数が多い傾向にあり参加者の満足度は概ね高く、10人以上の参加が主である。なかには、普段は病棟OTにしか参加しないが「特別プログラムであれば参加したい。」と、病棟から出てくる患者も増えてきた。

統合に伴い、新しく依存症病棟として2B病棟、思春期病棟として4B病棟ができた。4B病棟は児童・思春期入院医療管理料を算定しているため精神科作業療法の算定はできないが、ニーズがあり開棟に合わせて週2回病棟OTを実施することとなった。4か月で17名の処方が出て、40件延人員120人となっている。

F病棟（医療観察法病棟）においては、開棟以来「創作」「園芸」「スポーツ」を入院対象者の日中活動や身体活動の場として毎週実施している。このほか、本年度は他職種と共同で「女性性」「就労」「退院準備」といったテーマ・目的別のプログラムの実施、個別にIADLの指導、訓練を実施した。

外来OTⅡ（復職支援のプログラム）については、平成26年11月をもってデイケア移行終了し、以降当院における作業療法は入院患者のみを対象とすることとなった。

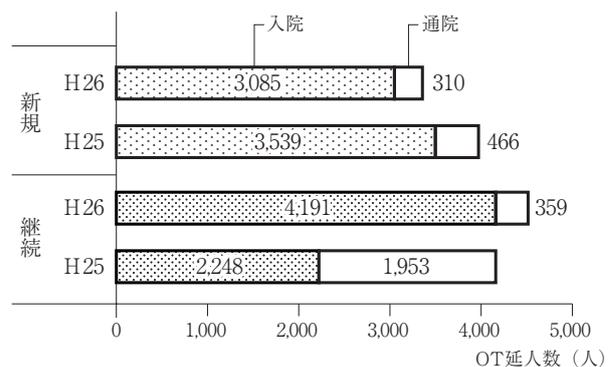
以下のデータは、『(エ)のc』以外F病棟・4B病棟の数を除いてある。

### (ア) 患者受け入れ状況

#### a OT実施人員

(単位：人)

区分 年度	実 人 員					
	新 規		継 続		計	
	男	女	男	女	男	女
26	377		137		514	
	212	165	73	64	285	229
25	260		161		421	
	104	156	103	58	207	214
対前年度比 (%)	145.0		85.1		122.1	
	203.8	105.8	70.9	110.3	137.7	107.0



b 患者別受け入れ状況

区分 年度	F0	F1	F2	F3	F4	F6	F7	F8	F9	G4	計
	症状性を含む器質性精神障害	精神作用物質使用による精神行動の障害	統合失調症	気分（感情）障害	神経症性障害	成人の人格および行動の障害	精神遅滞	心理的発達の障害	特定不能の精神障害	てんかん	
26	4	103	259	122	15	5	-	3	2	1	514
25	3	9	247	147	8	2	3	-	-	1	420
対前年度比（%）	133.3	1,144.0	104.9	83.0	187.5	250.0	-	-	-	100.0	122.4

d 年齢別受け入れ状況

区分 年度	20歳未満	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60歳以上	計	平均年齢
26	5	51	96	138	128	96	514	47.1
25	4	36	89	121	97	74	421	46.9
対前年度比（%）	125.0	141.7	107.9	114.0	132.0	129.7	122.1	

(イ) 転 帰

区分 年度	継続	終 了												中断	計
		就労・復職	就職活動	就業所	デイ・ケア	生活保健教室	家庭復帰	施設	単身	転院	通院	入院	その他		
26	165	18	2	9	26	2	176	45	9	49	3	-	6	4	514
25	137	12	5	5	32	1	143	14	2	39	4	1	3	23	421
対前年度比（%）	120.4	150.0	40.0	180.0	81.3	200.0	123.1	321.4	450.0	125.6	75.0	-	200.0	17.4	122.1

(ウ) 非請求件数

区分 年度	面 接		電話での相談及びアフターフォロー	訪 問	身体機能評価	算定なし※	計
	入院患者	外来患者					
26	33	11	6	1	3	56	110
25	31	30	1	1	2	36	101

※精神科作業療法は1日2時間を1単位として1回算定できるが参加がそれを越えた、または短時間参加の場合

(エ) プログラム内容及び実施状況

a グループワーク

プログラム活動	件数	延人員	プログラム活動	件数	延人員	
グループワークB	45	282	病棟OT	2A	94	807
グループワークA(参加者少なくH26.10より休止)	24	67		2B	31	469
931園芸	50	167		3A	98	1,385
スポーツ	46	166		3B	138	931
List	34	112		4A	69	620
のんびりスペース	44	228		5A	140	434
特別プログラム(DVD鑑賞、ゲーム、お菓子作り)	9	114		5B	67	199
パワーアップセミナー(疾病教育)	3	34		合計	893	6,033
特別講座	1	18	(参考) 前年度合計	892	5,389	

b 個人プログラム

種目名	件数	延人員	種目名	件数	延人員
ネット手芸	145	203	行事準備	15	25
刺繍	102	155	革細工	12	13
創作活動(作詩、作文など)	76	76	自己管理(金銭、時間など)	11	11
ビーズ細工	63	66	塗り絵	8	12
絵画	62	62	ペン習字	6	8
読書	48	52	面接	6	7
編み物	47	52	勉強	6	6
紙課題(間違え探し、点繋ぎ、脳トレなど)	41	44	パソコン	5	5
モップ	41	41	ADL練習	4	5
裁縫	38	48	紙粘土	3	3
木工	36	43	プラ板	3	3
小物作り	28	34	アクティビティ選択	2	2
紙細工	29	29	オセロ	2	2
パズル	26	26	日記	2	2
スティック手芸	23	23	新棟オリエンテーション	1	6
モザイク	20	20	コンサート観賞	1	1
刺し子	19	20	合計	949	1,123
組みひも	18	18	(参考) 前年度合計	439	502

c F・4B病棟における作業療法

病棟	件数	延人員
F病棟(OTが関わるプログラム)	354	1,752
4B病棟	40	120

d 通院作業療法

グループ名	件数	延人員
外来OTⅡ ※復職支援のプログラム(作業療法担当分)	81	733

(オ) 教育（見学・実習・講義）

a 見学・研修受入れ

年度	区分	医療関係者	学 生 (医師・看護師・PSW)	院 内		そ の 他	計
				職 員	患 者		
26	件 数	0	51	2	1	3	57
	人 員	0	91	2	1	8	102
25	件 数	0	41	11	4	6	62
	人 員	0	66	11	4	6	87
対前年度比 (%)	件 数	0.0	124.4	18.2	25.0	50.0	91.9
	人 員	0.0	137.9	18.2	25.0	133.3	117.2

(3) デイ・ケア療法

外来の精神科患者を対象に社会生活機能の回復を図るため、昭和57年6月から試行し、昭和61年4月に精神科デイ・ケア療法大規模適合施設の承認を受け、本格実施した。実施にあつては、医師、看護師、作業療法士、精神保健福祉士、臨床心理士の多職種チームを構成し、対象者の社会生活支援を行ってきた。

開催日は月曜日から金曜日の週5日で、平日にいつでも利用できるようになっている。治療内容は、集団精神療法や日常生活訓練、SSTや就労関連プログラムなど心理教育的プログラムを中心に、茶道・華道など外部講師によるプログラムも取り入れ、利用者の要望に応えられるように多種に及んでいる。平成18年度から診療報酬の改正に伴い、3時間程度のショート・ケアが新設された。当院デイ・ケアでも8月10日より導入し、新規入所者で急性期離脱後の活動性の低い方や高齢で体力のない方、面接を中心とした支援で就労を継続したい方などに活用していただいている。また平成15年に医療観察法が制定され、平成17年より施行された。これを受け当院デイ・ケアでも医療観察法の対象者を積極的に受け入れている。

平成26年12月の新棟開棟に伴う外来リハビリテーションの再構築のため、平成25年11月からプログラムを再編成し、平成26年1月から外来作業療法患者のデイ・ケア移行を進めてきた。

新棟開棟直後の12月より依存症デイ・ケアを開始し、SMRAPP、SARPPを各々週1日実施している。運営に当たっては、外来看護師と福祉医療相談科の精神保健福祉士が主体となって行っている。

平成27年1月からはリワークのデイ・ケアを開始し、週4日開催している。運営に当たっては、心理科・福祉医療相談科の協力を得ながら実施している。必要に応じて、職場との面接や就労定着支援を行っている。

訪問支援の実施としては、地域活動支援センター・生活訓練施設・就労移行支援事業所などの福祉施設やハローワーク・就労相談センターなどの就労支援機関へも同行し、スムーズな地域生活への導入や移行に取り組んでいる。院内の他部門との連携としては、訪問看護部門との協力体制で主に単身者の生活を支援している。

また退院促進の一環として、退院間近の入院患者も受け入れ、スムーズな地域生活への移行を図っており、平成22年度からは、医療観察法の入院処遇（社会復帰期）の対象者も受け入れている。

地域との連携では、地区の保健福祉センターや上記同様の福祉施設の他、他デイ・ケアとの交流（バレーボール大会や作品展）や港南区ネットワーク祭りなどに参加し、交流を深めている。そして、神奈川デイ・ケア連絡会の事務局補佐として、県内デイ・ケア施設との連携にも積極的に取り組んでいる。

その他、退所後の支援として、退所者やその家族との面接も行なっている。

## ア 精神科デイ・ケア

### (ア) 月別参加者数

月 別		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計 (右：月平均)	
在 籍 者 数		126	122	123	122	124	122	125	124	141	148	158	157	1592	132.7
(う ち 入 院)		12	6	9	12	10	11	8	9	9	13	9	8	116	9.7
(うち医療観察者法通院者)		8	8	9	9	8	8	8	9	9	9	9	9	103	8.6
延 数	参 加 者 延 数	773	771	802	787	739	685	710	573	673	648	666	795	8,622	718.5
	(う ち 入 院)	35	31	74	96	69	55	50	43	38	45	30	32	598	49.8
	(医療観察者法通院者)	40	39	49	28	37	41	43	38	42	41	51	49	498	41.5
数	シ ョ ー ト 延 数	395	397	480	441	433	393	416	337	357	384	388	447	4,868	405.7
	(う ち 入 院)	25	21	45	57	55	40	35	37	30	40	30	31	446	37.2
平 均	参加者一日平均	39	39	38	36	35	34	32	33	35	34	35	36	426	35.5
	(う ち ショ ー ト)	20	20	23	20	20	20	19	20	19	20	20	20	241	20.1
実 施 日 数		20	20	21	22	21	20	22	17	19	19	19	22	242	20.2

### (イ) 地域別参加者数

地域別 年 度	横 浜 市															横 須 賀 市	鎌 倉 市	川 崎 市	相 模 原 市	藤 沢 市	そ の 他	合 計			
	鶴 見 区	西 区	中 区	南 区	港 南 区	保 土 ヶ 谷 区	旭 区	磯 子 区	港 北 区	戸 塚 区	栄 区	泉 区	神 奈 川 区	金 沢 区	緑 区								都 筑 区	青 葉 区	小 計
平成26年度	3	3	5	35	43	8	2	18	5	24	4	3	7	0	7	2	1	170	2	0	0	0	2	2	176
平成25年度	2	4	7	25	32	5	4	18	1	17	5	3	6	6	0	1	1	137	2	1	0	2	2	3	147

### (ウ) 年齢・病名別参加者数

病 名	19歳以下			20～29歳			30～39歳			40～49歳			50歳以下			計		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
中毒性精神障害 (F1)							1		1	5		5	1		1	7		7
統合失調症 (F2)	1	1	2	17	8	25	23	10	33	33	22	55	21	9	30	95	50	145
気分(感情)障害 (F3)				2		2		1	1	4	1	5	2		2	8	2	10
人格及び行動障害 (F6)					1	1								1	1		2	2
精神遅滞 (F7)				1	1	2		1	1	2		2	1		1	4	2	6
そ の 他					1	1	2	2	4				1		1	3	3	6
計	1	1	2	20	11	31	26	14	40	44	23	67	26	10	36	117	59	176

(エ) プログラム統計

プログラム		小計	内容・目的
神集 療団 法精	全体ミーティング	20	DC運営に関わる議題についてメンバー・スタッフで話し合う。
	グループミーティング(忘年会委員会)	5	行事ごとに委員会を作り、企画・立案・運営をメンバー・スタッフで実施していく。
	小計	25	
訓職 業業 練前	作業	90	外部からの請負作業(やまゆり発送など)を通して、就労・作業所への準備性を高めていく。
	係の仕事	15	分担された係を体験していく中で就労・作業所などへの心構えや責任感を養っていく。
	社会復帰プラン	27	就労もしくは作業所などを旨とするために準備性を高める。
	就労勉強会・就労講座	1	就労のイメージ作り、就労への準備性を高める、現実的な目標を見出す。
小計	133		
創作 活 動	創作	42	創造性を養い、情緒の表出を図るため、絵画、手工芸、文芸、共同制作等を行う。
	垂れ幕作り	6	県下バレーボール大会の応援垂れ幕を応援グループで製作する。
	ものづくりサークル	12	様々な手芸品に挑戦する中で創る楽しさを体験していく。達成感を得る。
	お菓子づくり	1	お菓子作りを楽しむ。簡単な調理を経験する。
	思い出アルバム	3	外出や行事の写真の編集。役割分担をしながら実施しアレンジする。
小計	64		
指日 導常 生活	料理・料理の買い物	36	能力・目的別にグループ分けをし、調理に取り組む。
	防災訓練(防災センター見学含む)	1	院内の訓練に参加することで非常時に備える。
	生活クラブ	25	日常生活に必要な知識・技能の習得を図る。参加者の自立を促す。
小計	62		
活ク ララ ブ動	グループ活動	9	担当スタッフ別のグループとなり、それぞれグループ活動に取り組む。
	クラブ活動	81	同好のメンバーが集まり、自主的にグループ運営を行なう
	小計	90	
運動 療 法	バレーボール	40	チームプレーを通して協調性を養う、体力作り、身体を動かす心地よさを体験すること等を目的とする。
	ヨガ・健康体操・散歩	3	体力の維持、身体を動かす心地よさを体験すること等を目的としグループで実施。
	ソフトボール・木曜スポーツ	2	チームプレーを通して協調性を養う、体力作り、身体を動かす心地よさを体験すること等を目的とする。
	スポーツ大会(含む、準備、交流試合)	4	大会などの目標に向けてチームワークを体験する。他施設との交流会の準備・実施を行う。
	合同スポーツ	4	体力の維持、身体を動かす心地よさを体験すること等を目的としグループで実施。
	軽スポーツ	32	体力の維持、身体を動かす心地よさを体験すること等を目的としグループで実施。
	体力測定	2	現在の体力を把握し、事故の身体への意識を高める。
小計	87		
音楽 療 法	コーラス	22	外部講師の指導により、合唱の練習をし年数回成果を発表。
	ドラム	3	外部講師の指導により、ドラムを中心とした打楽器を皆で演奏をする。
	楽器演奏	1	楽器に興味のある人が集まり、楽しみながら演奏をする。年数回成果を発表。
	小計	26	
認知 行 動 療 法 ・ 心 理 教 育 他	生活設計研究会	3	病気や薬、社会制度や経済的な知識を得、将来の生活の見通しを立てられるようになるための心理教育等。
	健康・栄養講座(健診含む)	7	身体的な自己管理に関心を持つことを目的とし健康に関する講義を受ける。
	SST	36	対人関係の改善を目的に、課題の場面を演じながら訓練を行う。
	服薬クラブ	21	服薬の必要性を学び自己管理の練習をする心理教育。
	気持ちのコントロール	20	怒りを中心とした自分の感情を認識しコントロールする方法を学ぶ
	統合失調療法	20	統合失調症の症状や対処法などの知識を身に付ける。
	認知行動療法	33	病気の症状についての対処法を身に付けるための心理教育
	福祉講座	3	精神障害者の動向や福祉制度の状況などを知る機会とする。
	WRAP	8	自分が元気であるための計画を立て、それを実践していく。
	ダイエット	23	肥満の健康上の問題を認識し、ダイエットの手法を学び体重の自己管理をしていく。
	小計	174	
シレ クリ エー 活動	パーティー、打上げ(含む、準備)	8	忘年会、歓送迎会等の準備、実施。
	外出(含む、準備)	3	社会性を養い、視野を広げることを目的とする。
	バザー、DCコンサート・港南ネット祭り・ダイケア作品展(含む、準備)	18	入院患者・職員との交流、地域福祉施設との交流を図るために参加。
	ロードショー	1	興味関心のある映画等を選び準備、鑑賞していく。
	かき氷大会・すいか割り(含む準備)	3	夏の風物詩としての行事を行い楽しむ。
	施設見学(含む準備)	5	
小計	38		
そ の 他	パソコン	46	外部講師の指導により、パソコンの操作を学ぶ。
	ニュースの窓	1	視野を広げる目的で各自新聞を持ち寄り自分に関心のある記事を紹介する。
	書道	7	外部講師の指導により、各自好きな言葉を書き、添削を受ける。年数回成果を発表。
	茶道	10	外部講師の指導により、お茶のたて方、飲み方を学ぶ。
	華道	10	外部講師の指導により、お花のいけ方を学ぶ。
	新人オリエンテーション	3	新入所者に対し、メンバーがダイケアの説明を行う。
	アロマセラピー	1	外部講師の指導により、いろんな香りを楽しみながら、リラックスする方法を学ぶ。
	植物を育てる	21	花や野菜などの植物を育てることで季節感を得ながら、達成感を得る。
	金曜クラブ(ゲーム・その他)	1	お茶を飲みながらスタッフ・メンバーでリラックスする時間を過ごす。
	メイクアップ講座	1	外部講師の指導により、メイクの方法を学び整容への関心を高める。
	頭のトレーニング	8	クイズ・パズル等を行うことで頭のリラックス、及び活性化を図る。
	英会話	11	外部講師の指導により、英会話について学ぶ。
	スモールグループ	139	静かな雰囲気の中、個別の活動に取り組む。
	コンサート	1	生の演奏を聴き、楽しいひと時を過ごす。
	自主学習	17	自分の疾患についてテキストを読んで学習する。
小計	109		
合 計		808	

## (オ) 転 帰

(単位：人) H27. 3. 31現在

性別	転帰	就労	就労移行支援	就労継続支援	支援センター等	就学	家庭内適応	転院等	入院	不適応	死亡	中断	その他	DC延長	6ヶ月未満	計
男		5	0	7	5	1	1	5	7	3	0	5	2	64	12	117
女		0	1	1	0	0	1	1	2	0	0	3	2	38	10	59
計		5	1	8	5	1	2	6	9	3	0	8	4	102	22	176

〔家庭内適応〕…主婦、家事手伝い等を行っている者

〔中 断〕…病状悪化した者

〔そ の 他〕…他施設入所、転居、他DC

〔D C 延 長〕…終了せず延長を行い平成27年3月31日現在通院している者

〔6ヶ月未満〕…期間が終了しておらず平成27年3月31日現在通院している者

## (カ) 個別支援

## (ア) 相談件数

(単位：人)

手 段	本 人	家 族	退所者	その他関係機関など
電 話	166	59	20	265
面 接	961	47	6	68
見 学	-	-	-	32

## (イ) 訪問件数

(単位：人)

職場、福祉施設など	13
-----------	----

## (ウ) カンファレンス (医療観察法含む)

科 内	科 外
62 件	114 件

## (キ) 家族会

開催月	テ ー マ	開催数	参加者数
6～7月	家族面談	2回	24名
9月	当事者の話	1回	3名
10～11月	家族面談	2回	35名
1月	当事者活動について	1回	2名
3月	家族懇談会	1回	8名
合 計		7回	72名

## イ リワークデイ・ケア

## (ア) 月別参加者数

(単位：人)

月 別	1月	2月	3月	計	
				(右：月平均)	
在 籍 者 数	6	6	10	22	7.3
参 加 者 延 数	72	79	145	296	98.7
参加者一日平均	6	5	7	18	6
実施回数	12	15	19	46	15.3

**(イ) プログラム内容**

(単位：回)

プログラム名	回数
スキルアップ	11
エクササイズ	12
C B T	10
テーマトーク	11
オリエンテーション	2

**(ウ) 疾患別参加者数**

(単位：人)

病名	人数
双極性感情障害	4
うつ病	2
持続性気分障害	2
適応障害	1
多動性障害	1

**ウ 依存症デイ・ケア****(ア) SMARPP**

(単位：人)

月別		12月	1月	2月	3月	計	
						(右：月平均)	
在籍者数		6	9	9	8	32	8.0
(うち医療観察者法通院者)		1	1	1	1	4	1.0
延数	参加者延数	14	20	31	29	94	23.5
	(うち医療観察者法通院者)	3	3	4	5	15	3.8
平均	参加者一日平均	4.7	6.7	7.8	5.8	24.9	6.2
実施日数		3	3	4	5	15	3.8

**(イ) SARPP**

(単位：人)

月別		12月	1月	2月	3月	計	
						(右：月平均)	
在籍者数		12	15	15	14	56	14.0
延数	参加者延数	19	19	26	20	84	21.0
平均	参加者一日平均	4.8	4.8	6.5	5.0	21	5.3
実施日数		4	4	4	4	16	4.0

**(ウ) カンファレンス**

月1開催、計4回実施

**エ 教 育**

(単位：人)

	医療関係者	福祉関係者	行政関係者	その他	合計
研修	32	7	4	0	43
見学	4	5	0	0	9

## (4) 検査業務

### ア 心理業務

平成26年12月に新棟が完成し、芹香病院とせりがや病院が統合した。それに伴い、芹香病院検査科心理室とせりがや病院心理・相談科の心理士とを構成員に新たに心理科が設立された。心理科には常勤6名、非常勤2名、計8名の心理士が在籍しており、うち2名は医療観察法病棟、1名は思春期病棟に専従で配属、1名はrTMS研究補助を担当、2名は依存症病棟に配属されている。

主な業務は心理検査、心理療法（集団精神療法、個別面接等）、医療観察法業務である。心理業務のうち心理検査は、精神医学的診断を補う目的や、パーソナリティの理解を深める目的で、必要に応じていくつかの検査を組み合わせて実施している。心理療法は外来ならびに入院患者を対象とし、一对一の心理面接、集団療法などの形態で必要な心理的ケアを提供するものである。主治医から依頼のあった患者に対し契約を結び、必要に応じて主治医との連携をとりつつ継続的な関わりを持った。診断は統合失調症、うつ状態、人格障害などであった。また作業療法に参加している入院患者を対象に、作業療法科との連携を図り疾病教育を実施した。その他に、医療観察法の鑑定に関わる心理検査、通院所処遇対象者への心理面接、多職種でのチーム会議などにも参加した。

ストレスケア病棟では、心理検査ならびに心理面接、心理療法を実施した。他に、臨床研究（rTMS、鍼灸）入院において、心理検査を実施した。また、リワークプログラムにおいては、多職種で運営についての検討を重ね、協力してプログラム・各種面接を実施した。認知行動療法（集団精神療法）、テーマトークを担当し、必要に応じて心理検査等を行った。リワークプログラムは平成27年1月よりデイケアのプログラムとなったが、これまでと同様の業務を担っている。

医療観察法病棟においては、各種プログラムの企画運営、心理検査・心理面接の実施、対象者の外出・外泊への付き添い、MDT会議、CPA会議、治療評価会議等多職種チームの会議等に参加した。

平成26年12月、せりがや病院が統合し、2B病棟となった。依存症病棟では、SCOPとSMARPP-16、せりがや講座（心理担当分）のプログラムを担当した。また、入院患者に対してルーティンで心理検査バッテリー（WAIS-III、バウムテスト、P-Fスタディ、Y-G性格検査の4種類）を実施し、教育プログラム選択の際のアセスメントを行った。検査件数は平成26年12月以降の依存症病棟の検査件数も合算している。

### (ア) 心理検査（平成26年度）

検査名		外来（リワーク含）	入院（医観法含）	臨床研究（rTMS・鍼灸）	計
知能検査	WAIS-III	28	100	9	137
	WISC-IV	6	8	0	14
	田中ビネー	0	1	0	1
	コース立方体	0	0	0	0
人格検査	ロールシャッハ人格診断検査	22	44	0	66
	SCT文章完成法	20	55	0	75
	描画検査（バウムテスト等）	13	80	0	93
	P-Fスタディ	7	73	0	80
	Y-G	2	41	0	43
	その他の人格検査	2	8	0	10
	その他の心理検査	0	0	0	0
その他の心理検査	内田クレベリン検査	0	0	0	0
	ベンダーゲシュタルトテスト	0	0	0	0
	内田クレベリン検査	0	0	0	0
	MMSE、HDS-R	12	68	0	80
	COGNISTAT	2	14	0	16
	WMS-R	0	0	0	0
	HAM-D	0	0	145	145
	BDI	0	0	145	145
	STAI	0	0	145	145
	SCID	0	0	9	9
	AQ	0	1	9	10
	CES-D	0	244	0	244
	Word Fluency	0	0	45	45
	WSCT	0	0	35	35
	TMT	0	0	35	35
	Color Strope	0	0	35	35
	その他	0	5	0	5
計 (実人数)	114 (44)	742 (151)	612 (32)	1,468 (227)	

(イ) 心理療法 (平成26年度)

	外 来	入 院	リワーク	依存症	医療観察法病棟
心理面接等	579 (36)	47 (6)	-	-	994 (24)
集団プログラム等	0	96	86	23 [12月~]	94

※1 計欄 ( ) は実人数を示す。

※2 外来移行後分含む。

(ウ) その他 (平成26年度)

リワーク・プログラム OTとの合同のプログラムの実施	65
リワーク・プログラム DCとの合同のプログラムの実施	21
リワーク・プログラム インテーク・復職準備評価面接の実施	97 (27)
医療観察法 (入院病棟) 多職種チーム会議への参加	485
医療観察法 (通院処遇) 多職種チーム会議への参加	73

イ 放射線業務

平成26年12月に芹香・せりがや両病院を統合し、CT装置がシングルスライスCTからマルチスライスCTへ更新となり、5mmスライス、1mmスライスのより高精細な診断により有益な画像を提供できるようになったため、スライス数・画像処理数が飛躍的に増加しました。

新棟オープンに向けて、芹香病院は入院を控え、せりがや病院は2病棟から1病棟へ減ったこともあり、下表の前年同月間比を見ると、11月まで人数、回数共に減っています。

12月より新棟オープンし、前年同月間比を見ると120%を超えたものの年間を通して見ると平年並みになりました。

一般撮影

(ア)

		平成25年4月~11月	平成26年4月~11月	前年同月間比 (%)
芹 香 病 院	延べ人数	888	802	90.3
	延べ回数	1,125	1,043	92.7
せ り が や 病 院	延べ人数	354	301	85.0
	延べ回数	376	313	83.2

(イ)

		平成25年11月~平成26年3月までの芹香・せりがや両病院合計	平成26年12月~平成27年3月までの精神医療センターの合計	前年同月間比 (%)
精神医療センター	延べ人数	504	731	129.6
	延べ回数	703	895	127.3

CT検査

(ア)

		平成25年4月～11月	平成26年4月～11月	前年同月間比 (%)
芹 香 病 院	延べ人数	428	394	92.1
	延べ回数	9,611	8,692	90.4
	画像処理	10,777	9,843	91.3
せりがや病院	延べ人数	235	182	77.4
	延べ回数	5,108	3,854	45.5
	画像処理	5,593	4,224	75.5

(イ)

		平成25年11月～平成26年3月までの 芹香・せりがや両 病院合計	平成26年12月～平成27年3月までの精 神医療センターの合 計	前年同月間比 (%)
精神医療センター	延べ人数	301	382	126.9
	延べ回数	6,585	12,006	182.3
	画像処理	7,464	58,513	783.9

(ア) 一般撮影業務件数 (人数及び撮影回数)

a 芹香病院

部位 月	頭 部				胸 部				腹 部				椎 骨				四 肢 骨				そ の 他				合 計			
	人 数		回 数		人 数		回 数		人 数		回 数		人 数		回 数		人 数		回 数		人 数		回 数		人 数		回 数	
	ポータル 撮影室																											
H26.4		1		2	2	48	2	61	1	33	1	45		1		2		5		14					3	88	3	124
5		1		2	2	47	2	55	1	36	1	45					2	5	4	13				5	89	7	115	
6					3	61	3	73		39		50					3		6					3	103	3	129	
7					1	53	1	66	1	42	1	51		1		2	1	2	4	8	1	1	1	1	4	99	7	128
8		1		3	8	44	8	48	4	24	4	31		2		4	3	4	10	4			4	8	15	79	22	98
9					6	46	6	58	4	38	4	52					2		2				3	6	10	89	10	118
10					4	68	4	80	2	43	2	55					1		8					6	112	6	143	
11						54		66		31		45		1		2	2	4	4	4	1	4	2	7	3	94	6	124
12																									0	0	0	0
H27.1																									0	0	0	0
2																									0	0	0	0
3																									0	0	0	0
合計	0	3	0	7	26	421	26	507	13	286	13	374	0	5	0	10	8	26	22	59	2	12	3	22	49	753	64	979
構成比(%)	0.0	0.4	0.0	0.7	3.2	52.5	2.5	48.6	1.6	35.7	1.2	35.9	0.0	0.6	0.0	1.0	1.0	3.2	2.1	5.7	0.2	1.5	0.3	2.1	6.1	93.9	6.1	93.9

b セリがや病院

部位 月	頭部		胸部		腹部		椎骨		四肢骨		その他		合計	
	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数
H26.4			16	16	13	14					2	4	31	34
5			22	22	14	14							36	36
6			23	23	16	16							39	39
7			25	25	17	17	1	2			1	4	44	48
8			23	23	17	17							40	40
9	1	2	27	27	17	17					2	3	47	49
10			22	22	18	19							40	41
11			13	13	9	9			1	2	1	2	24	26
12													0	0
H27.1													0	0
2													0	0
3													0	0
合計	1	2	171	171	121	123	1	2	1	2	6	13	301	313
構成比(%)	0.3	0.6	56.8	54.6	40.2	39.3	0.3	0.6	0.3	0.6	2.0	4.2	100.0	100.0

c 精神医療センター

部位 月	頭部				胸部				腹部				椎骨				四肢骨				その他				合計			
	人数		回数		人数		回数		人数		回数		人数		回数		人数		回数		人数		回数		人数		回数	
	ポータル	撮影室	ポータル	撮影室	ポータル	撮影室	ポータル	撮影室	ポータル	撮影室	ポータル	撮影室	ポータル	撮影室	ポータル	撮影室	ポータル	撮影室	ポータル	撮影室	ポータル	撮影室	ポータル	撮影室	ポータル	撮影室	ポータル	撮影室
H26.4																												
5																												
6																												
7																												
8																												
9																												
10																												
11																												
12					17	93	17	115	5	79	5	95	1	4	1	2	4	4	4	4	1	2	23	176	26	220		
H27.1					3	3	11	87	11	107	5	84	6	104	3	8	3	6	2	3	16	182	17	231				
2					4	5	6	75	6	88	1	77	1	92	2	4	1	4			7	159	7	193				
3					5	5	6	78	7	89		74		84	1	4	1	3	2	10			7	161	9	192		
合計	0	12	0	13	40	333	41	399	11	314	12	375	0	7	0	20	2	9	6	24	0	3	0	53	678	59	836	
構成比(%)	0.0	1.6	0.0	1.5	5.5	45.6	4.6	44.6	1.5	43.0	1.3	41.9	0.0	1.0	0.0	2.2	0.3	1.2	0.7	2.7	0.0	0.4	0.0	0.6	7.3	92.7	6.6	93.4

(イ) CT検査業務件数

a 芹香病院

部位 月	頭 部			胸 部			腹 部			椎 骨			四肢骨			その他			合 計		
	人数	スライス数	画像数	人数	スライス数	画像数	人数	スライス数	画像数	人数	スライス数	画像数	人数	スライス数	画像数	人数	スライス数	画像数	人数	スライス数	画像数
H26.4	45	906	946	2	125	183													47	1,031	1,129
5	42	843	863	2	125	226	1	35	70										45	1,003	1,159
6	57	1,141	1,242	4	225	371	2	67	102										63	1,433	1,715
7	55	1,100	1,120	1	49	77													56	1,149	1,197
8	35	700	740																35	700	740
9	37	740	760	4	151	300	2	93	102										43	984	1,162
10	55	1,122	1,192	4	162	265	3	136	196										62	1,420	1,653
11	39	780	800	2	66	162	2	126	126										43	972	1,088
12																			0	0	0
H27.1																			0	0	0
2																			0	0	0
3																			0	0	0
合計	365	7,332	7,663	19	903	1,584	10	457	596	0	0	0	0	0	0	0	0	0	394	8,692	9,843
構成比(%)	92.6	84.4	77.9	4.8	10.4	16.1	2.5	5.3	6.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	100.0	100.0

b せりがや病院

部位 月	頭 部			胸 部			腹 部			椎 骨			四肢骨			その他			合 計		
	人数	スライス数	画像数	人数	スライス数	画像数	人数	スライス数	画像数	人数	スライス数	画像数	人数	スライス数	画像数	人数	スライス数	画像数	人数	スライス数	画像数
H26.4	19	407	465	1	26	53	1	35	35										21	468	553
5	25	499	499	1	68	98													26	567	597
6	23	460	460																23	460	460
7	26	520	560	3	115	216	1	5	5										30	640	781
8	24	480	480																24	480	480
9	25	500	500																25	500	500
10	20	400	420	3	139	233													23	539	653
11	10	200	200																10	200	200
12																			0	0	0
H27.1																			0	0	0
2																			0	0	0
3																			0	0	0
合計	172	3,466	3,584	8	348	600	2	40	40	0	0	0	0	0	0	0	0	0	182	3,854	4,224
構成比(%)	94.5	89.9	84.8	4.4	9.0	14.2	1.1	1.0	0.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	100.0	100.0

c 精神医療センター

月	頭 部			胸 部			腹 部			椎 骨			四肢骨			その他			合 計		
	人数	スライス数	画像数	人数	スライス数	画像数	人数	スライス数	画像数	人数	スライス数	画像数	人数	スライス数	画像数	人数	スライス数	画像数	人数	スライス数	画像数
H26.4																			0	0	0
5																			0	0	0
6																			0	0	0
7																			0	0	0
8																			0	0	0
9																			0	0	0
10																			0	0	0
11																			0	0	0
12	88	2,660	12,415	3	197	973	3	139	749									94	2,996	14,137	
H27.1	93	2,710	13,013	6	370	1,987	8	323	1,825									107	3,403	16,825	
2	71	2,010	9,762	6	344	1,855	2	92	489									79	2,446	12,106	
3	88	2,460	11,997	7	400	1,958	7	301	1,490									102	3,161	15,445	
合計	340	9,840	47,187	22	1,311	6,773	20	855	4,553	0	0	0	0	0	0	0	0	0	382	12,006	58,513
構成比(%)	89.0	82.0	80.6	5.8	10.9	11.6	5.2	7.1	7.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	100.0	100.0

(ウ) 一般撮影業務件数推移

		16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	前年度比(%)
芹 香 病 院	延べ人数	1,728	2,202	1,929	1,393	1,643	1,553	1,466	1,374	1,375	1,333	802	60.2
	延べ回数	2,278	2,920	2,619	1,877	2,105	2,062	1,844	1,699	1,710	1,690	1,043	61.7
せりがや病院	延べ人数	393	353	384	350	329	383	330	351	357	473	301	63.6
	延べ回数	505	421	400	373	350	480	388	371	371	514	313	60.9
精神医療センター	延べ人数											731	-
	延べ回数											895	-
合計	延べ人数	2,121	2,555	2,313	1,743	1,972	1,936	1,796	1,725	1,732	1,806	1,834	101.6
	延べ回数	2,783	3,341	3,019	2,250	2,455	2,542	2,232	2,070	2,081	2,204	2,251	102.1

(エ) CT検査業務件数推移

		16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	前年度比(%)
芹 香 病 院	延べ人数	463	518	625	487	615	629	571	584	645	650	394	60.6
	延べ回数	8,613	11,463	14,317	10,612	13,833	14,988	13,197	13,294	14,376	14,448	8,692	60.2
	画像処理	9,668	14,280	17,451	12,375	15,675	17,594	15,454	15,242	16,107	16,291	9,843	60.4
せりがや病院	延べ人数	381	318	374	322	322	339	315	358	330	314	182	58.0
	延べ回数	4,604	4,089	7,174	6,504	6,795	7,290	6,844	7,722	6,896	6,856	3,854	56.2
	画像処理	4,653	4,094	7,277	6,665	7,305	8,172	7,435	8,324	7,220	7,543	4,224	56.0
精神医療センター	延べ人数											382	-
	延べ回数											12,006	-
	画像処理											58,513	-
合計	延べ人数	844	836	999	809	937	968	886	942	975	964	958	99.4
	延べ回数	13,217	15,552	21,491	17,116	20,628	22,278	20,041	21,016	21,272	21,304	24,552	115.2
	画像処理	14,321	18,374	24,728	19,040	22,980	25,766	22,889	23,566	23,327	23,834	72,580	304.5

## ウ 臨床検査業務

### a 芹香病院+精神医療センター

	院内処理件数	委託処理件数	受託処理件数	合 計
一 般 検 査	12,448	443		12,891
血 液 検 査	6,636	15,882		22,518
生 化 学 的 検 査	15,330	49,326		64,656
内 分 泌 学 的 検 査	0	2,042		2,042
免 疫 学 的 検 査	353	3,692		4,045
病 理 学 的 検 査	0	2		2
微 生 物 学 的 検 査	0	185		185
生 理 機 能 検 査	1,240	0	2	1,242
計	36,007	8,946.5	2	107,581

### b セリがや病院

	院内処理件数	委託処理件数	合 計
一 般 検 査		2,713	2,713
血 液 検 査		5,234	5,234
生 化 学 的 検 査		16,859	16,859
内 分 泌 学 的 検 査		520	520
免 疫 学 的 検 査		989	989
微 生 物 学 的 検 査		9	9
生 理 機 能 検 査	179	2	181
計	179	26,326	26,505

## (5) 福祉医療相談科業務

芹香病院地域医療相談室とせりがや病院心理・相談科は平成26年12月より福祉医療相談科と名称を改め、ソーシャルワーカー14名（常勤13、非常勤1）事務担当1名の計15名の体制でスタートした。相談内容は医療費・生活費などの経済的なこと、介護保険や障害者自立支援法などの福祉制度のこと、デイケアや地域作業所などの社会資源のこと、家族との関係や患者本人の対応法など多岐にわたっているが、何より本人並びに家族とのラポール作りと支援関係の継続を第一に業務を進めている。

救急医療については芹香病院時代の平成15年度に26床の救急病棟として整備され、現在は5A・5B病棟に引き継がれて70床となり、そのうち16床が神奈川県基幹病院としてシステム救急用のベッドとなっている。救急については、本人・家族との面接や生活問題に関する調整をはじめ、県・横浜市・川崎市・相模原市担当課や後方病院との連絡調整などに関わっている。

地域移行（退院支援）については、平成15年度から長期在院者の退院促進に対する取り組み、入院患者の減少に伴う平成20年3月にA1（認知症病棟）とC1（一般開放病棟）が閉棟した時期の取組みを第1期、平成22～23年度のC2、C3病棟合併に伴う取組みを第2期として進めてきたが、新病院となり更なる取組みを検討している。

平成17年度から施行された医療観察法の指定医療機関として、鑑定入院および、通院医療、H21年度に小規格病棟から開始して平成24年度からフル規格病棟での入院医療を受け入れている。医療観察法病棟には3名のソーシャルワーカーを配置して対応している。（エで再掲）。

平成20年4月からは自殺予防対策の一環としてうつ病を対象としたストレスケア病棟を開棟しているが、病棟担当者（兼任）を2名配置して対応している。またリワークプログラムにも多職種チームのスタッフとして参加している。

今年度の病院統合を契機に、旧せりがや病院が依存症病棟へと移行した。依存症担当ソーシャルワーカーは病棟チームへの参加と共に、外来集団精神療法SMARPP12、依存症ショートケアで行っているSARPPプログラム、薬物家族会のファシリテーターの役割を担当している。

思春期病棟は新病院と共に新たに開棟し、担当ソーシャルワーカーは受診相談から家族相談などに対応している。今後はケースを通じて児童相談所等の関係機関との連携を更に強化したい。

権利擁護の視点からは抗告、処遇改善や退院請求への迅速な個別対応を行っている。また医療や経済、家族間の法的な問題への新たな窓口として、H23年5月からモデル事業として開始した横浜弁護士会による法律相談会は、本事業として今年度も月に1回の定例で開催した（オで再掲）。

地域支援については、地域作業所、グループホームの運営委員会、地域移行定着事業への協力、区の各種ネットワーク会議等への参加を強化している。依存症分野では寿アルク、横浜マック、横浜ダルクの運営協議会に参加している。

平成26年度より依存症治療拠点機関に指定され、依存症治療支援コーディネーターの役割を担うと同時に、研修会や普及啓発活動を行っている。

また医療観察法指定医療機関のワーカーを中心とした、かながわ司法精神医療福祉ネットワークを主催、および全国医療観察法指定入院医療機関PSW連絡協議会に参加して連携の強化を図っている。

全国自治体病院協議会精神科特別部会のコメディカル部会（平成19年度より設置）には理事として出席し、全国の会員との交流や連携を推進している。

ア ソーシャルワーク業務（平成26年4月～平成26年11月）

(ア) 内容別相談件数

{ } 医療観察、( ) はストレス、< > は救急を再掲

内 容	平 成 26 年 度			平成25年度計
	外 来	入 院	計	
受療相談、調整	1,293	616	1,909	2,306
経済関係 (32条申請、生活保護、年金、手当等)	592	671	1,263	1,502
治療生活に関すること (ケースワーク、家族調整他)	1,907	3,193	5,100	4,393
社会復帰に関すること(退院、施設他)	684	2,499	3,183	3,599
仕事に関すること	211	333	544	532
転院に関すること	86	88	174	165
権利に関すること	60	231	291	240
院内及び院外関係機関との連絡調整、 その他	3,126	2,689	5,815	6,985
計	7,959 { 1,514} ( 331) < 1,264)	10,320 { 2,606} ( 831) < 1,878)	18,279 { 4,120} ( 1,162) < 3,142)	19,722 { 2,709} ( 1,531) < 4,375)

(イ) 実施方法別相談件数

内 容	平 成 26 年 度			平成25年度計
	外 来	入 院	計	
院内面接 (患者、家族、院内外関係者等)	2,461	3,898	6,359	6,670
電 話	3,534	4,234	7,768	9,016
文 書 (訪問依頼表、カルテ調べ等)	486	459	945	1,258
訪 問 (保健所、役所、作業所、家庭等)	386	321	707	584
カンファレンス	1,092	1,408	2,500	2,194
計	7,959	10,320	18,279	19,722

(ウ) 被相談者別相談件数

内 容	平 成 26 年 度			平成25年度計
	外 来	入 院	計	
本 人	1,974	2,670	4,644	5,331
家 族	1,387	1,118	2,505	4,130
院内関係者	2,584	7,281	9,865	5,643
院外関係者 (保健所、福祉事務所等)	2,323	2,274	4,597	4,605
その他 (職場、後見人、民生委員等)	3	1	4	40
計	8,271	13,344	21,615	19,749

ソーシャルワーク業務（平成26年12月～平成27年3月）

(ア) 内容別相談件数

内 容	平成26年度（12月～3月）			
	外来	入院	受診相談	計
受診援助	363	44	346	753
入院援助	200	170	104	474
退院援助	115	730	2	847
心理的情緒的援助	361	182	5	548
経済問題援助	181	229	0	410
福祉制度利用援助	317	365	3	685
家族問題援助	182	155	19	356
住宅問題援助	83	56	0	139
就労問題援助	64	18	19	101
教育問題援助	16	13	10	39
権利擁護	14	39	1	54
退院請求、処遇改善請求	4	32	0	36
他医療機関との調整	225	247	25	497
依存症	414	131	160	705
医療観察	138	330	0	468
ストレス	71	24	100	195
思春期	47	27	38	112
その他	311	209	60	580
計	3,106	3,001	892	6,999

(イ) 実施方法別相談件数

内 容	平成26年度（12月～3月）			
	外来	入院	受診相談	計
面接	915	1038	32	1985
電話	1767	1497	817	4081
外出	27	29	0	56
訪問	51	18	0	69
ケア会議	161	213	1	375
グループワーク	5	4	0	9
書類	43	56	1	100
その他	137	146	41	324
計	3,106	3,001	892	6,999

## イ 地域連絡会議

### 県立病院地域医療会議

会議名	場 所	実 施 日
第1回 県立病院地域連携担当者会議	循環器呼吸器病センター	平成26年5月13日
第2回 県立病院地域連携担当者会議	がんセンター	平成26年9月9日
第3回 県立病院地域連携担当者会議	こども医療センター	平成26年12月9日
県立病院地域医療連携連絡会議	足柄上病院	平成27年2月10日

### 精神保健福祉担当者会議

会議名	場 所	実 施 日
精神保健福祉業務連絡会	港南区役所	平成26年12月16日

### 港南区地域生活支援会議

会議名	場 所	実 施 日
港南区自立支援協議会代表者会議	港南区社会福祉協議会	平成26年5月7日
平成26年度 第3回港南区自立支援協議会	そよかぜの家	平成26年11月12日
第5回港南区自立支援協議会	港南区社会福祉協議会	平成27年3月23日

### 港南ネット会議

会議名	場 所	実 施 日
平成26年度 第1回港南ネット会議	港南中央地域ケアプラザ	平成26年5月9日
第2回港南ネット会議	港南中央地域ケアプラザ	7月11日
第3回港南ネット会議	港南中央地域ケアプラザ	9月12日

### 戸塚区連絡会

会議名	場 所	実 施 日
平成26年度 第1回戸塚区精神保健福祉連絡会・ 第1回戸塚区生活支援センター運営連絡会議	戸塚区役所	平成26年6月27日
第2回戸塚区精神保健福祉連絡会・ 第2回戸塚区生活支援センター運営連絡会議	戸塚区役所	平成27年2月20日

## ウ 協議会、研修受け入れ、講師派遣等

### 協議会等

内 容	場 所	参 加 日
第3回 全国医療観察法指定入院医療機関PSW連絡協議会	岡山県立精神医療センター	平成26年11月1日～2日
薬物依存のある保護観察対象者等に対する地域支援連絡協議会	横浜保護観察所	平成26年12月19日
第1回 全国依存症対策連絡協議会	AP品川10F 会議室	平成27年2月23日

### 実習生受け入れ

依 頼 校	人 数	実 施 日
神奈川県立保健福祉大学	2名	平成26年6月18日～7月3日 平成26年6月18日～7月18日

### 現任者の視察・研修受入れ

内 容	人 数	実 施 日
横浜地方裁判所	10名	平成26年 4月25日
	13名	平成26年 6月13日
社会復帰調整官実務実習	1名	平成26年 6月16日～6月20日
神奈川県精神保健福祉新任研修	3名	平成26年 6月19日
横浜市精神保健福祉新任研修	50名	平成26年10月24日
神奈川県精神障害者地域生活支援団体連合会	22名	平成26年11月 7日
帝京平成大学	1名	平成27年 1月14日
神奈川県モデル活動研究会	20名	平成27年 1月27日
医療法人誠心会神奈川病院	4名	平成27年 1月29日
網走刑務所刑務官	1名	平成27年 2月24日

### 講師派遣

内 容	場 所	実 施 日
第10回日本司法精神医学会	沖縄県男女共同参画センター「ていりる」	平成26年 5月16日～5月17日
横浜弁護士会会員研修会	横浜弁護士会館	平成26年 5月30日
第50回公益社団法人日本精神保健福祉協会全国大会	大宮ソニックシティ	平成26年 6月22日
第24回日本精神保健看護学会	横浜市立大学	平成26年 6月22日
平成26年度医療観察法指定医療機関ネットワークによる共通評価項目の信憑性と妥当性に関する研究会議	佐久平プラザ21	平成26年 9月11日
目白大学人間学部学生講義	目白大学	平成26年10月25日
横浜市医療観察法業務研修	横浜市研修センター	平成26年10月31日
平成26年度第2回埼玉県医療観察制度運営連絡協議会専門部会	さいたま保護観察所	平成26年12月12日
特別改善指導「薬物依存離脱指導」	横浜刑務所	平成26年12月17日
医療観察法医療従事者上級研修会	国立精神神経医療研究センター	平成26年12月20日
上智大学総合人間科学部学生講義	上智大学	平成27年 1月15日
厚木市青少年相談員自主研修会	厚木市役所第二庁舎	平成27年 1月17日
横浜保護観察所引受人会	横浜保護観察所	平成27年 1月21日
医療観察法病棟入院対象者家族会	久里浜医療センター	平成27年 2月 6日
他職種ケアマネジメント研修	岩手県精神保健福祉センター	平成27年 2月20日
平成26年度児童虐待対応スキルアップ研修	戸塚区役所	平成27年 3月 3日

### 薬物乱用防止教室講師派遣

学 校・団 体	人 数	実 施 日
川崎市立白幡小学校	129名	平成27年 1月28日
神奈川県立綾瀬高等学校	376名	平成27年 3月11日

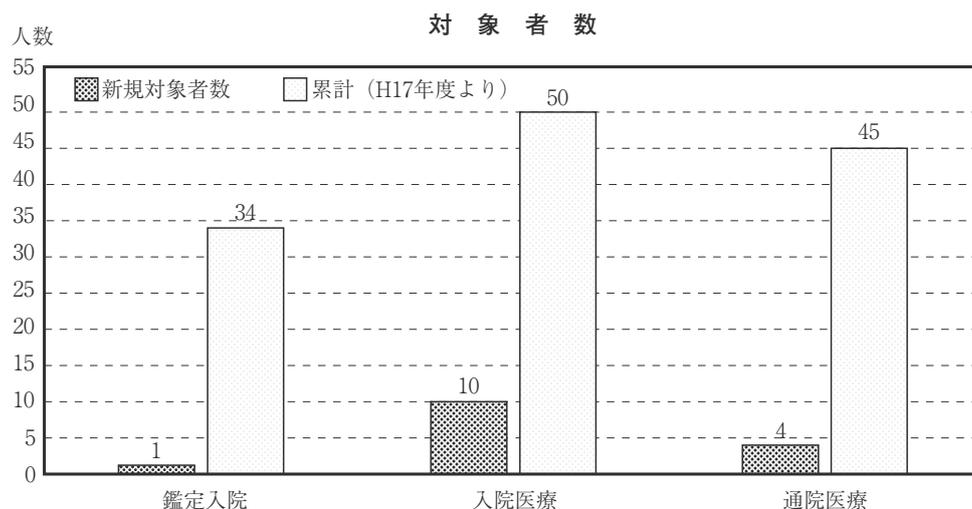
### 院内研修会

内 容／講 師	人 数	実 施 日
法律相談会に関する弁護士からのメッセージ 法律事務所ヴェント 姜 文江先生	29名	平成26年 9月22日

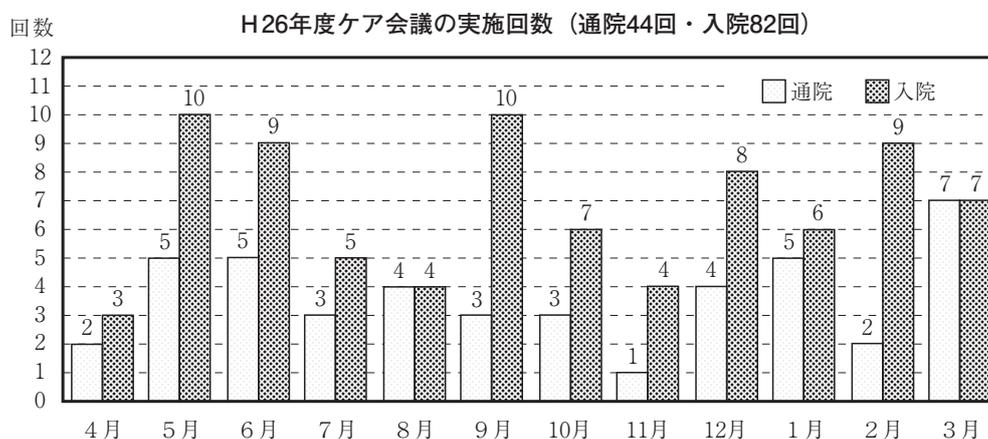
## エ 医療観察制度の取組み

H17年7月15日より施行された「心神喪失等の状態で重大な他害行為を行った者の医療及び観察等に関する法律（医療観察制度）」では、医療と司法が連携の上で対象者の社会復帰に必要な処遇（それに伴う入院及び通院医療）を行なうとされている。当院では救急病棟での鑑定入院ならびにフル規格病棟における入院医療、外来・訪問看護・デイケアなどを基本とした通院医療を、それぞれMDTを編成して提供している。入院医療では週に1回の治療評価会議・MDT会議をベースに、通院医療では月に1回のチーム会議をベースにして、3ヶ月に1回程度のケア会議を軸にした処遇を展開している。これら全体を統括する医療観察法運営会議を月に1回開催している。福祉医療相談科に統括の医療観察担当者（兼任）が配置され、訪問看護調整者と連携の上で全体調整及び直接処遇を行なっている。入院病棟においては3名の担当者を配置しMDTメンバーとして関わっている。H22年度からは事務担当が1名配置され、各種手続き書類や評価シートなどの文書整理やケア会議等のスケジュール管理など、マネジメント機能が飛躍的に充実強化されている。また、院内研修の実施および他県の医療機関等の視察研修や新任社会復帰調整官の研修も受け入れている。なお引き続き、円滑な制度運営に向けて、県内の指定医療機関のソーシャルワーカーおよび社会復帰調整官のネットワーク（かながわ司法精神医療福祉ネットワーク）、横浜地方裁判所裁判官の医療観察病棟の見学を実施している。精神・神経科学振興財団主催の指定医療機関従事者研修の講師も継続して担当している。

### 対象者



### ケア会議の実施回数



## 連絡会

内 容	開催場所	実 施 日
かながわ司法精神医療福祉ネットワーク会議	紫雲会横浜病院	平成26年 4月18日
	川崎市北部リハビリテーションセンター 百合ヶ丘障害センター	平成26年 7月18日
	芹香病院	平成26年11月 7日
	横浜保護観察所	平成27年 1月16日

## 講師派遣（再掲）

内 容	開催場所	実 施 日
第10回日本司法精神医学会	沖縄県男女共同参画センター「ているる」	平成26年 5月16日～5月17日
平成26年度医療観察法指定医療機関ネットワークによる共通評価項目の信憑性と妥当性に関する研究会議	佐久平プラザ21	平成26年9月11日
医療観察法業務研修	横浜市研修センター	平成26年10月31日
平成26年度第2回埼玉県医療観察制度運営連絡協議会専門部会	さいたま保護観察所	平成26年12月12日
医療観察法病棟入院対象者家族会	久里浜医療センター	平成27年 2月 6日

## オ 横浜弁護士会による法律相談会

精神科医療を受ける上で生じる権利擁護やさまざまな法律に関わる問題（借金、家族関係など）について、迅速かつ適切な相談および対応方法の提供を行ってきた。H24年度に開棟したフル規格の医療観察法入院病棟における権利擁護支援の一環として位置づけるためにも、法律の専門家である弁護士の相談を定期的開催し密な連携を図っていくことを目的として、H23年度のモデル期間を経て、月に1回（第3木曜日）の横浜弁護士会による法律相談会を継続開催している。対象者は全病棟の入院患者として、事前にポスターにて周知後に担当PSWが申込み時の面接を行ない窓口弁護士との調整をはかった上で、希望者の人数により2人の弁護士に対応してもらった。

## 実績

回 数	月 日	利用者数	キャンセル
第1回	4/17	2名	1名
第2回	5/15	3名	
	5/28	1名	
第3回	6/19		1名
第4回	7/17	4名	
第5回	8/21	2名	3名
第6回	9/18	1名	1名
第7回	10/16	1名	
第8回	11/20	1名	1名
第9回	12/18	3名	
第10回	1/15	2名	
第11回	2/19	3名	2名
第12回	3/19	1名	1名

## カ 訪問看護業務

訪問看護は、H26年11月まで地域医療相談室に所属し、専任の看護師4名、ソーシャルワーカー10名、及び、外来看護師6名、病棟看護師数名が連携し訪問看護業務を実施していた。12月の新棟移転に伴い、社会復帰支援部訪問看護科として独立し、新たに科長を含めた5名の看護師で、他部門と連携を取りながら訪問看護に従事している。訪問看護利用の登録者は医療観察法対象の患者を含め140名を超え、年間2,200件余りの訪問看護を実施している。訪問看護の役割には病状の見守り、生活支援と共に病状悪化時の対応、医師及び多職種によるチーム医療判断など対象に応じた多様な関わりとスピーディな対応が求められている。病院の方針として、増加する医療観察法通院処遇患者や重症例に特化した方向を示されているため、訪問看護長期利用者や見守り中心の利用者に関しては、地域の訪問看護ステーションの協力を得て移行に努めている。

地域との連携を大切にし、退院前カンファレンスや訪問看護評価カンファレンスでは、地域の関係者（福祉保健センターソーシャルワーカー、生活支援センター職員、作業所職員、ケアマネージャー、ヘルパー等）に参加してもらい支援の共有化を図った。カンファレンスの場所も院内だけでなく、地域へ出向くケースも増えている。

ソーシャルワーカーの学生の実習も受け入れ、訪問看護の必要性和実際に学ぶ場を提供している。

また、県や市の職員の新人研修にも組み込み、必要性和協力を依頼している。

交通手段としては4台の訪問看護専用車の他に、病院公用車、一般交通を利用している。道路交通法の改正に伴い、駐車除外許可証が1年毎の更新となり、総務課と協力し許可証を取得している。訪問先は当院近隣の他、泉区、港北区、川崎市、横須賀市、藤沢市、逗子市、高座郡と往復50km以上かかるケースもあり広範囲にわたっている。

### (ア) 平成16年度から平成26年度までの年間訪問看護件数

年 度	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26
件 数	746	1,152	2,113	3,118	2,888	2,903	2,966	3,004	2,969	2,592	2,235

### (イ) 平成26年度 月別訪問看護件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
訪問件数	188	185	189	218	184	184	181	176	182	194	176	178	2,235
対 象 者	135	126	122	138	131	122	116	129	124	128	126	121	1,518
C F 件数	10	12	9	16	8	11	9	8	7	5	7	15	117

### (ウ) 平成26年度 診療報酬別訪問件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間件数
訪 問 I	175	170	181	196	169	164	168	154	171	183	162	164	2,057
外 来 評 価	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	2
訪 問 III	8	10	8	12	10	12	8	10	10	4	12	10	114
退院前訪問	5	5	0	10	5	7	5	12	1	7	2	3	62
合 計	188	185	189	218	184	184	181	176	182	194	176	178	2,235

### (エ) 平成26年度 月別新規申し込み件数

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
2	4	3	3	1	3	1	0	1	0	1	3	22

(オ) 平成26年度 病棟別新規申し込み件数

外来		A2 (3B)	A3 (4A)	B1 (5A)	B2 (5B)	B3 (2A)	C2 (3A)	合 計	
一般	医観							一般	医観
10	3	0	0	2	7	0	0	19	3

(カ) 平成26年度 終了ケース

目標達成	施設利用	転 院	入 院	中絶・拒絶	死 亡	その他 (地域移行含む)	合 計
2	0	0	2	0	3	4	11

(キ) 平成26年度 疾患別分類

疾患名	統合失調症 (他疾患の 合併含む)	中毒性精神障 害(薬物・アル コール含む)	躁 鬱	知的障害	人格障害	強迫性障害	認知症	うつ病(老 年期含む)	その他	合 計
件 数	127	3	7	1	1	0	0	1	0	140

(ク) 平成26年度 地域別分類 (H27. 3月現在)

横浜市

地域	港南区	南区	磯子区	戸塚区	中区	泉区	保土ヶ谷区	栄区	緑区	神奈川区
件数	32	36	7	20	3	4	7	6	0	1
地域	金沢区	西区	港北区	旭区	鶴見区	瀬谷区	青葉区	合 計		
件数	5	1	2	4	2	1	0	131		

県域

地域	川崎市	横須賀市	逗子市	藤沢市	高座郡	合 計
人数	3	3	1	1	1	9

(ク) 年齢別区分 (H27. 3月現在)

10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	合 計
0	2	15	51	33	31	6	1	140

(コ) 平成26年度 男女・住居別区分

	男性	女性
単身生活	41	26
家族同居	39	25
施設入所	6	3
合 計	86	54

## (6) 薬剤業務

調剤業務では、年間処方せん枚数は入院43,823枚で一日平均179.6枚、外来27,227枚（うち院外処方せんは24,261枚で、発行率は89.1%）で一日平均12.2枚である。平成25年10月1日より、外来処方せんは原則院外としたため院外処方せんの発行が増加した。年間調剤数は入院135,387件、外来18,804件、合計154,191件、一日平均調剤数は631.9件であった。

薬剤情報提供業務（外来）は、服薬アドヒアランス向上のため平成20年6月からは外来患者さん全員を対象に毎回行っている。保険点数算定件数は、処方内容に変更が無い場合は月1回のみ算定しているが、院外処方せんの増加により薬剤情報提供（外来・院内処方）は937件に減少した。

薬剤管理指導業務（入院）は、指導実患者数延べ106人、指導回数延べ154回実施した。

調剤業務では、製剤品目10品目で、そのうち錠剤の散剤化製剤は5品目（10,000錠）調整し調剤業務の効率化を図った。

事故防止の推進のため、昨年度から引き続き調剤の手順や方法、調剤室の人員配置等を見直し改善した。薬剤科の「医療安全報告書」の報告件数は平成18年度が106件だったが、平成21年度は41件、平成22年度は7件、平成23年度は9件、平成24年度は26件、平成25年度は25件、平成26年度は19件であった。

薬品管理業務では、購入薬品数は677品目であった。薬効別薬品購入額では、中枢神経系用薬が、88.0%、循環器官用薬、消化器官用薬及びその他の薬剤が、12.0%であった。

向精神薬の管理は、緊急時に対応できる在庫管理を全品目実施した。又、調剤室の全薬品の在庫量の確認を半期毎に実施した。病棟・外来の常備・救急薬品の管理については、薬剤師による点検を毎月実施した。

薬事会議は、例年4回開催しているが、新病棟への移転により5月、9月、2月の3回開催となった。新規採用医薬品8品目、緊急購入医薬品45品目、削除医薬品5品目であった。

医薬品情報管理業務では、「医薬品情報」（DIニュース）を13回発行した。

### A 平成26年度調剤数

区 分	処方せん枚数	剤 数	延べ剤数	1 日 平 均	
				剤 数	延べ剤数
入 院	43,823 枚	135,387 件	733,015 剤	554.9 件	3,004.2 剤
外 来	2,966	18,804	431,009	77.2	1,766.4
計	46,789	154,191	1,164,024	631.9	4,770.6

### B 平成26年度注射剤払い出し本数

注射せん枚数	500 ml 未 満	500 ml 以 上	計
4,682 枚	8,080 本	3,201 本	13,293 本

### C 平成26年度製剤数

内 服 散 剤	外 用 液 剤		軟 膏 剤	錠 剤 の 粉 砕
	非 滅 菌 製 剤	滅 菌 製 剤		
5,208 g	161,000 ml	0 ml	0 g	10,000 錠

D 平成26年度剤型別薬品購入額

剤 型	品 目 数	%	購 入 額	%
注 射	79 品	11.7 %	45,201,985 円	29.7 %
内 服	529	78.1	105,927,052	69.6
外 用	65	9.6	958,240	0.6
消 毒 液	4	0.6	52,497	0.1
計	677	100.0	152,139,774	100.0

E 平成26年度薬効別薬品購入額

薬 効	品 目 数	%	購 入 額	%
精 神 神 経 用 剤	210 品	31.0 %	122,375,721 円	80.4 %
抗 て ん かん 剤	41	6.1	5,231,488	3.4
抗 パ ー キ ン ソ ン 剤	13	1.9	728,102	0.5
睡 眠 鎮 静 剤 ・ 抗 不 安 剤	63	9.3	5,559,975	3.7
循 環 器 官 用 薬	44	6.5	1,750,146	1.2
消 化 器 官 用 薬	67	9.9	6,600,725	4.3
そ の 他 の 薬 剤	239	35.3	9,893,617	6.5
計	677	100.0	152,139,774	100.0

## (7) 医療教育

### ア 臨床研修医受入状況

管理型病院名	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
足柄上病院							1				1	1	
厚木市立病院												1	
国際親善総合病院				1									
横浜労災病院			1	1	1	1	1	1	1	1	1		

平成26年度は臨床研修協力型病院として次のとおりに臨床研修医を受け入れた。(単位：人)

### イ 研修受け入れ

対象	人数	実施日
横浜市立大学医学部学生	84人	火曜日(見学実習)

## (8) 栄養管理科業務

栄養管理科では、美味しさを感じられる満足度の高い、安全、安心な食事提供を業務としている。さらに精神科治療の一環として健康維持のための個々人にあった栄養管理、食生活の自立支援に結びつく関わりを目指している。NST・栄養管理検討部会においては、嚥下、窒息予防などを中心に取り組んだ。各病棟カンファレンスにおいて栄養管理上の問題点、課題などの解決に向けた提案をしてきた。結果は項目イに表記した。

平成26年度は芹香病院、せりがや病院の業務統合、新棟移転に加えて、電子カルテ導入、部門システムの変更を実施した。さらに中央配膳の新システムに対応した業務内容、勤務体制、取り決め事項の再確認、見直しを行った。栄養管理科業務の抜本的な変更となったが移転の際は、科員全員が協力して食事提供を継続した。異物混入、誤配膳などは、以前のシステムに比較すると大幅に減少している。患者食糧費の適正活用には、前年度に継続して取り組み、食材の納入業者選定方法を検討し、食事の質を落とさずに経営改善に努めることができた。平成26年度の平均一食単価は269円で、前年度の280円を下回る結果であった。

平成26年度は、維持管理を目的として新規購入した厨房設備の活用、日常手入れなどの習得の学習会を数回開催した。

### ア 給食実施状況

入院給食数は、対前年度比103.0%と増加、デイ・ケア食は対前年度比84.7%と減少した。

流動食は、対前年度比23.1%、ミキサー食23.5%が減少した。ペースト食は、135.5%と増加しており、適切な食形態が選択されるようになったと推察する。

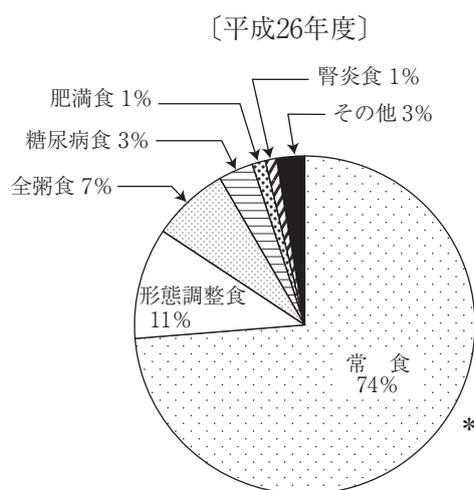
非加算特別食が、対前年度比67.8%と減少し、加算特別食が109.9%と増加している。

院内における栄養管理への理解がすすんだ結果、食種の適正活用がなされ、診療報酬増に寄与できたと考えられる。

区分		年度	26年度	25年度	対前年度比 (%)
一般食	常食		171,953	161,996	106.1
	全粥食		17,151	19,372	88.5
	軟流	分粥食	182	49	371.4
		流動食	3	13	23.1
	動食	きざみとろみ食	16,498	15,422	107.0
		ミキサー食	416	1,767	23.5
		ペースト食	4,642	3,427	135.5
		ゼリー食	3,053	3,561	85.7
		小計	24,794	24,239	102.3
		計	213,898	205,607	104.0
特別食	加算	腎炎食	2,531	2,692	94.0
		心臓病食	386	232	166.4
		肝臓病食	469	0	-
		糖尿病食	7,712	4,976	155.0
		膵臓病食	0	84	-
		潰瘍食	373	111	336.0
		貧血食	0	0	-
		脂質代謝異常症	1,781	4,050	44.0
		肥満食	535	395	135.4
		小計	13,787	12,540	109.9
	非加算	肥満食	2,398	1,429	167.8
		高血圧食	1,225	291	421.0
		貧血食	0	0	-
		濃厚流動食	1,621	5,693	28.5
		検査食	205	148	138.5
		※コメント指示食等	118	652	18.1
			小計	5,567	8,213
		計	19,354	20,753	93.3
	合計			233,252	226,360
デイ・ケア			3,184	3,758	84.7
検食・保存食			2,190	2,190	100.0
職員食（実習生）			15,959 (40)	25,216 (111)	63.3 (36.0)
総合計			254,585	257,524	98.9

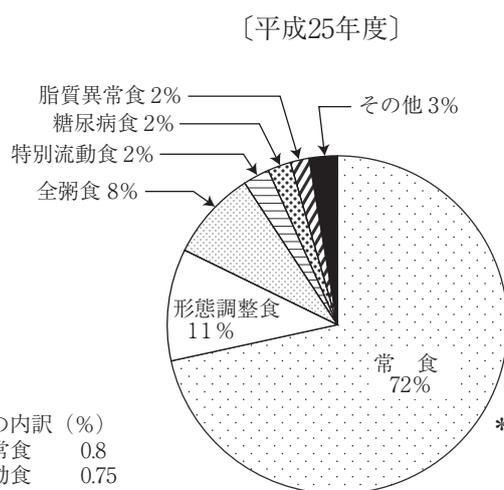
※コメント指示食の他、弁当、OT食、レク食の合計

\*職員食（ ）は実習生で内数



\*その他の内訳 (%)

脂質異常食	0.8
特別流動食	0.75
高血圧食	0.65
肝臓病食	0.2
心臓病食	0.2
潰瘍食	0.2
検査食	0.1
コメント指示食等	0.1



\*その他の内訳 (%)

腎炎食	1.2
肥満食	1.0
コメント指示食等	0.3
高血圧食	0.15
心臓病食	0.1
心臓病食	0.1
検査食	0.1
潰瘍食	0.1
膵臓病食	0.05

## イ 栄養管理・NST活動

平成26年度は、移転があったが、部会の開催、病棟カンファレンスは継続した。食生活に課題のある入院患者を抽出し、積極的に栄養指導を実施した結果、栄養指導件数が増加した。低栄養状態のみならず、過剰栄養、摂食・嚥下に問題がある入院患者に対する栄養ケアの充実を目指し、給食内容の改善にも着手し始めた。入院患者については、管理栄養士が栄養管理計画書を作成し入院中の食事提供について個々人に最適であるように提案を実施した。

	26年度	25年度	対前年度比(%)
スクリーニング件数(新規入院患者)	695	489	142.1
カンファレンス症例件数	383	204	187.7

## ウ 栄養指導

平成26年度の集団指導は、ストレス外来治療プログラム「リワーク」の一環としての集団指導のほか、病棟で入院生活を送る上で必要となる食知識の集団指導、作業療法プログラムの食生活自立支援のための集団指導、デイ・ケア通院患者対象の過食防止、窒息防止など精神科特有の視点にたった指導を実施した。

個人指導については体重管理、バランスのとれた食生活、糖尿病、脂質異常症など食生活指導を主治医の指示に基づき実施した。

区分 年度	入 院				外 来				合 計			
	集団指導		個別指導		集団指導		個別指導		集団指導		個別指導	
	件数	延人数	件数	延人数	件数	延人数	件数	延人数	件数	延人数	件数	延人数
26	6	46	47	47	3	32	39	39	9	78	86	86
25	21	78	27	27	8	113	9	9	29	191	36	36
対前年度比 (%)	28.6	59.0	174.1	174.1	37.5	28.3	433.3	433.3	31.0	40.8	238.9	238.9

## エ その他

実習生の受け入れ指導：神奈川県立保健福祉大学より管理栄養士実習受託、3週間2名の実習を実施した。

病院職員、他セクションの実習生の講義を実施した。

## (9) 保育業務

平成26年度は、精神医療センター及びこども医療センターに勤務する看護師、医師の幼児を対象とするとともに、保育時間も6時30分から22時までとしている。また、毎週土曜日と月1回日曜保育（第3を基本）も実施している。

### ア 保育の状況

年齢	男	女	計	保 護 者 の 所 属	
6歳	4	1	5	精神医療センター 2	こども医療センター 3
5歳	1	0	1	精神医療センター 1	こども医療センター 0
4歳	6	3	9	精神医療センター 3	こども医療センター 6
3歳	4	3	7	精神医療センター 3	こども医療センター 4
2歳	6	4	10	精神医療センター 2	こども医療センター 8
1歳	3	2	5	精神医療センター 0	こども医療センター 5
計	24	13	37	精神医療センター 11	こども医療センター 26

### イ 主な行事

月	内 容	
4	進級式、クラス懇談会、クッキング	誕生会
5	遠足、芋苗植え	〃
6	ぎょう虫検査、クッキング、春の健康診断	〃
7	プール開き、終園式      プールは～8/31まで実施	〃
9	始園式、クッキング、遠足、秋祭り	〃
10	運動会、秋の遠足	〃
11	芋掘り、秋の健康診断、菌みがき指導	〃
12	クリスマスお楽しみ会、終園式、なかよし発表会	〃
1	始園式、個人面談、もちつき大会	〃
2	節分、バレンタインクッキング	〃
3	お別れ遠足、卒園式、終園式、お別れ会カレーパーティー	〃



### Ⅲ せりがや病院事務事業の状況

## 1 せりがや病院基本方針

- 1 神奈川県精神科中核病院として、高度な医療を提供します。
- 2 患者さんの思いを大切に、患者中心の医療を目指します。
- 3 みんなのちからで、安全な医療に取り組めます。
- 4 地域との連携を深め、患者さんの社会復帰を支援します。
- 5 県立病院として健全な運営を目指します。

## 2 経理の状況

### (1) 地方独立行政法人会計 決算状況

#### (ア) 貸借対照表

(平成27年3月31日)

【地方独立行政法人神奈川県立病院機構せりがや病院】

(単位：円)

科 目	金 額		
<b>資産の部</b>			
<b>I 固定資産</b>			
<b>1 有形固定資産</b>			
土地		0	
建物	0		
減価償却累計額	0		
減損損失累計額	0	0	
構築物	0		
減価償却累計額	0		
減損損失累計額	0	0	
器械備品	0		
減価償却累計額	0	0	
車両	0		
減価償却累計額	0	0	
放射性同位元素	0		
減価償却累計額	0	0	
建設仮勘定		0	
<b>有形固定資産合計</b>		<b>0</b>	
<b>2 無形固定資産</b>			
ソフトウェア		0	
電話加入権		0	
その他		0	
<b>無形固定資産合計</b>		<b>0</b>	
<b>3 投資その他の資産</b>			
長期貸付金		0	
長期前払消費税等		1,738,666	
長期前払費用		0	
破産更生債権等	0		
貸倒引当金	0	0	
その他		0	
<b>投資その他の資産合計</b>		<b>1,738,666</b>	
<b>固定資産合計</b>			<b>1,738,666</b>
<b>II 流動資産</b>			
現金及び預金		20,079,312	
医業未収金	0		
貸倒引当金	0	0	
未収金		0	
たな卸資産		0	
前払費用		0	
その他		2,036	
<b>流動資産合計</b>			<b>20,081,348</b>
<b>資産合計</b>			<b>21,820,014</b>

(ア) 貸借対照表

(平成27年3月31日)

【地方独立行政法人神奈川県立病院機構せりがや病院】

(単位：円)

科 目	金 額		
<b>負債の部</b>			
<b>I 固定負債</b>			
資産見返負債			
資産見返運営費負担金	0		
資産見返補助金等	0		
資産見返寄附金	0		
資産見返物品受贈額	1,332,096		
建設仮勘定見返運営費負担金	0	1,332,096	
長期借入金		2,000,000	
移行前地方債償還債務		212,726,000	
長期未払金		0	
引当金			
退職給付引当金	411,394,720		
環境対策引当金	0	411,394,720	
リース債務		0	
資産除去債務		0	
<b>固定負債合計</b>			<b>627,452,816</b>
<b>II 流動負債</b>			
寄附金債務		0	
一年以内返済予定長期借入金		2,675,000	
一年以内償還予定移行前地方債償還債務		53,182,000	
未払金		21,884,992	
一年以内支払予定リース債務		279,555	
未払費用		3,305	
前受金		0	
預り金		1,616,058	
引当金			
賞与引当金	0	0	
<b>流動負債合計</b>			<b>79,640,910</b>
<b>負債合計</b>			<b>707,093,726</b>
<b>純資産の部</b>			
<b>I 資本金</b>			
設立団体出資金		△ 238,598,544	
<b>資本金合計</b>			<b>△ 238,598,544</b>
<b>II 資本剰余金</b>			
資本剰余金		31,027,000	
<b>資本剰余金合計</b>			<b>31,027,000</b>
<b>III 繰越欠損金</b>			
当期末処理損失		△ 477,702,168	
(うち当期総損失)		(△ 420,244,374)	
<b>繰越欠損金合計</b>			<b>△ 477,702,168</b>
<b>純資産合計</b>			<b>△ 685,273,712</b>
<b>負債純資産合計</b>			<b>21,820,014</b>

(イ) 損 益 計 算 書

(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

【地方独立行政法人神奈川県立病院機構せりがや病院】

(単位：円)

科 目	金 額		
<b>営業収益</b>			
医業収益			
入院収益	133,843,795		
外来収益	138,600,171		
児童福祉施設収益	0		
その他医業収益	1,864,072		
保険等査定減	△ 203,648	274,104,390	
運営費負担金収益		278,247,000	
補助金等収益		0	
寄附金収益		0	
資産見返運営費負担金戻入		0	
資産見返補助金等戻入		0	
資産見返寄附金等戻入		0	
資産見返物品受贈額戻入		1,548,152	
<b>営 業 収 益 合 計</b>			<b>553,899,542</b>
<b>営業費用</b>			
医業費用			
給与費	310,292,153		
材料費	91,974,772		
減価償却費	24,855,448		
経費	71,654,491		
研究研修費	391,011		
児童福祉施設費	0	499,167,875	
一般管理費			
給与費	0		
減価償却費	0		
経費	0	0	
控除対象外消費税等		13,067,241	
資産に係る控除対象外消費税等償却		154,315	
その他営業費用		0	
<b>営 業 費 用 合 計</b>			<b>512,389,431</b>
<b>営 業 利 益</b>			<b>41,510,111</b>
<b>営業外収益</b>			
運営費負担金収益		3,265,000	
患者外給食収益		2,096,292	
不用品売却収益		0	
財務収益		430	
雑益		699,887	
<b>営 業 外 収 益 合 計</b>			<b>6,061,609</b>
<b>営業外費用</b>			
患者外給食費		2,037,722	
財務費用		4,918,959	
雑支出		39,378	
<b>営 業 外 費 用 合 計</b>			<b>6,996,059</b>
<b>経 常 利 益</b>			<b>40,575,661</b>
<b>臨時利益</b>			
資産見返物品受贈額戻入		80,186,289	80,186,289
<b>臨時損失</b>			
固定資産売却損		0	
固定資産除却損		536,691,183	
減損損失		0	
その他臨時損失		4,315,141	541,006,324
<b>当 期 純 損 失</b>			<b>△ 420,244,374</b>
<b>当 期 総 損 失</b>			<b>△ 420,244,374</b>

### 3 業務実績

#### (1) 各種指標

項目	計算方式	単位	平成26年度	平成25年度	対前年度比(%)	備考
病床数		床	80	80	100.0	
取扱患者数		人	17,279	30,334	57.0	
入院患者		人	7,453	14,355	51.9	
外来患者		人	9,826	15,979	61.5	
1日平均取扱患者数		人	90.1	104.8	86.0	
入院患者	取扱入院患者数/年間日数	人	30.5	39.3	77.6	
外来患者	取扱外来患者数/年間外来診療日数	人	59.6	65.5	91.0	
病床利用率	取扱入院患者数/延病床数×100	%	52.7	49.2	107.1	
平均在院日数	入院延患者数/(入院患者数+退院患者数)×0.5	日	39.7	45.9	86.5	
入院外来患者比率	取扱患者数/取扱入院患者数×100	%	131.8	111.3	118.4	
医師・看護師1人当たりの取扱患者数						
医師	取扱患者数/医師延人数	人	9.5	16.6	57.0	
看護師	取扱患者数/看護師延人数	人	1.6	2.2	71.7	
職員数		人	40	53	75.5	期末人数
医師		人	5	5	100.0	期末人数
看護師		人	26	38	68.4	期末人数
その他職員		人	9	10	90.0	期末人数
病床100床当たりの職員数	全職員数/病床数×100	人	50.0	66.3	75.4	
医師	職員数/病床数×100	人	6.3	6.3	99.2	
看護師	職員数/病床数×100	人	32.5	47.5	68.4	
その他職員	職員数/病床数×100	人	11.3	12.5	90.0	
患者一人当たりの収益	医業収益/取扱患者数	円	15,863	15,218	104.2	
入院患者	入院収益/取扱患者数	円	17,958	17,569	102.2	
外来患者	外来収益/取扱患者数	円	14,105	13,105	107.6	
医師・看護師1人1日当たりの収益						
医師	医業収益/医師延人数	円	150,194	252,936	59.4	
看護師	医業収益/看護師延人数	円	25,032	33,281	75.2	
患者1人1日当たりの費用	医業費用/取扱患者数	円	28,889	27,140	106.4	
患者1人当たりの薬品費	薬品費/取扱患者数	円	4,863	4,114	118.2	
患者1人当たりの給食材料費	給食材料費/取扱入院患者数	円	853	941	90.6	
医業収益に対する費用比率	医業費用/医業収益×100	%	182.1	178.3	102.1	
給与費	給与費/医業収益×100	%	113.2	117.2	96.6	
材料費	材料費/医業収益×100	%	33.6	30.6	109.7	
経費	経費/医業収益×100	%	26.1	20.9	125.1	

(注) セリがや病院11月までのデータです。

## 4 患者の状況

### (1) 外来患者の状況

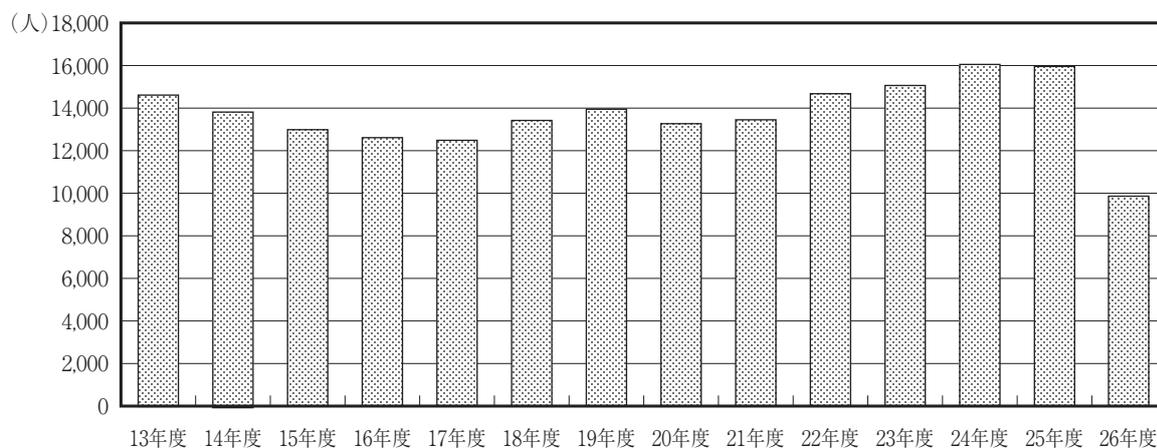
延患者数は6,153人の減で対前年度比38.5%の減となっている。そのうち、再来は、5,853人の減で対前年度比38.3%の減、新患は300人の減で対前年度比41.9%減となっている。新外来患者において、依存薬物別ではアルコールが38.4%で最も大きな割合を占めている。また、年齢別では30～39歳の構成比が29.8%と最も多くなっている。

#### ア 月別外来患者数

年度	月 区分	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
		26	新患	44	52	59	66	52	45	55	43			
再来	1,231		1,170	1,170	1,279	1,172	1,116	1,260	1,012					9,410
延患者数	1,275		1,222	1,229	1,345	1,224	1,161	1,315	1,055					9,826
一日平均	60.7		61.1	58.5	61.1	58.3	58.1	59.8	58.6					40.3
25	新患	78	77	65	69	68	56	52	53	49	54	35	60	716
	再来	1,258	1,336	1,209	1,474	1,407	1,192	1,407	1,246	1,239	1,201	1,119	1,175	15,263
	延患者数	1,336	1,413	1,274	1,543	1,475	1,248	1,459	1,299	1,288	1,255	1,154	1,235	15,979
	一日平均	63.6	67.3	63.7	70.1	67.0	65.7	66.3	65.0	67.8	66.1	60.7	61.8	65.5

(注) 精神科のほか、内科受診者を含む

#### イ 外来患者数の年次推移状況



#### ウ 依存薬物別新外来患者数

年度	依存薬物等 (F1) 区分	アルコール	有機溶剤	覚せい剤	大麻	その他 薬物	その他 精神障害	計
		26	男	119		56	89	
女	36			23	8	25	7	99
計	155			79	97	59	14	404
構成比	38.4		0.0	19.6	24.0	14.6	3.5	100.0
25	男	233	1	94	110	65	19	522
	女	61		31	17	46	21	176
	計	294	1	125	127	111	40	698
	構成比	42.1	0.1	17.9	18.2	15.9	5.7	100.0

その他の薬物詳細

年度	薬物名 区分	鎮・睡剤	コカイン	幻覚剤	アヘン	市販薬	多剤	その他	計
		26	男	1				2	15
女	12					1	6	6	25
計	13					3	21	22	59
構成比	22.0		0.0	0.0	0.0	5.1	35.6	37.3	100.0
25	男	16			1	4	27	17	65
	女	22				3	8	13	46
	計	38			1	7	35	30	111
	構成比	34.2			0.9	6.3	31.5	27.0	100.0

工 年齢別新外来患者数

年度	年齢 区分	19歳以下	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	計
		26	男	6	56	91	68	47	29
女	1		22	33	28	15	5	2	106
計	7		78	124	96	62	34	15	416
構成比	1.7		18.8	29.8	23.1	14.9	8.2	3.6	100.0
25	男	13	88	115	127	84	64	31	522
	女	5	37	47	55	19	10	3	176
	計	18	125	162	182	103	74	34	698
	構成比	2.6	17.9	23.2	26.1	14.8	10.6	4.9	100.0

才 地域別実外来患者数

居住地域		年度		居住地域		年度		居住地域		年度	
		26	25			26	25			26	25
横 浜 市		913	1,122	横 須 賀 市		37	55	足 柄 上 郡		4	6
	鶴 見 区	39	50	平 塚 市		18	28	中 井 町		2	3
	神 奈 川 区	42	45	鎌 倉 市		25	20	大 井 町		1	1
	西 区	19	32	藤 沢 市		57	79	松 田 町		1	1
	中 区	73	105	小 田 原 市		12	16	山 北 町		0	1
	南 区	158	211	茅 ヶ 崎 市		27	28	開 成 町		0	0
	港 南 区	103	120	逗 子 市		5	7	足 柄 下 郡		5	2
	保 土 ヶ 谷 区	52	62	相 模 原 市		2	2	箱 根 町		0	0
	旭 区	46	56	三 浦 市		2	5	真 鶴 町		2	0
	磯 子 区	51	57	秦 野 市		5	8	湯 河 原 町		3	2
	金 沢 区	39	46	厚 木 市		14	15	県 内 計		1,299	1,616
	港 北 区	42	50	大 和 市		28	35	東 京 都		94	109
	緑 区	18	22	伊 勢 原 市		6	7	埼 玉 県		3	5
	戸 塚 区	88	107	海 老 名 市		9	19	千 葉 県		8	7
	瀬 谷 区	34	45	座 間 市		10	13	群 馬 県		0	0
	栄 区	31	28	南 足 柄 市		1	2	栃 木 県		0	2
	泉 区	47	47	綾 瀬 市		3	8	山 梨 県		0	1
	青 葉 区	13	16	三 浦 郡 葉 山 町		1	3	静 岡 県		3	5
	都 筑 区	18	23	高 座 郡 寒 川 町		9	5	茨 城 県		2	6
	川 崎 市		102	125	愛 甲 郡		1	1	そ の 他 の 県		31
川 崎 区		30	37	愛 川 町		1	1	県 外 計		141	181
幸 区		16	21	清 川 村		0	0	住 所 不 明		0	0
中 原 区		16	20	中 郡		3	5	計		1,440	1,797
高 津 区		15	16	大 磯 町		1	2				
宮 前 区		11	13	二 宮 町		2	3				
多 摩 区		8	13								
麻 生 区		6	5								

(注) 新患・再来を含め、同一患者について一人としてカウントした数

カ 新外来患者の受診経路

年度	依存薬物等 (F1) 受診経路	アルコール	有機溶剤	覚せい剤	大 麻	その他 薬 物	その 他 精神障害	計	構成比
26	退院者、通院歴あり	57		38	17	14	3	129	31.9
	医 療 機 関 ( 精 神 科 )	48		12	33	26	5	124	30.7
	医 療 機 関 (その他診療科)	18		2	2	2		24	5.9
	保 健 所	2						2	0.5
	福 祉 事 務 所	2		3	4			9	2.2
	断 酒 会 A - A	1		2	2	1		6	1.5
	職 場 関 係 者			1	1	2	5	9	2.2
	友 人 ・ 知 人	8		4	6	3	1	22	5.4
	警 察	1		4	1	1		7	1.7
	そ の 他	18		13	31	10		72	17.8
	計		155	0	79	97	59	14	404
年度	依存薬物等 (F1) 受診経路	アルコール	有機溶剤	覚せい剤	大 麻	その他 薬 物	その 他 精神障害	計	構成比
25	退院者、通院歴あり	76		58	18	21	9	182	26.1
	医 療 機 関 ( 精 神 科 )	85		24	48	55	10	222	31.8
	医 療 機 関 (その他診療科)	54		1		5	2	62	8.9
	保 健 所	6			5	1		12	1.7
	福 祉 事 務 所	18		8	5	3		34	4.9
	断 酒 会 A - A	1		10	8	4		23	3.3
	職 場 関 係 者	1				1	15	17	2.4
	友 人 ・ 知 人	9		7	12	3		31	4.4
	警 察			3			1	4	0.6
	そ の 他	44	1	14	31	18	3	111	15.9
	計		294	1	125	127	111	40	698

## (2) 入退院患者の状況

延患者数は6,902人の減で、対前年度比48.1%の減となっている。病床利用率は、対前年度比11.0ポイント減となった。

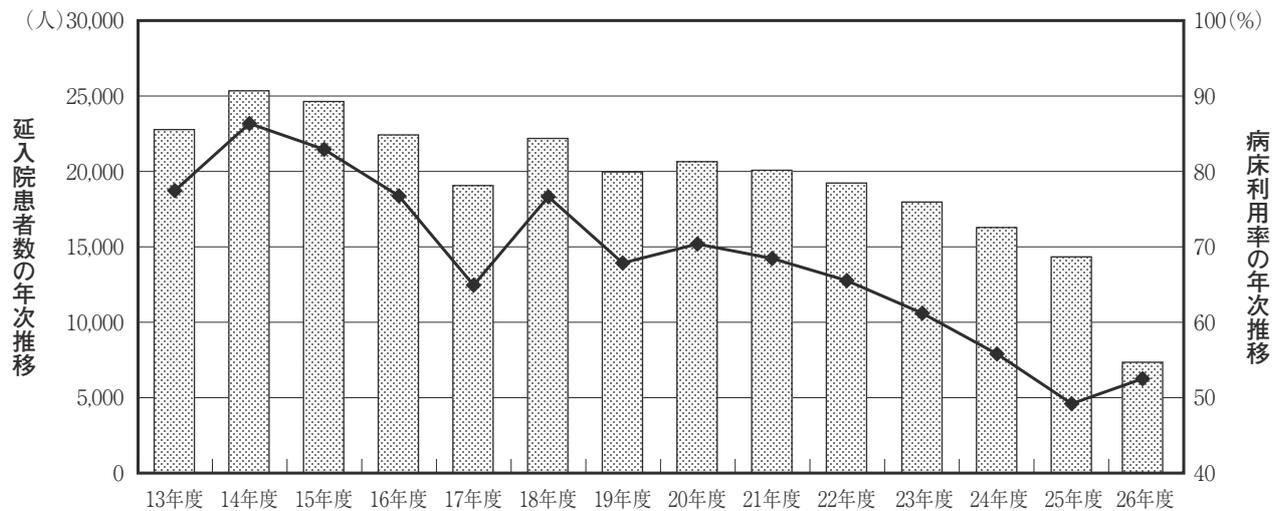
新入院患者は、130人減少し、対前年度比42.6%減となっている。新入院患者の依存薬物別の構成比はアルコールの割合が最も多く53.1%を占め、次いでその他薬物の18.9%となっている。入院形態は任意入院が全体の97.7%を占めている。退院患者の転帰は軽快の割合が多く、66.2%を占めている。

### ア 月別入退院患者数

年度	区分	月												計
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
26	入院	19	22	27	26	24	26	21	10					175
	退院	22	25	24	21	22	24	26	40					204
	延患者数	919	828	818	947	1,005	1,076	1,070	790					7,453
	病床利用率	38.3	33.4	34.1	38.2	40.5	44.8	43.1	32.9					38.2
25	入院	34	30	27	27	30	25	35	24	18	20	17	18	305
	退院	36	32	22	36	31	22	33	23	27	19	21	18	320
	延患者数	1,484	1,176	1,406	1,263	1,367	1,213	1,329	1,199	1,131	991	886	910	14,355
	病床利用率	61.8	47.4	58.6	50.9	55.1	50.5	53.6	50.0	45.6	40.0	39.6	36.7	49.2

(注) 月別に新たに入院した数

### イ 延入院患者数及病床利用率の年次推移状況



## ウ 依存薬物別入院患者数

年度	依存薬物等 (F1) 区分	アルコール	有機溶剤	覚せい剤	大 麻	その 他 薬 物	その 他 精神障害	計
		26	男	68		11	23	19
女	25			7	8	14		54
計	93			18	31	33		175
構成比	53.1			10.3	17.7	18.9		100.0
25	男	121	1	24	30	30	1	207
	女	40		8	14	30	6	98
	計	161	1	32	44	60	7	305
	構成比	52.8	0.3	10.5	14.4	19.7	2.3	100.0

(注) 本表の患者数とは、当年度に新たに入院した患者数

## その他の薬物詳細

年度	薬物名 区分	鎮・睡剤	コカイン	幻覚剤	アヘン	市販薬	多 剤	その 他	計
		26	男	1				4	5
女	7					2	2	3	14
計	8					6	7	12	33
構成比	24.2					18.2	21.2	36.4	100.0
25	男	6				3	9	12	30
	女	19				2	7	2	30
	計	25				5	16	14	60
	構成比	41.7				8.3	26.7	23.3	100.0

工 依存薬物別・年齢別実入院患者数

年度	年齢	依存薬物等 (F1)		アルコール	有機溶剤	覚せい剤	大 麻	その他薬物	その他精神障害	計	年齢構成比	
		区分										
26	19歳以下	男					1			1	0.6	
		女										
		小計					1			1		
	20～29歳	男		2			2	10	9		23	21.7
		女		3			2	4	6		15	
		小計		5			4	14	15		38	
	30～39歳	男		8			3	6	5		22	24.0
		女		8			2	4	6		20	
		小計		16			5	10	11		42	
	40～49歳	男		19			4	5	4		32	24.0
		女		8			1		1		10	
		小計		27			5	5	5		42	
	50～59歳	男		18			2	1	1		22	16.0
		女		6			0				6	
		小計		24			2	1	1		28	
	60～69歳	男		19							19	12.6
女						2		1		3		
小計			19			2		1		22		
70歳以上	男		2							2	1.1	
	女											
	小計		2							2		
計	男		68			11	23	19		121	100.0	
	女		25			7	8	14		54		
	小計		93			18	31	33		175		
	構成比		53.1		0.0	10.3	17.7	18.9		0.0		100.0
年度	年齢	依存薬物等 (F1)		アルコール	有機溶剤	覚せい剤	大 麻	その他薬物	その他精神障害	計	年齢構成比	
		区分										
25	19歳以下	男				1	3	1		5	3.4	
		女						1		1		
		小計					1	4	1			6
	20～29歳	男		1			1	9	7	1	19	24.6
		女		6			2	3	11	2	24	
		小計		7			3	12	18	3	43	
	30～39歳	男		13			13	10	13	1	50	42.9
		女		6			4	4	11		25	
		小計		19			17	14	24	1	75	
	40～49歳	男		39		1	6	7	3		56	50.3
		女		17			2	6	4	3	32	
		小計		56		1	8	13	7	3	88	
	50～59歳	男		31			2	1	4		38	28.0
		女		7					3	1	11	
		小計		38			2	1	7	1	49	
	60～69歳	男		28			1			1	30	19.4
女			4							4		
小計			32			1			1	34		
70歳以上	男		9							9	5.7	
	女							1		1		
	小計		9					1		10		
計	男		121		1	24	30	28	3	207	174.3	
	女		40			8	14	30	6	98		
	小計		161		1	32	44	58	9	305		
	構成比		52.8		0.3	10.5	14.4	19.0		3.0		100.0

(注) 本表の患者数とは、当年度に新たに入院した患者数

才 地域別実入院患者数

居住地域	年度		居住地域	年度		居住地域	年度				
	26	25		26	25		26	25			
横浜市	111	168	横須賀市	8	8	足柄上郡	0	1			
	鶴見区	4		12	平塚市		3	7	中井町	0	1
	神奈川区	6		7	鎌倉市		3	2	大井町	0	0
	西区	4		8	藤沢市		3	11	松田町	0	0
	中区	8		12	小田原市		0	2	山北町	0	0
	南区	16		34	茅ヶ崎市		5	4	開成町	0	0
	港南区	9		7	逗子市	0	2	足柄下郡	2	1	
	保土ヶ谷区	8		13	相模原市	0	0		箱根町	0	0
	旭区	2		5	三浦市	1	1		真鶴町	0	0
	磯子区	12		10	秦野市	0	1		湯河原町	2	1
	金沢区	8		5	厚木市	5	1	県内計	171	246	
	港北区	5		9	大和市	3	5	東京都	26	35	
	緑区	2		3	伊勢原市	0	2	埼玉県	0	1	
	戸塚区	9		12	海老名市	2	3	千葉県	0	2	
	瀬谷区	5		7	座間市	1	3	群馬県	0	0	
	栄区	4		5	南足柄市	0	0	栃木県	0	0	
	泉区	4		13	綾瀬市	1	1	山梨県	0	1	
	青葉区	3		1	三浦郡葉山町	0	1	静岡県	0	1	
	都筑区	2		5	高座郡寒川町	0	0	茨城県	0	3	
	川崎市	22		20	愛甲郡	1	0	その他の県	7	14	
川崎区		9	8	愛川町	1	0	県外計	33	57		
幸区		1	3	清川村	0	0	住所不明	0	0		
中原区		4	5	中郡	0	2	計	204	303		
高津区		4	0	大磯町	0	1					
宮前区		3	2	二宮町	0	1					
多摩区		1	2								
麻生区		0	0								

力 入院費負担区分別患者数 (平成26年度については11月末、平成25年度については3月末の在院患者数)

年度	負担区分	健康保険法		国民健康 保険法	生活 保護法	精神保健 福祉法	麻薬 取締法	自費	計
		本人	家族						
26	男	1		9	5				15
	女		1	1	1				3
	計	1	1	10	6	0	0	0	18
	構成比	5.6	5.6	55.6	33.3				100.0
25	男	4		6	9				19
	女	2	2	3	3				10
	計	6	2	9	12				29
	構成比	20.7	6.9	31.0	41.4				100.0

キ 入院形態別患者数

年度	形態	月													計
		区分	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
26	任意	男	12	12	17	19	15	19	18	6					118
		女	7	9	8	6	9	7	3	4					53
		小計	19	21	25	25	24	26	21	10					171
		構成比	100.0	95.5	92.6	96.2	100.0	100.0	100.0	100.0					97.7
	医療保護	男		1	1	1									3
		女			1										1
		小計		1	2	1									4
		構成比		4.6	7.4	3.9									2.3
	措置	男													
		女													
		小計													
		構成比													
計	男	12	13	18	20	15	19	18	6					121	
	女	7	9	9	6	9	7	3	4					54	
	計	19	22	27	26	24	26	21	10					175	
25	任意	男	21	21	17	19	18	17	22	16	13	14	12	11	201
		女	12	8	9	7	11	8	13	7	5	4	4	6	94
		小計	33	29	26	26	29	25	35	23	18	18	16	17	295
		構成比	97.1	96.7	96.3	96.3	96.7	100.0	100.0	95.8	100.0	90.0	94.1	94.4	96.7
	医療保護	男	1	1	1	1						1		1	6
		女					1			1		1	1		4
		小計	1	1	1	1	1			1		2	1	1	10
		構成比	2.9	3.3	3.7	3.7	3.3			4.2	0.0	10.0	5.9	5.6	3.3
	措置	男													
		女													
		小計													
		構成比													
計	男	22	22	18	20	18	17	22	16	13	15	12	12	207	
	女	12	8	9	7	12	8	13	8	5	5	5	6	98	
	計	34	30	27	27	30	25	35	24	18	20	17	18	305	

ク 依存薬物別・在院期間別退院患者数

年度	期間	依存薬物等 (F1)		アルコール	有機溶剤	覚せい剤	大 麻	その他 薬 物	そ の 他 精神障害	計
		区分								
26	9日以下	男		3		1	7	4		15
		女		2			2	4		8
		小計		5		1	9	8		23
	10～19日	男		13		4	6	5		28
		女		3		2		2		7
		小計		16		6	6	7		35
	20～29日	男		8		2	5	6		21
		女		3		2	2	4		11
		小計		11		4	7	10		32
	30～59日	男		32		4	4	4		44
		女		10		3	6	3		22
		小計		42		7	10	7		66
	60～89日	男		14		1	1	1		17
		女		8				1	1	10
		小計		22		1	1	2	1	27
	90日以上	男		16						16
女			3		1		1		5	
小計			19		1	0	1		21	
計	男		86		12	23	20		141	
	女		29		8	10	15	1	63	
	小計		115		20	33	35	1	204	
	構成比		56.4		9.8	16.2	17.2	0.5	100.0	
25	9日以下	男		11	1	8	1	6		27
		女		6		2	3	5	5	21
		小計		17	1	10	4	11	5	48
	10～19日	男		14		3	9	10		36
		女		12			1	6	1	20
		小計		26		3	10	16	1	56
	20～29日	男		14		7	6	4		31
		女		2		3	5	7		17
		小計		16		10	11	11		48
	30～59日	男		26		6	15	9	2	58
		女		7		2	2	9		20
		小計		33		8	17	18	2	78
	60～89日	男		28		1	2			31
		女		2		1		2		5
		小計		30		2	2	2		36
	90日以上	男		37			1	2		40
女			12			1	1		14	
小計			49			2	3		54	
計	男		130	1	25	34	31	2	223	
	女		41		8	12	30	6	97	
	小計		171	1	33	46	61	8	320	
	構成比		53.4	0.3	10.3	14.4	19.1	2.5	100.0	

ケ 依存薬物別・転帰別退院患者数

年度	転帰	依存薬物等 (F1)		アルコール	有機溶剤	覚せい剤	大 麻	その他薬物	その他精神障害	計	構成比	
		区分										
26	全 快	男										
		女										
		小計										
	軽 快	男		59			4	16	12		91	66.2
		女		21			6	7	9	1	44	
		小計		80			10	23	21	1	135	
	未 知	男		11			7	7	6		31	22.5
		女		6			1	3	5		15	
		小計		17			8	10	11		46	
	転 医	男		16			1		2		19	11.3
		女		2			1		1		4	
		小計		18			2		3		23	
	死 亡	男										
		女										
		小計										
	計	男		86			12	23	20		141	100.0
女			29			8	10	15	1	63		
小計			115			20	33	35	1	204		
構成比			56.4		0.0	9.8	16.2	17.2	0.5	100.0		
25	全 快	男										
		女										
		小計										
	軽 快	男		91			14	24	19	1	149	65.9
		女		27			4	5	21	5	62	
		小計		118			18	29	40	6	211	
	未 知	男		31	1		11	8	11	1	63	30.0
		女		13			4	7	8	1	33	
		小計		44	1		15	15	19	2	96	
	転 医	男		8				2	1		11	4.1
		女		1					1		2	
		小計		9				2	2		13	
	死 亡	男										
		女										
		小計										
	計	男		130	1		25	34	31	2	223	100.0
女			41			8	12	30	6	97		
小計			171	1		33	46	61	8	320		
構成比			53.4	0.3		10.3	14.4	19.1	2.5	100.0		

## 5 業務の状況

### (1) 心理・相談業務

心理・相談科では、依存症により生じた家族関係や就業、経済的問題など、社会的側面の問題を持つ患者・家族に対して相談支援や集団精神療法等の回復プログラムをおこなっている。

新規の電話相談件数は年々増加傾向にあるが、平成24年度以降は危険ドラッグの問題が社会的にも拡大していた影響であったが、平成26年度から減少した。長年実施してきたアルコール外来ミーティングを終了し、「外来SARPP」を7月より開始した。心理・相談科の業務内容は以下のとおりである。

- |                    |                                       |
|--------------------|---------------------------------------|
| 1. 相談（電話、面接）       | 7. 臨床心理検査                             |
| 2. 初診時インテーク面接      | 8. 心理療法                               |
| 3. 入院・外来患者へのケースワーク | 9. 薬物問題を持つ家族のための家族教室                  |
| 4. 患者家族へのケースワーク    | 10. 地域関連機関・施設や自助グループ等の団体との連絡、調整及び技術援助 |
| 5. 入院・外来患者への集団精神療法 | 11. 研修の受け入れ（精神保健福祉援助実習など）             |
| 6. 入院患者への教育        | 12. 講師派遣（薬物乱用防止教室等）                   |

### ア 相談・インテーク・ケースワーク等件数

		26年度	25年度	備考	
電 話	新 規 相 談	368	390	まだ受診していない者についての相談	
	相 談	611	882	すでに受診している者（患者・家族）についての相談	
	関係機関との連絡調整	1,657	2,508	保健所、福祉事務所、医療機関、施設等との患者についての相談、連絡調整	
	小 計	2,636	3,780		
面 接	新 規 相 談	54	63	まだ受診していない者についての相談	
	患者・家族	外 来	639	714	外来患者等に対する面接
		入 院	368	738	入院患者等に対する面接
	イ ン テ ー ク	286	467	初診患者に生活背景、病歴等を面接聴取する。	
	小 計	1,347	1,982		
計		3,983	5,762		

### イ 平成26年度集団精神療法件数

外 来		26年度	25年度	備考
	ア ル コ ー ル	101	735	週1回の外来ミーティング SARPP（週1回）7月～
	薬 物	79	791	SMARPP12（月2回）
計		180	1,526	

### ウ 平成26年度家族教室参加人数

薬物依存症家族教室	26年度	25年度	備考
	210	565	薬物問題を持つ家族 月2回

## エ 平成26年度 研修・講師等

### (ア) 研修見学（当院）

	機 関	実 施 日
1	県精神保健福祉新任研修	平成26年6月30日
2	栃木刑務所	平成26年9月8日
3	横浜市こころの健康相談センター新任研修	平成26年10月24日

### (イ) 講師派遣

	機 関	実 施 日
1	横浜保護観察所SMARPPスーパービジョン	平成26年5月26日、7月23日
2	横浜保護観察所引受人会	平成26年7月16日
3	横浜市こころの健康相談センター家族教室	平成26年10月24日

### (ウ) 薬物乱用防止教室講師派遣

	学 校	実 施 日
1	みなと総合高校	平成26年5月30日
2	川崎市立橋中学校	平成26年7月15日
3	横浜市立浦島丘中学校	平成26年7月18日
4	神奈川県立緑が丘高校	平成26年11月14日

## (2) 作業療法

当院作業療法は平成19年7月に開設され、平成20年までは1名の作業療法士、平成21年度より2名の作業療法士で運営している。

作業療法は、依存症のリハビリテーションとして身体的、心理的、社会的によりよい状態の再獲得が主たる目的である。

平成26年度より病棟一元化および病棟プログラムの全面的な変更に伴い、作業療法プログラムはボディワーク・リラクゼーション・SCOPⅡの3つとなった。ボディワークとリラクゼーションは基本全員参加だがSCOPⅡは他職種連携プログラムで対象を限定している。

通院作業療法はせりがや病院と芹香病院の統合に伴い芹香病院デイケアへの移行をすすめ、統合に伴い終了となった。

### ア 月別実施件数

年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
26	171	107	140	234	206	168	182	82	-	-	-	-	1,290
年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10	11	12	1月	2月	3月	計
25	460	411	407	393	508	360	408	356	324	257	326	310	4,520

### イ 通院作業療法実施件数

年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
26	19	28	21	16	16	10	13	5	-	-	-	-	128
年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10	11	12	1月	2月	3月	計
25	28	26	34	34	22	25	22	34	22	21	29	26	323

### (3) 薬剤業務

年間調剤数は、入院10,304件、外来27,645件、合計37,949件である。1日平均調剤数は230.0件、1日平均処方せん枚数は75.8枚となっている。

薬剤情報提供業務（外来）は1,086件であった。薬剤情報提供希望者を登録し、窓口業務の効率化を図った。

薬品購入金額は83,096,188万円であった。

薬事会議は9月に開催した。新規採用医薬品9品目、削除医薬品33品目であった。また、約束処方10品目を廃止した。

病棟・外来の常備・救急薬品の管理については、薬剤師による点検を毎月実施した。

入院教育プログラムにおいて定期的に集団指導を行った。

#### A 調剤数

	処方せん	剤 数	延べ剤数	一 日 平 均	
				剤 数	延べ剤数
入 院	4,128 枚	10,304 剤	59,804 剤	62.4 剤	362.4 剤
外 来	8,379	27,645	423,540	167.5	2,566.9
計	12,537	37,949	483,344	230.0	2,929.4

#### B 注射剤払い出し

注射せん	500ml未満	500ml以上	計
327 枚	654 本	387 本	1,041 本

#### C 製剤数

内服散剤	軟 膏 剤	錠剤の粉碎
9,517 g	1,120 g	753 錠

#### D 剤型別購入額

剤 型	品目数	割 合	購入額	割 合
注 射	21 品	4.7 %	576,138 円	0.7 %
内 服	354	88.8	81,866,549	98.5
外 用	26	6.1	646,291	0.8
消 毒	2	0.4	7,210	0.01
計	403	100.0	83,096,188	100.0

#### E 薬効別購入額

薬 効	品目数	割 合	購入額	割 合
精 神 神 経 用 剤	169 品	42.0 %	64,118,936 円	77.2 %
睡眠鎮静剤、抗不安剤	49	12.0	7,581,790	9.1
習慣性中毒用剤	4	1.0	2,229,644	2.7
ビ タ ミ ン 剤	16	4.0	2,035,397	2.4
肝 臓 疾 患 用 剤	8	2.0	270,165	0.3
そ の 他	157	39.0	6,860,256	8.3
計	403	100.0	83,096,188	100.0

## (4) 栄養業務

### ア 給食実施状況

入院患者の食種では一般食（常食・全粥食・分粥食・流動食）が88.2%を占め、加算特別食は11.0%であった。特別食では、糖尿病食と肝臓病食の割合が高く、次いで腎臓病食、高血圧食となっている。これらの疾患はアルコール依存症に多く合併しており、入院中の食事を含めた生活指導が重要と考えられる。

当院の特徴として、依存症の症状に応じた対応…①形態（キザミ、とろみ食）、②食器（メラミン、デイスポ食器の使用）、③食事時間（朝食対応）、④弁当の調製（作業所参加や治療プログラムのため）などを行った。最近では高齢者や薬剤性の嚥下障害を有する患者への「とろみ調整食」、摂食障害に伴う偏食への個別対応、長期低栄養状態からの食事開始時のエネルギー調整など、個々に適応した食事指示が増加している。また、入院生活を潤いあるものにするため、季節の行事食や、週2回（昼・夕）の選択食を実施した。

栄養指導では、個人相談の他に、「教育プログラム」に位置づけられた「せりがや講座」において、集団指導を7回行った。料理カードなどを用い、食事、栄養を見直す基本的な内容とした。

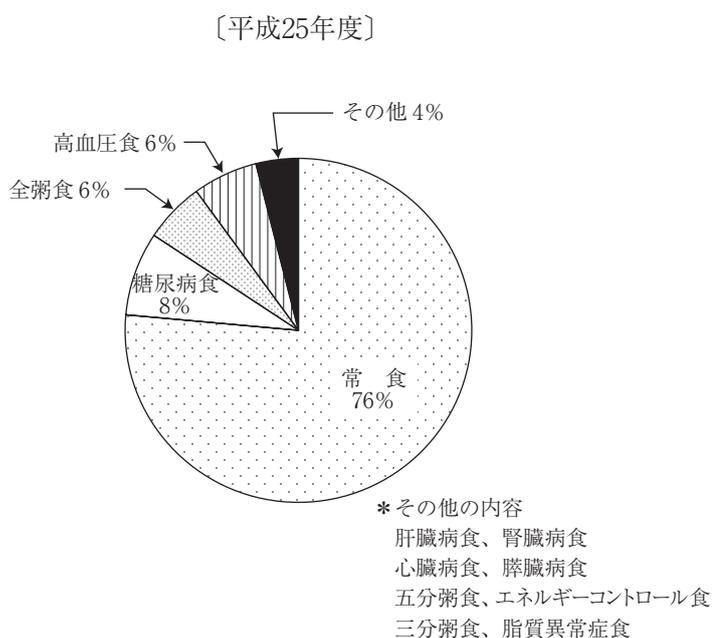
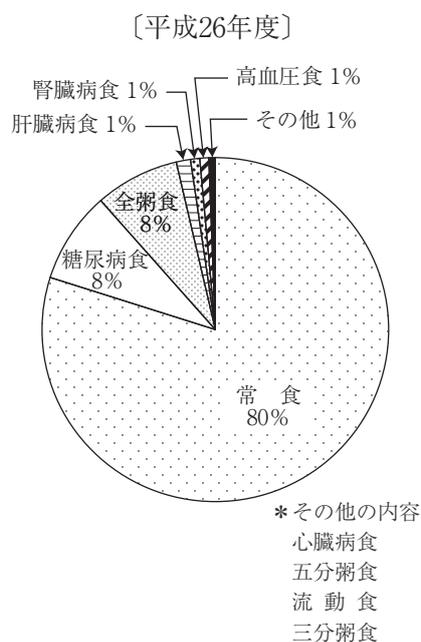
平成26年12月にせりがや病院は、芹香病院と統合した。

区 分		年 度	26年度	25年度	対前年度比 (%)
一 般 食	常 食		16,106	30,174	53.4
	軟 流 動 食	全 粥 食	1,587	2,238	70.9
		五 分 粥 食	31	22	140.9
		三 分 粥 食	23	13	176.9
		流 動 食	27	0	-
		小 計	1,668	2,273	73.4
計			17,774	32,447	54.8
特 別 食	加 算 で き る も の	糖 尿 病 食	1,733	3,106	55.8
		脂 質 異 常 症 食	0	10	0.0
		肝 臓 病 食	268	594	45.1
		脾 臓 病 食	0	43	0.0
		腎 臓 病 食	173	441	39.2
		心 臓 病 食	41	419	9.8
		痛 風 食	0	0	-
		貧 血 食	0	0	-
		低 残 渣 食	0	0	-
	小 計	2,215	4,613	48.0	
	加 算 で き な い も の	高 血 圧 食	168	2,393	7.0
		肥 満 食	0	0	-
		糖 尿 病 食	0	0	-
		脾 臓 食	0	0	-
		エネルギーコントロール食	0	20	-
		小 計	168	2,413	7.0
計			2,383	7,026	33.9
合 計			20,157	39,473	51.1
検 食 ・ 保 存 食			1,448	2,190	66.1
職 員			6,869	11,710	58.7
総 合 計			28,474	53,373	53.3

※平成26年度の患者、検食・保存食、職員食は11月28日朝食までの集計

## イ 栄養指導実施状況

区分 年度	入院				外来				合計			
	集団指導		個別指導		集団指導		個別指導		集団指導		個別指導	
	件数	延人数	件数	延人数	件数	延人数	件数	延人数	件数	延人数	件数	延人数
26	7	67	6	7	0	0	11	11	7	67	17	18
25	4	123	6	7	0	0	15	16	4	123	21	23
対前年度比(%)	175.0	54.5	100.0	100.0	-	-	73.3	68.8	175.0	54.5	81.0	78.3



平成26年度 **業 務 年 報**

---

平成28年 3 月発行

神奈川県立精神医療センター

横浜市港南区芹が谷2-5-1

TEL 045-822-0241

印刷所 文明堂印刷株式会社 横浜営業所

横浜市南区宿町2-49-2 浜文第2ビル1F

TEL 045-731-1441

---



地方独立行政法人神奈川県立病院機構  
神奈川県立精神医療センター

横浜市港南区芹が谷2-5-1 〒233-0006 電話(045)822-0241(代表) FAX(045)822-0242